

本報告書の考え方について

(1) 流山市総合計画について

流山市総合計画（以下「総合計画」といいます。）は、本市が目指すまちのイメージである「都心から一番近い森のまち」に向けて、計画的に市政経営を進めていくための指針として、令和2年3月に策定しました。

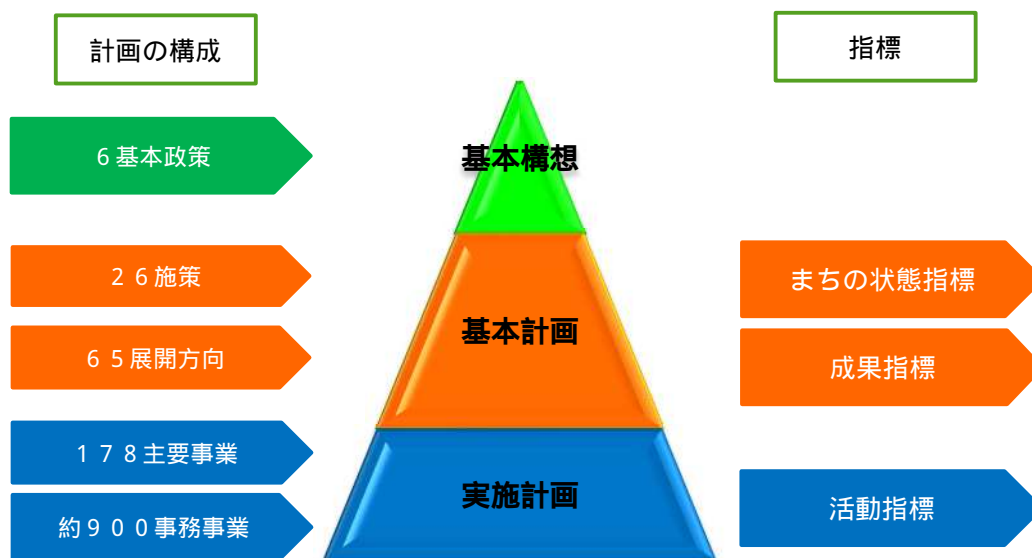
この総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画で構成され、基本計画では、10年間の市政経営の方向性を定めています。

総合計画の計画期間

令和2 (2020) 年度	令和3 (2021) 年度	令和4 (2022) 年度	令和5 (2023) 年度	令和6 (2024) 年度	令和7 (2025) 年度	令和8 (2026) 年度	令和9 (2027) 年度	令和10 (2028) 年度	令和11 (2029) 年度	令和12 (2030) 年度	令和13 (2031) 年度
基本構想											基本計画の見直しの際、 基本構想も見直しを検討します。
基本計画（10年間）											
				見直し							
					見直し						
計画期間は3年間とし、毎年見直しを行っていきます。						実施計画（3年間）					

基本計画においては、26の施策と65の展開方向からなり、施策ごとに「まちの状態指標」を設定し、施策の進み具合について、定期的にその数値を測定することで、本市のまちづくりがどの程度達成されたかを検証しています。

計画の構成と指標の関係



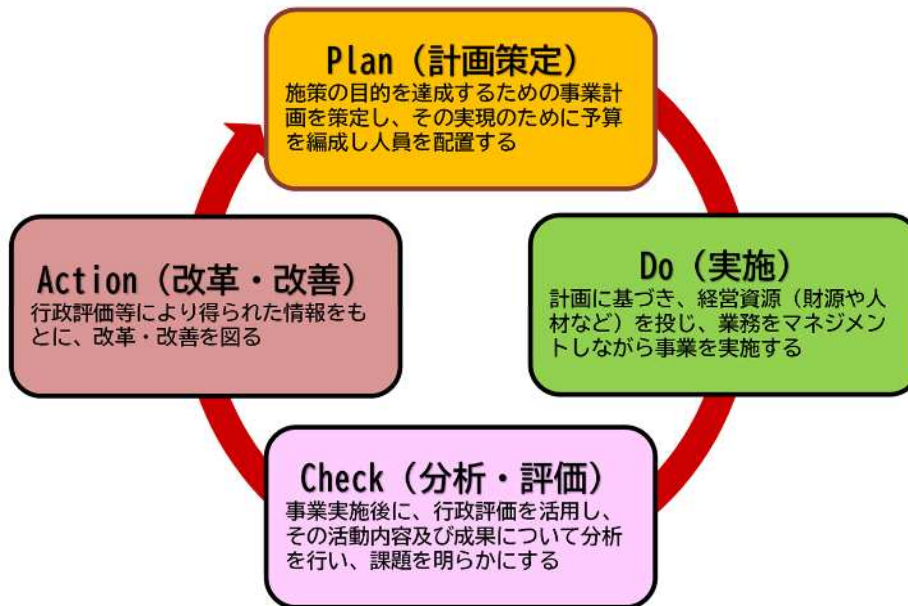
基本政策...目指すまちのイメージ実現のための政策と方針
 施策...基本政策実現のために取り組むべき行政分野
 展開方向...施策の課題解決に向けた取り組みの方向性
 事務事業...施策の取り組みを実現するための具体的手段

「 施策体系」(P3)を参照

（２）総合計画の進行管理

基本計画に掲げる施策や、実施計画に掲げる事業の推進を図るため、その進捗状況を管理し、社会経済情勢の変化や国の制度改正などの状況変化に応じて、事業内容などを毎年度見直すことが必要となります。

そのため、成果を見極めるための成果指標などを設定し、「Plan（計画策定） Do（実施） Check（分析・評価） Action（改革・改善）」といった、PDCAサイクルの手法を取り入れた進行管理を行い、施策や事業の成果を定期的に測定し、改善・効率化を図ります。



流山市総合計画実施計画より「計画の進行管理のイメージ」

（３）まちづくり報告書とは

本報告書は、総合計画の目指すまちのイメージの実現に向けて、まちづくりがどの程度進んでいるか、事業の成果は上がっているのかといったことを示すため、令和7年度の決算見込みを踏まえて、総合計画の進捗状況の報告書として作成しています。

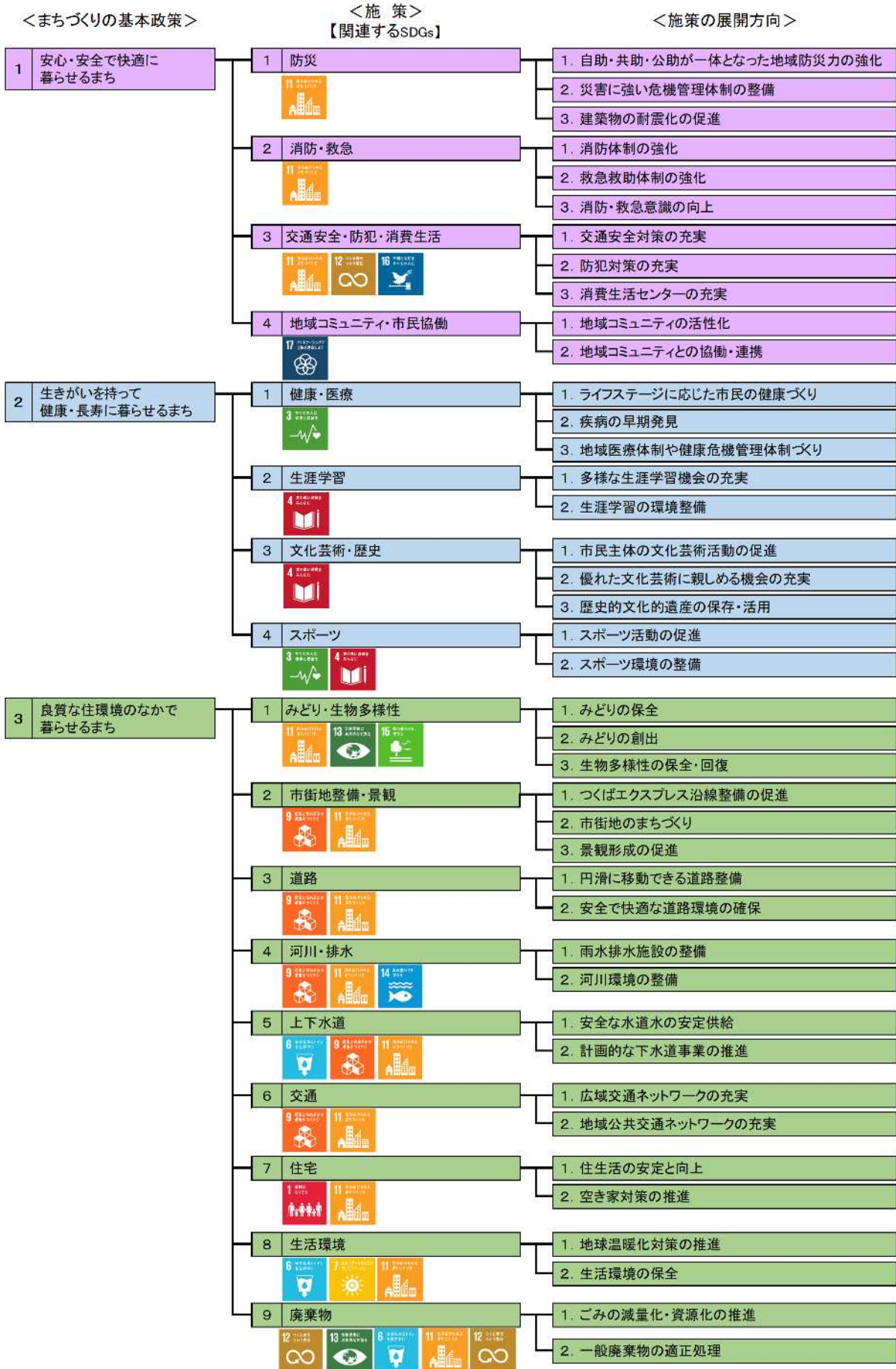
本市の行政評価は、施策や主要事業における成果指標の推移を踏まえたまちの状態指標の状況などを「施策別評価」として示すことで、総合計画の進捗状況を明らかにしています。

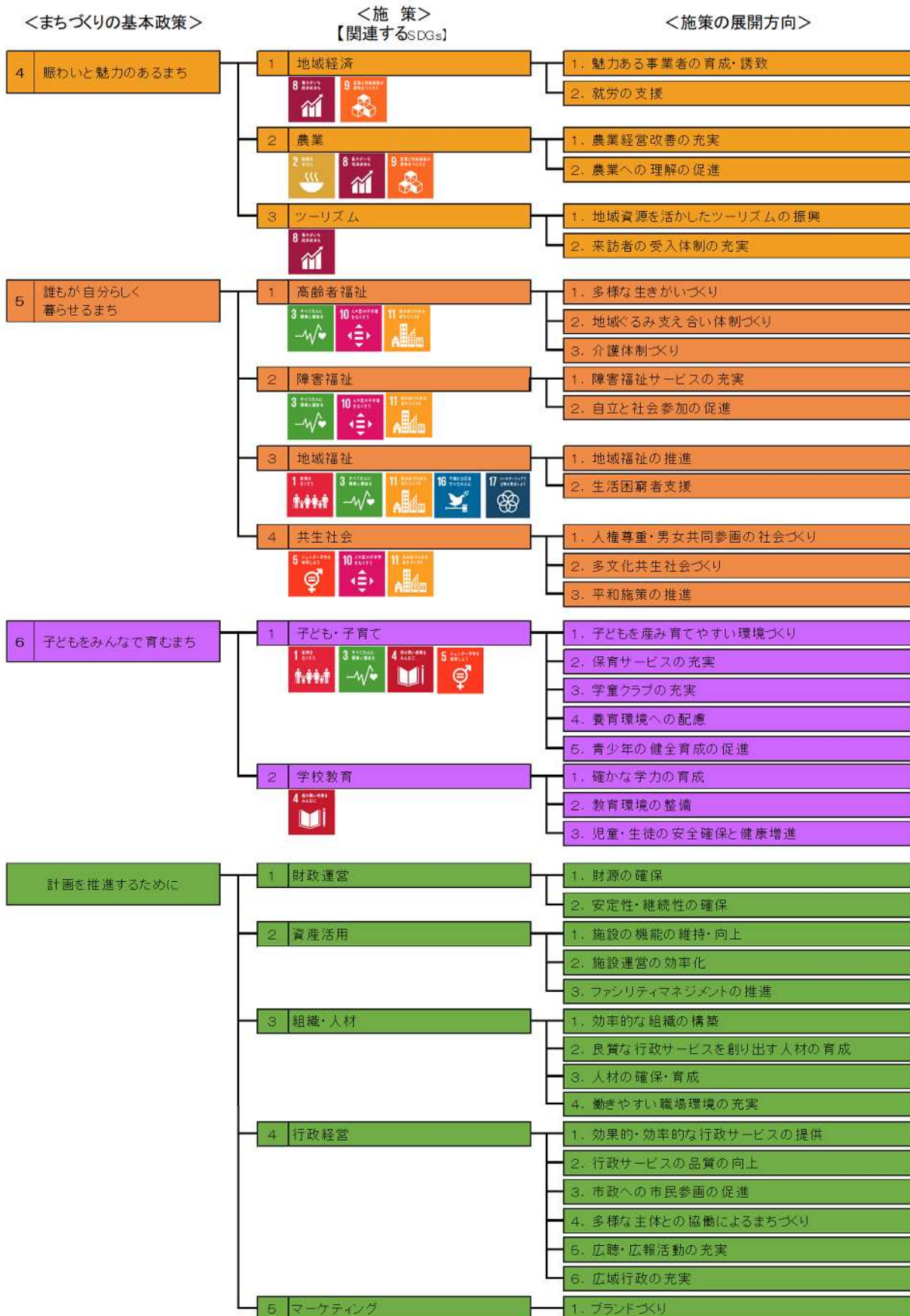
そうした行政評価を分析し、総合計画実施計画による中長期的な事業計画の見直しにより、総合計画の目標達成に向けた施策の推進と成果の向上を図ります。

また、経年変化を確認することにより、社会経済情勢の変化によるものかを見る目安となり、限られた経営資源の「選択と集中」及び事業活動の「改革と改善」への活用が期待できます。

「令和8年度版まちづくり報告書」については、令和2年度から計画期間がスタートした総合計画の進行管理の中で、令和7年度の実績に基づく分析・評価を総合計画の施策体系に紐づけて作成しています。

施策体系





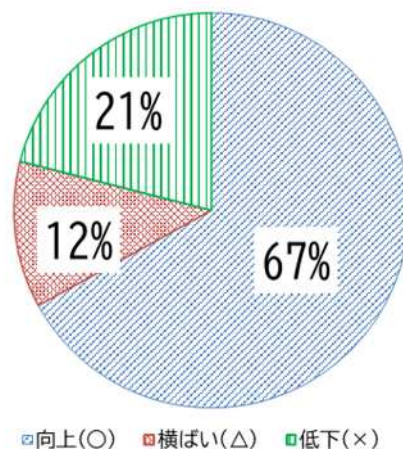
まちの経営動向

(1) 基本政策全体の達成動向

総合計画に基づく6つの基本政策の達成度について、26の施策の達成状況の指標となる60の「まちの状態指標」の実績値の推移を基に評価を行っています。総合計画策定時と令和7年度を比較し、目指す方向への達成状況を「向上(○)」「横ばい(△)」「低下(x)」の3段階で区分し、比較できない場合や、目指す方向を示さない場合などは「その他(-)」と表記しています。

全政策では「向上(○)」が全体の67%となっており、総合計画は概ね目標に向けて進んでいるといえます。

全政策の達成状況の割合
※「その他(-)」を除く。



各政策の達成状況については下表のとおりとなっています。

「良質な住環境のなかで暮らせるまち」では、快適性の高い道路環境の形成や公共交通などの交通手段の充実により良質な住環境住環境の整備を図りました。「賑わいと魅力のあるまち」では、市内事業者への生産性向上の支援や白みりんミュージアムを中心としたプロモーションなどにより賑わいのあるまちづくりを推進しました。「誰もが自分らしく暮らせるまち」では、高齢者や障害者の居場所づくりや多様性への理解の促進など誰もが自分らしく生活できるまちづくりを推進しました。これらの政策では、指標の向上している割合が多く、各事業の成果が表れているものと考えます。

一方で、指標の向上している割合が少ない政策では、「安心・安全で快適に暮らせるまち」では、道路整備など環境変化に応じた交通安全対策のための整備、「生きがいを持って健康・長寿に暮らせるまち」では、健康づくりのための講座開催や各種検診受診の勧奨による市民の健康づくり、「子どもをみんなで育むまち」では、要配慮児童の受入れ促進や校舎の改修などの学習空間の整備を推進し、達成状況の回復が見られた指標もありました。

引き続き、各基本政策の達成状況の向上を目指して各事業を推進します。

各施策の達成状況

()内は前年度の達成状況

基本政策	向上(○)	横ばい(△)	低下(x)	その他(-)	計
安心・安全で快適に暮らせるまち	3(4)	1(2)	3(1)	2(2)	9
生きがいを持って健康・長寿に暮らせるまち	5(6)	1(2)	3(1)	0(0)	9
良質な住環境のなかで暮らせるまち	18(17)	2(2)	0(1)	0(0)	20
賑わいと魅力のあるまち	4(3)	0(0)	2(3)	0(0)	6
誰もが自分らしく暮らせるまち	3(2)	2(1)	1(3)	4(4)	10
子どもをみんなで育むまち	2(2)	0(0)	2(2)	2(2)	6
計	35(34)	6(7)	11(11)	8(8)	60
全体に占める割合(%)	67(66)	12(13)	21(21)		100

(2) まちの状態指標

目指す方向への達成状況 ○...向上 ...横ばい ×...低下 ...その他

基本計画策定時点値より±2.5%以内の場合に「...横ばい」としています。

施策	施策目的	状態指標	単位	目指す方向	基本計画策定時点値	令和7年度実績	達成状況
1-1 防災	自助・共助・公助による防災体制の整備を進め、災害時の被害を最小限に抑える	地震などの災害に対する備えが十分だと思う市民の割合	%		52.5 (2018年度)	46.7	×
		自主防災組織の組織率	%		61.7 (2018年10月1日)	61.2	
1-2 消防・救急	火災や事故などの災害から、市民の生命と財産を守る	人口1万人当たりの出火件数	件		1.4 (2018年)	1.5	×
		救急出動件数	件	-	8,289 (2018年)	10,894	-
1-3 交通安全・防犯・消費生活	交通事故や犯罪、消費者トラブルなどから市民生活を守る	人口1万人当たりの交通事故発生件数	件		27.3 (2018年)	14.3	
		人口1万人当たりの犯罪発生件数	件		61.2 (2018年)	42.6	
		消費生活相談件数	件	-	2,009 (2018年度)	1,903	-
1-4 地域コミュニティ・市民協働	地域コミュニティの活性化を図り、協働・連携を通して地域課題に取り組む	自治会への加入率	%		66.2 (2018年10月1日)	57.4	×
		市民活動団体の数	団体		203 (2019年4月1日)	274	

施策	施策目的	状態指標	単位	目指す方向	基本計画策定時点値	令和7年度実績	達成状況
2-1 健康・医療	生涯を通じて心身ともに健やかに暮らせる市民の健康をつくる	健康寿命(平均自立期間) 2022(R4)年	年		65歳男性: 18.55 65歳女性: 20.46 (2015年)	18.69 21.35	
		生活習慣病による死亡者数の割合 千葉県衛生統計年報2023(R5)年	%		56.3 (2017年)	51.4	
		一般診療所の数 千葉県衛生統計年報2022(R4)年	-		95 (2017年)	137	
2-2 生涯学習	市民一人ひとりが生涯学習活動を通して人生を豊かにできる	日頃から何らかの生涯学習活動を行っている市民の割合	%		46.1 (2018年度)	37.5	×
		学びたい時に学べる環境(生涯学習のプログラムや施設)が整っていると思う市民の割合	%		31.8 (2018年度)	61.1	
2-3 文化芸術・歴史	文化芸術や歴史に親しむ機会を創出するとともに、歴史的文化的遺産を次世代へ伝える	過去1年間に文化芸術活動を行ったことがある市民の割合	%		53.5 (2018年度)	54.4	
		市内の指定文化財等の数	件		50 (2019年4月1日)	52	
2-4 スポーツ	スポーツを通じた市民の健康と体力の維持・増進を図る	スポーツで健康体力の維持・増進を行っている市民の割合	%		35.4 (2018年度)	32.0	×
		スポーツ施設の利用者数	人		1,610,133 (2018年度)	1,541,950	×

施策	施策目的	状態指標	単位	目指す方向	基本計画策定時点値	令和7年度実績	達成状況
3-1 みどり・生物多様性	市民に潤いと安らぎを与えるみどりの保全・創出に取り組む	人口1人当たりの都市公園面積	m ²		5.17 (2019年4月1日)	5.07	
		市内は緑が豊かで潤いがあり、緑とのふれあいに満足していると思う市民の割合	%		78.8 (2018年度)	86.8	
3-2 市街地整備・景観	地域の特性を活かした魅力ある街並みを創出する	これからも流山市に住み続けたいと思う市民の割合	%		83.0 (2018年度)	91.2	
		利用している駅及び駅周辺の整備や利便性に満足している市民の割合	%		42.5 (2018年度)	78.0	
		自宅周辺の街並みや景観を誇りに思う市民の割合	%		58.6 (2018年度)	68.7	
3-3 道路	安全で円滑に移動できる道路網と道路環境を整備する	快適に移動できる道路網が整備されていると思う市民の割合	%		62.4 (2017年度)	76.6	
		都市計画道路の整備率	%		70.6 (2018年度末)	76.2	
3-4 河川・排水	大雨時の洪水氾濫・内水氾濫による被害を最小限に抑える	雨水幹線の整備延長	Km		14.8 (2018年度再設定値)	15.5	
		水害による住家被害の棟数(過去3年間)	棟		0 (2016~2018年度)	0	
3-5 上下水道	安全な水道水を安定的に供給するとともに、衛生的な下水道サービスを提供する	安全で良質な水道水が安定的に供給されていると思う市民の割合	%		90.7 (2018年度)	95.7	
		公共下水道普及率	%		89.3 (2018年度末)	95.0	
3-6 交通	交通ネットワークの充実と利便性の向上を図る	公共交通に満足している市民の割合	%		75.0 (2018年度)	82.8	
		市内鉄道駅の1日当たりの乗客数	人		175,574 (2017年度)	191,603	
		流山ぐりーんバスの1日当たりの利用者数	人		2,499 (2018年度)	2,544	
3-7 住宅	多様な世代・世帯が安心して住み続けられる住まいを確保する	住宅の耐震化率	%		83.6 (2018年1月1日)	95.4	
		住宅の空き家率 2023(R5)年度	%		3.2 (2018年10月1日)	2.7	
3-8 生活環境	地球環境にやさしい、快適な生活環境をつくる	二酸化炭素排出量の基準年度比 2021(R3)年度再算定値	-		民生家庭124 民生業務159 (2017年度再算定値)	102 117	
		身近な生活環境について不満に感じている市民の割合	%		26.1 (2018年度)	21.9	
3-9 廃棄物	ごみの発生量を減らし、資源を有効に利用する循環型のまちをつくる	1人1日当たりのごみ発生量	g		848 (2018年度)	720	
		資源化率	%		21.8 (2018年度)	29.1	

施策	施策目的	状態指標	単位	目指す方向	基本計画策定時点値	令和7年度実績	達成状況
4-1 地域経済	消費者と働き手にとって魅力のある事業者や店舗を充実させる	小売吸引力指数 2021 (R3) 年経済センサス	-		0.765 (2016年)	0.661	×
		1 事業所当たりの製造品出荷額等 2021 (R3) 年経済センサス	百万円		532 (2016年)	670	
		法人市民税	万円		75,479 (2018年度)	87,243	
4-2 農業	都市農業の多面的機能を活かし、生産性や収益性を高める農業の振興を図る	認定農業者数	経営体		41 (2018年4月1日)	62	
		農業産出額(推計) 2021 (R3) ~ 2022 (R4) 年	千万円		230 (2017年)	85	×
4-3 ツーリズム	地域資源を活用し、交流人口の拡大を図る	入込客数	人		290,137 (2017年度)	508,593	

施策	施策目的	状態指標	単位	目指す方向	基本計画策定時点値	令和7年度実績	達成状況
5-1 高齢者福祉	高齢者が住み慣れた地域のなかで、いつまでも自分らしく生き生きと暮らせるまちをつくる	高齢者の人口	人	-	45,411 (2019年4月1日)	47,509	-
		生きがいを感じる高齢者の割合	%		82.8 (2018年度)	84.1	
		要介護・要支援認定率	%		16.7 (2019年4月1日)	21.2	×
5-2 障害福祉	障害者等が、地域や家庭のなかで、自分らしく自立した生活を送ることができるまちをつくる	障害のある方が各種支援を受けるために必要な手帳の所持者数 R6年4月1日時点	人	-	身体障害者：4,216 知的障害者：1,011 精神障害者：1,332 (2019年4月1日)	4,215 1,310 2,062	-
		障害者就労支援センターの利用者数 R6年4月1日時点	人		207 (2019年4月1日)	202	
		相談支援事業の利用者数 R6年4月1日時点	人		2,190 (2019年4月1日)	3,800	
5-3 地域福祉	自助・共助・公助の役割分担のもと地域の“チカラ”を高める	福祉のサービス等に市民が参加できる(協力できる)まちぐるみの福祉ができていると思う市民の割合	%		57.3 (2018年度)	63.8	
		生活保護受給者数	人	-	1,708 (2019年4月1日)	1,865	-
5-4 共生社会	すべての市民が国籍や性別などにかかわらず、互いの人権を尊重し合える社会をつくる	国籍や性別等にかかわらず平等に扱われていると思う市民の割合	%		85.2 (2020年から新規取得)	88.4	
		外国人の人口	人	-	2,737 (2019年4月1日)	4,696	-

施策	施策目的	状態指標	単位	目指す方向	基本計画策定時点値	令和7年度実績	達成状況
6-1 子ども・子育て	すべての子どもが健やかに育ち、地域全体で子育てできるまちをつくる	18歳未満の人口	人	-	34,375 (2019年4月1日)	40,203	-
		合計特殊出生率 2024 (R6) 年	-	-	1.67 (2018年)	1.42	×
		流山市は子育てがしやすいまちだと思う市民の割合	%	-	51.6 (2018年度)	62.6	
6-2 学校教育	学びに向かう力と自立する子どもを育む	全国学力・学習調査平均正答率	%	全国平均、 県平均を上回る	小学校：62.6 中学校：66.2 (2018年度)	66.5 (全60.6県60.3) 56.0 (全51.3県50.5)	
		児童・生徒数 R5年5月1日時点	人	-	児童10,863 生徒4,344 (2018年5月1日)	14,245 5,423	-
		いじめの認知件数	件	-	小学校1,246 中学校503 (2018年度)	4,199 328	×

施策分野別評価表

[評価表の見方]

施策 防災		基本政策 安心・安全で快適に暮らせるまち		IV 施策分野別評価表				
主管部局 市民生活部		施策の目的 自助・共助・公助による防災体制の整備を進め、災害時の被害を最小限に抑える						
まちの状態指標 地震などの災害に対する備えが十分だと思う市民の割合		指標の説明または出典元 水・食糧3日分を備蓄している市民の割合（まちづくり達成度アンケート）		R5実績	R6実績	R7実績	単位	目標方向
自助防災組織の組織率		自助防災組織世帯数÷常住人口世帯数×100（10月1日時点）		48.2	51.8	46.7	%	↑
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 引き続き「自助」「共助」の観点から、自助防災組織の拡充を図るため、広報や啓発活動を推進しました。また「公助」として、指定避難所等への防災施設整備を進めるため、初石公民館および生涯学習センターにおけるマンホールトイレ等の実施設計を行いました。あわせて備蓄面でも計画的な物品購入を実施し、「自助・共助・公助」が一体となった地域防災力の強化を図りました。		・現状 近年、災害が激甚化・頻発化しており、災害に対する備えとして、「自助・共助・公助」が一体となった地域防災力の強化・向上が必要です。災害がいつ発生してもおかしくない今、「自助・共助・公助」が一体となった地域防災力の強化が不可欠です。		・課題 「自助・共助・公助」による防災体制の整備を進めていくためには、防災施設等の整備だけでなく、市民の皆様にも日頃から災害に対して備えていただく必要があります。		・取組内容 「自助」「共助」の観点から、自助防災組織の拡充を図るため、広報や啓発活動を進めます。また、「公助」の観点からは、公的備蓄の拡充として引き続き各種備蓄品の購入を行うと共に、指定避難所等への防災施設整備を進めてまいります。		
・改善した点 自助防災組織に対し、補助金について文書送付等で継続的な活用を促しました。備蓄面では飲料水の計画購入により備蓄率を向上させ、食料は適宜更新し備蓄率100%を維持、資機材の整備も順次進めました。また、公共施設へのマンホールトイレ設置に向けた実施設計を行いました。		・評価 自助防災組織数および補助金活用数が見事に達したため、今後さらなる啓発活動の強化が必要です。備蓄率については100%達成に向けて着実に向上しています。また「公助」の観点から、指定避難所となる公共施設への防災施設整備を段階的に進めており、地域防災力の向上に向けた取り組みを継続しています。		自助・共助・公助が一体となった地域防災力の強化				
自助防災組織活動促進事業		自治会やマンション管理組合が組織する自助防災組織の活動を支援するため、資機材整備や防災訓練の実施、講演会の実施、研修会への参加など防災に要する経費の一部を補助します。						
担当課	R7当初予算	R7決算見込	R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源		
防災危機管理課	4,500	3,378	6,597	4,500	2,250	2,250		
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標	R6実績	R7実績	R8目標	
自助防災組織数(組織)	142	143	148	補助金を活用している自助防災組織数(組織)	71	73	75	
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 市の広報やホームページにて自助防災組織の設立や補助金制度の記事を掲載し周知を図りました。また、自治会長向けに制度の説明を行いました。		・現状 自助・共助の観点から、自助防災組織の設立や、組織の充実を進めています。		・課題 自助防災組織の新規設立に向けては、マンション管理組合での組織化を促す必要があります。また、補助金の活用については、既存の組織への働きかけが欠かせません。		・取組内容 市の広報紙やホームページで自助防災組織の設立と補助金制度を周知するとともに、自治会長向け説明会などでも継続して制度説明を行います。あわせて、新規設立に向けてマンション管理組合への働きかけも進めてまいります。		
・改善した点 補助金の活用を促進するため、補助金申請を行っていない自助防災組織について、案内文書の送付等、継続的な呼びかけを行いました。		・評価 自助防災組織数、補助金活用した自助防災組織数とも目標に達しなかったため、さらなる啓発等が必要です。						

総合計画の体系に基づき、該当の基本政策、施策、目的、主管部局及び関連するSDGs ()を示しています。

「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」の略称。将来の世代が安心して暮らすことのできる持続可能な世界を実現するために、達成すべき17の目標(ゴール)が定められました。

総合計画に定められた「まちの状態指標」を示すとともに、施策全体としての前年度の取組み、評価、改善点と、当年度の現状、課題、取組みについての総括を記載しています。

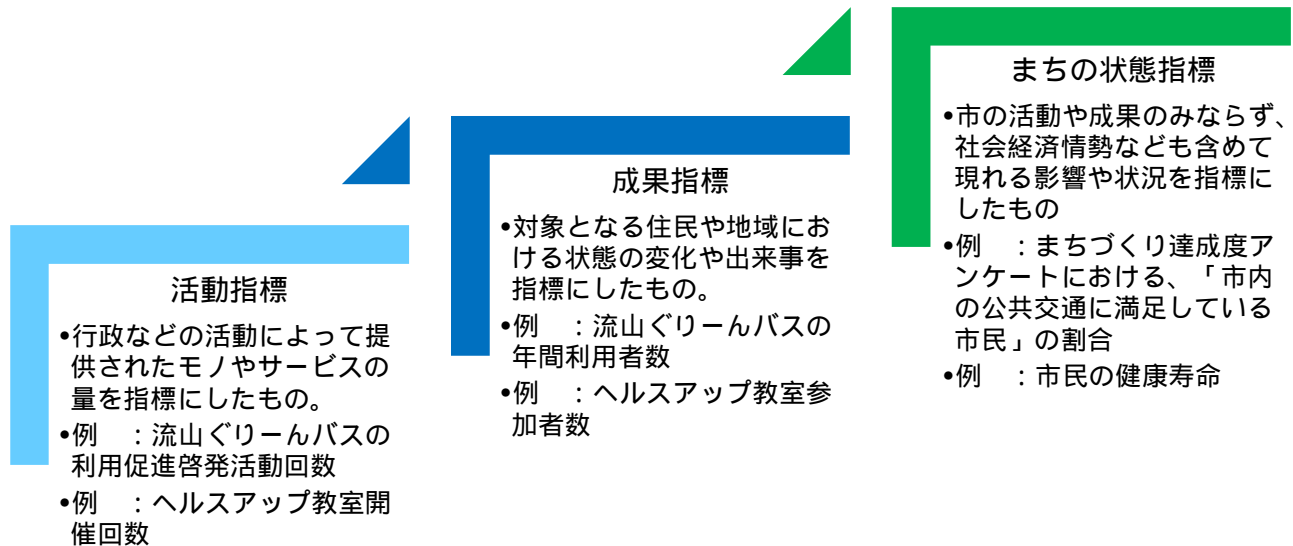
前年度及び当年度の実施計画における主要な事業を中心に、総合計画の体系に基づき、「施策の展開方向」ごとに、各事業の概要に加え、前年度の取組みや評価、改善点、今年度の現状や課題、取組みについて記載しています。

注：予算等の金額の単位は千円です。

指標について

行政評価は、個々の施策や事業の目的が何なのか、その目的を実現するために、どのような手段が妥当であり、成果に結びつくのかを評価し、市の未来につなげることが目的です。

これを可視化するために、指標を定め、その実績値や目標値を記載しています。施策レベルの指標は「まちの状態指標」、事業レベルの指標は、「活動指標」と「成果指標」に分類しており、それぞれ以下のような関係になっています。



主管部局 市民生活部 施策の目的 自助・共助・公助による防災体制の整備を進め、災害時の被害を最小限に抑える



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R5実績	R6実績	R7実績	単位	目指す方向
地震などの災害に対する備えが十分だと思う市民の割合	水・食糧3日分を備蓄している市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	48.2	51.8	46.7	%	
自主防災組織の組織率	自主防災組織世帯数÷常住人口世帯数×100（10月1日時点）	62.4	62.2	61.2	%	

令和7年度の取組と改善点・評価	令和8年度の現状・課題・取組
<p>・取組内容 引き続き「自助」「共助」の観点から、自主防災組織の拡充を図るため、広報や啓発活動を推進しました。また「公助」として、指定避難所等への防災施設整備を進めるため、初石公民館および生涯学習センターにおけるマンホールトイレ等の実施設計を行いました。あわせて備蓄面でも計画的な物品購入を実施し、「自助・共助・公助」が一体となった地域防災力の強化を図りました。</p> <p>・改善した点 自主防災組織に対し、補助金について文書送付等で継続的な活用を促しました。備蓄面では飲料水の計画購入により備蓄率を向上させ、食料は適宜更新し備蓄率100%を維持、資機材の整備も順次進めました。また、公共施設へのマンホールトイレ設置に向けた実施設計を行いました。</p> <p>・評価 自主防災組織数および補助金活用数が目標に達しなかったため、今後さらなる啓発活動の強化が必要です。備蓄率については100%達成に向けて着実に向上しています。また「公助」の観点から、指定避難所となる公共施設への防災施設整備を段階的に進めており、地域防災力の向上に向けた取り組みを継続しています。</p>	<p>・現状 近年、災害が激甚化・頻発化しており、災害に対する備えとして、「自助・共助・公助」が一体となった地域防災力の強化・向上が必要です。災害がいつ発生してもおかしくない今、「自助・共助・公助」が一体となった地域防災力の強化が不可欠です。</p> <p>・課題 「自助・共助・公助」による防災体制の整備を進めていくためには、防災施設等の整備だけでなく、市民の皆様にも日頃から災害に対して備えていただく必要があります。</p> <p>・取組内容 「自助」「共助」の観点から、自主防災組織の拡充を図るため、広報や啓発活動を進めます。また、「公助」の観点からは、公的備蓄の拡充として引き続き各種備蓄品の購入を行うと共に、指定避難所等への防災施設整備を進めてまいります。</p>

自助・共助・公助が一体となった地域防災力の強化

自主防災組織活動促進事業	自治会やマンション管理組合が組織する自主防災組織の活動を支援するため、資機材整備や防災訓練の実施、講演会の実施、研修会への参加など防災に要する経費の一部を補助します。						
担当課	R7当初予算	R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
防災危機管理課	4,500	3,378		6,597	4,500	2,250	2,250
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標	R6実績	R7実績	R8目標
自主防災組織数(組織)	142	143	148	補助金を活用している自主防災組織数(組織)	71	73	75
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組			
<p>・取組内容 市の広報やホームページにて自主防災組織の設立や補助金制度の記事を掲載し周知を図りました。また、自治会長向けに制度の説明を行いました。</p> <p>・改善した点 補助金の活用を促進するため、補助金申請を行っていない自主防災組織について、案内文書の送付等、継続的な呼びかけを行いました。</p> <p>・評価 自主防災組織数、補助金活用した自主防災組織数とも目標に達しなかったため、さらなる啓発等が必要です。</p>				<p>・現状 自助・共助の観点から、自主防災組織の設立や、組織の充実を進めています。</p> <p>・課題 自主防災組織の新規設立に向けては、マンション管理組合での組織化を促す必要があります。また、補助金の活用については、既存の組織への働きかけが欠かせません。</p> <p>・取組内容 市の広報紙やホームページで自主防災組織の設立と補助金制度を周知するとともに、自治会長向け説明会などでも継続して制度説明を行います。あわせて、新規設立に向けてマンション管理組合への働きかけも進めてまいります。</p>			

災害に強い危機管理体制の整備

公的備蓄整備事業	公的備蓄の整備を進めるため、計画的に防災備蓄倉庫、食糧や防災資機材を整備します。						
担当課	R7当初予算	R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
防災危機管理課	27,334	26,891		6,597	26,600	2,694	23,906
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標	R6実績	R7実績	R8目標
食料備蓄率(%)	141.8	137.2	-				
飲料水備蓄率(%)	86.8	89.6	-				
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組			
<p>・取組内容 備蓄計画の目標設定に合わせ、備蓄品の購入を進めました。</p> <p>・改善した点 飲料水については計画的に購入を進め、備蓄率を向上させました。食料についても賞味期限に応じて適宜更新を行い、備蓄率100%を維持しています。また、その他の資機材についても、順次整備を進めました。</p> <p>・評価 備蓄率については100%に近づきつつあります。</p>				<p>・現状 備蓄計画の目標に向けて、備蓄品の購入を進めている状況です。</p> <p>・課題 備蓄計画に基づき、計画的に備蓄を進めていく必要があります。</p> <p>・取組内容 備蓄計画に基づき、備蓄を進めてまいります。</p>			

災害に強い危機管理体制の整備							
地域防災計画策定事業		関係法令等の改正や各種状況の変化に伴い、適宜見直しを行います。					
担当課	R7当初予算	R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
防災危機管理課	983	491		660	605	0	605
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組			
・取組内容 令和8年3月に地域防災計画の一部見直し(時点修正)を行いました。				・現状 現時点での状況に応じた計画に修正した状態です。			
・改善した点 関係各課への意見照会や協議を基に、現時点の状況に応じた計画に時点修正しました。				・課題 法改正等の状況に応じて、随時見直しや修正を検討する必要があります。			
・評価 現時点の状況に応じた計画に修正しましたが、状況変化に応じて今後も時点修正が必要です。				・取組内容 法改正等に合わせ、修正や見直しを行っています。			

災害に強い危機管理体制の整備									
防災施設整備事業		指定避難場所及び指定避難所に被災者のための防災施設や防災備蓄倉庫を整備します。							
担当課	R7当初予算	R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源		
防災危機管理課	8,338	7,590		6,597	30,151	27,695	2,456		
主な活動指標		R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
かまどベンチ設置数累計(基)		32	32	-	倉庫設置件数(件)		44	44	-
太陽光照明設置数(基)		21	21	-	マンホールトイレ設置箇所数(箇所)		14	14	-
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組					
・取組内容 公共施設への防災設備の整備を進めるため、初石公民館及び生涯学習センターに防災施設(マンホールトイレ等)整備のための実施設計を行いました。				・現状 指定避難所となる施設に必要な防災施設が不足している状況です。					
・改善した点 指定避難所となる公共施設へのマンホールトイレ設置に向け、実施設計を行い、準備を進めました。				・課題 既存公共施設への防災施設整備においては、設置場所の選定に加え、施工時の安全性確保や利用者への影響を考慮する必要があることから、防災施設の増設には慎重な検討と準備を要しています。					
・評価 「公助」の観点から、指定避難所となる公共施設に防災施設の整備が少しずつ進んでいます。				・取組内容 生涯学習センターに災害用井戸及び江戸川台小学校にマンホールトイレの設置工事を実施します。					

建築物の耐震化の促進									
耐震改修促進事業		住宅の耐震化の促進を図るため、平成12年以前に建築された一戸建ての木造住宅に対し、耐震診断・耐震改修費、又は昭和56年以前に建築された分譲マンションに対し、耐震診断費の一部を補助します。地震災害による、コンクリートブロック塀等の倒壊を防止するため、市内小学校の通学路沿いの危険なコンクリートブロック塀等に対し、除却費の一部を補助します。							
担当課	R7当初予算	R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源		
建築住宅課	19,600	31,575		13,194	19,600	14,685	4,915		
主な活動指標		R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
無料耐震診断及び出張耐震相談件数(件)		24	36	20	耐震診断及び耐震改修補助件数(件)		68	59	46
ブロック塀等所有者への啓発件数(件)		232	250	250	ブロック塀等除却補助件数(件)		4	11	10
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組					
・取組内容 耐震診断、改修補助事業については、広報誌を中心とした啓発と共に戸別訪問を行いました。ブロック塀等除却事業については、所有者等に補助制度の内容と診断結果の丁寧な説明を実施しながら、学校関係者へ情報共有を行い、連携を図りました。				・現状 耐震診断、改修補助事業については、市民の住宅に対する耐震意識が向上しており、令和6年度以降、相談及び申請が増えています。ブロック塀等除却事業については、啓発活動を充実させ、除却推進を図る必要があります。					
・改善した点 小学校通学路沿いにある危険コンクリートブロック塀の除却件数が減少しているため、戸別訪問の際に簡易的な診断を行い、その結果をブロック塀等の所有者に丁寧に説明しました。				・課題 市民の住宅に対する耐震意識は向上したものの、ブロック塀等除却事業について、診断結果の説明を行い、除却の必要性について丁寧に説明していく必要があります。					
・評価 流山市住宅耐震化緊急促進アクションプログラム2025に基づき、戸別訪問と共に耐震化のための啓発活動を行いました。ブロック塀等の除却については、補助制度の内容を戸別に説明し、除却促進を行いました。				・取組内容 耐震診断、改修補助事業については、広報誌を中心とした啓発と共に戸別訪問を行っていきます。ブロック塀等除却事業については、所有者等に補助制度の内容と診断結果の丁寧な説明を実施しながら、学校関係者へ情報共有を行い、連携を図っていきます。					

主管部局 消防本部 施策の目的 火災や事故などの災害から、市民の生命と財産を守る



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R5実績	R6実績	R7実績	単位	目指す方向
人口1万人当たりの出火件数	火災件数(1月～12月)÷人口(1月1日時点)×10,000	1.5	1.2	1.5	件	
救急出動件数	1月～12月(消防本部)	10,843	10,831	10,894	件	

令和7年度の取組と改善点・評価	令和8年度の現状・課題・取組
<p>・取組内容 消防本部・中央消防署庁舎の運用開始に向け、適切な工事監理のもと建設工事を進めるとともに、指令機器の移設についても災害出動に支障が生じないよう関係機関と調整を行いました。また、増加傾向にある救急出動に対応するため救急隊員の養成を行い救命率の向上を図るとともに、火災の発生及び被害の軽減を図るため、広報パトロールや消防訓練を通じて市民の防火意識の向上に取り組みました。</p> <p>・改善した点 消防本部・中央消防署庁舎の運用開始に向け、建設工事を着実に進めるとともに、指令機器の移設に際しては、災害出動に支障が生じないよう関係機関と綿密な調整を行いました。また、救急出動が増加傾向にあることから、救急隊員の計画的な養成を進めるとともに、日勤救急隊の運用を開始し、救急要請の多い昼間の対応と救急隊員の負担軽減に努めました。</p> <p>・評価 消防本部・中央消防署庁舎の建設工事及び指令機器等の移設を、災害出動に支障をきたすことなく、円滑に完了しました。また、増加する救急出動に対して救急隊員の計画的な養成及び日勤救急隊の運用開始により体制の強化を図りました。</p>	<p>・現状 自然災害は激甚化・頻発化の傾向を強めており、さらに首都直下地震の発生も懸念されるなど、消防行政を取り巻く環境は一層厳しさを増しています。加えて、高齢化の進展等を背景として救急出動件数は増加しており、防火対象物の多様化への対応も求められている中、現場対応力の確保がこれまで以上に重要となっております。</p> <p>・課題 自然災害の激甚化・頻発化や首都直下地震への備えが求められる中で、高齢化に伴う救急出動の増加や建物の多様化にも対応する必要があり、こうした状況において限られた人員と資機材をいかに有効に活用して消防力の強化を図っていくかが課題となっております。</p> <p>・取組内容 消防力の強化に向け、計画的に人材育成を推進するとともに、個人装備品や災害用資機材の近代化及び訓練環境の充実を図ります。あわせて、火災事例を分析し広報パトロールや自治会回覧、SNS等を活用して積極的に情報発信を行い、類似火災の防止と被害の軽減に取り組みます。</p>

消防体制の強化

消防車両整備事業	常備消防が運用する車両を「流山市の消防車両等更新基準」に基づき、更新整備します。								
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)		R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
警防救急課	207,110		185,574		19,791		210,662	136,351	74,311
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標			R6実績	R7実績	R8目標
消防車両等配備台数(台)	28	28	28	消防車両等更新台数(台)			5	2	2
令和7年度の取組と改善点・評価					令和8年度の現状・課題・取組				
<p>・取組内容 救急車の車体や資機材の選定を見直し、経費削減に努めました。</p> <p>・改善した点 購入仕様書を見直し、より効率的に救急活動ができるよう改善しました。</p> <p>・評価 東消防署及び南消防署の救急車を更新整備したことにより、適切かつ円滑な救急活動に寄与しました。</p>					<p>・現状 救急車単車に向けた調整や令和9年度に購入予定の車両の精査を実施します。</p> <p>・課題 物価高騰のあおりを受け、事業費が年々高等していることが課題と考えています。</p> <p>・取組内容 引き続き調査研究を重ねるとともに、購入仕様書を見直し、事業費を抑え、より効果的な活動ができるように改善します。</p>				

消防体制の強化

消防資機材整備事業	消防署の消防・救助・救急隊の災害用及び訓練用の消防資機材の整備及び保守点検を実施します。								
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)		R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
中央消防署	27,953		26,997		32,985		24,997	1,078	23,919
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標			R6実績	R7実績	R8目標
防火衣上下の更新計画について(着)	20	46	33	防火衣上下の更新計画について(着)			20	46	33
令和7年度の取組と改善点・評価					令和8年度の現状・課題・取組				
<p>・取組内容 火災等の各種災害及び救急活動に対応すべく各種資機材の更新整備を図りました。</p> <p>・改善した点 複雑多様化する災害に対応すべく、各種資機材の整備を図りました。</p> <p>・評価 老朽化の進んだ高圧空気製造設備の更新を図るとともに、各種災害用資機材の更新整備を図りました。</p>					<p>・現状 消防活動に係る消防隊員用防火服の更新や救急活動用資機材の更新整備を図ります。</p> <p>・課題 防火衣の段階的な整備及び個人貸与については長期的な計画が必要です。</p> <p>・取組内容 火災・災害等の消防活動に対処するため災害用資機材の最新化を図るとともに救急隊員が救急活動を迅速かつ的確に行えるように資機材の充実を図ります。</p>				

消防体制の強化

中央消防署移転事業								昭和49年に建設された現消防本部・中央消防署の庁舎移転を行い、防災拠点の強化及び庁舎の適正配置を図ります。									
担当課		R7当初予算			R7決算見込			R7職員給与費(目安)		R8当初予算		R8特定財源		R8一般財源			
消防総務課		73,111			2,029,782			6,597		0		0		0			
主な活動指標		R6実績		R7実績		R8目標(予定)		主な成果指標				R6実績		R7実績		R8目標	
建築工事進捗状況(%)		83.27		100		-		施設利用者の満足度(%)				-		92.75		-	
令和7年度の取組と改善点・評価								令和8年度の現状・課題・取組									
<p>・取組内容</p> 消防本部・中央消防署庁舎の運用開始に向けて、適切な工事監理のもと建築工事を着実に進めるとともに、災害出動の要となる指令装置の移設についても、出動に支障をきたすことのないよう関係機関と調整を行いました。								<p>・現状</p> 令和7年度で事業は終了しました。									
<p>・改善した点</p> 消防本部・中央消防署庁舎の運用開始に向け、災害出動に支障が生じないよう、指令機器等の移設について関係機関と連絡調整を行うとともに、移転検討委員会において、移転までの綿密な計画を策定しました。								<p>・課題</p> 令和7年度で事業は終了しました。									
<p>・評価</p> 消防本部・中央消防署庁舎の建設工事及び指令機器等の移設を、災害出動に支障をきたすことなく、円滑に完了しました。また、本移転が完了したことで、防災拠点の強化及び庁舎の適正な配置が図られました。								<p>・取組内容</p> 令和7年度で事業は終了しました。									

消防体制の強化

消防指令業務運用事業								消防指令業務の効率化や円滑な広域応援体制を図るため、ちば北西部消防指令センター(松戸市)の指令業務、Jアラート(予備機)及び指令システムの維持管理業務などを行います。									
担当課		R7当初予算			R7決算見込			R7職員給与費(目安)		R8当初予算		R8特定財源		R8一般財源			
警防救急課		164,465			154,604			41,051		197,110		41,735		155,375			
主な活動指標		R6実績		R7実績		R8目標(予定)		主な成果指標				R6実績		R7実績		R8目標	
救急車の現場到着時間(平均現場到着時間)(分)		10.5		10.0		9.5		通信機器の故障対応回数(回)				40		81		50	
令和7年度の取組と改善点・評価								令和8年度の現状・課題・取組									
<p>・取組内容</p> 専任遠征制勤務職員への高度な訓練方法の確立を図るとともに、マニュアルの細分化等を行い、多様化、激甚化する災害に対応可能なマニュアルへの改訂を行いました。								<p>・現状</p> 災害における情報収集や無線交信を行う専任職員を配置し、災害に対応しています。									
<p>・改善した点</p> マニュアルの専任化により、通信指令業務を過年度以上に迅速性・確実性を高めることが可能となったため、訓練方法の見直しやマニュアルの細分化等が必要となりました。								<p>・課題</p> 令和13年に指令システムの更新時期を迎えており、最新の通信技術や大規模災害に対応できる基盤の再構築が必要です。									
<p>・評価</p> マニュアルの細分化及び遠征制勤務職員への機器運用訓練を実施したことにより、災害時における迅速性及び確実性を一定水準まで引き上げました。								<p>・取組内容</p> 現在の共同運用体制をより強固なものにするために、更新に伴う指令システム構成について、情報収集及び他構成市との協議を進めてまいります。									

消防体制の強化

消防団機械器具置場整備事業								地域防災の拠点施設である消防団機械器具置場について、適切な時期に必要な施設改修を実施するとともに、経年劣化の状況を踏まえ、木造施設の目標耐用年数である50年を目安に建替えを行います。令和8年度は、第6分団及び第18分団機械器具置場の和式トイレを洋式トイレへ改修する工事を行います。									
担当課		R7当初予算			R7決算見込			R7職員給与費(目安)		R8当初予算		R8特定財源		R8一般財源			
消防総務課		33,270			38,169			6,597		1,914		0		1,914			
主な活動指標		R6実績		R7実績		R8目標(予定)		主な成果指標				R6実績		R7実績		R8目標	
消防団機械器具置場建設予定(件)		-		1		-		消防団機械器具置場建設工事進捗率(%)				-		100		-	
消防団機械器具置場改修予定(件)		-		-		2		消防団機械器具置場改修工事進捗率(%)				-		-		100	
令和7年度の取組と改善点・評価								令和8年度の現状・課題・取組									
<p>・取組内容</p> 第14分団機械器具置場の建設工事に遅れが生じることがないように、関係機関と連絡調整を図りながら、円滑に事業を進めました。								<p>・現状</p> 第6分団及び第18分団機械器具置場のトイレは和式であり、現代の生活様式に適合していない状況にあります。									
<p>・改善した点</p> 第14分団機械器具置場の建設が完了するまでの間、地域の防災力が低下しないよう、北消防署を代替の防災拠点施設としました。								<p>・課題</p> 和式トイレは消防団員にとって身体的負担が大きく、誰もが使いやすい環境整備が求められています。									
<p>・評価</p> 関係機関と適切に連絡調整を行い、第14分団機械器具置場の建設工事に遅れを生じさせることなく、事業を円滑に完了しました。								<p>・取組内容</p> 第6分団及び第18分団の和式トイレを洋式トイレへ改修し、利便性と利用環境の向上を図ります。									

消防体制の強化

消防団車両整備事業		消防団に配備する車両を更新整備することにより地域防災力の中核を担う消防団の機動力を向上させます。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
警防救急課	6,000		5,102		19,791	5,566	0	5,566
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
消防団車両等配備台数(台)	24	23	23	消防団車両更新台数(台)		3	0	0
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
<p>・取組内容</p> <p>購入から20年経過する流山市消防団第2分団及び第21分団車両をリース契約にて更新整備を行うため事業を進めました。</p>				<p>・現状</p> <p>消防団更新整備計画を20年から25年としたため、更新の予定はありません。</p>				
<p>・改善した点</p> <p>消防団員が災害活動をする上で、各種資機材の軽量小型化及び車両の選定を進めました。</p>				<p>・課題</p> <p>令和7年度から製造ラインが停止しており、更新の用途は立っていないが、引き続き車種や仕様についての調査・研究に努めます。</p>				
<p>・評価</p> <p>車両メーカーから、ベース車両の供給が不能であると連絡があったため、更新整備を行えませんでした。</p>				<p>・取組内容</p> <p>課題についての調査・研究に努めます。</p>				

救急救助体制の強化

救急業務事業		東葛飾北部地域救急業務メディカルコントロール協議会で定められている救急活動事後検証会を行い、救急隊の現場活動の質の向上を図るほか、日勤救急隊が円滑に活動するための資器材及び消耗品の購入整備に努めています。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
警防救急課	9,073		8,792		46,179	5,404	0	5,404
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
救急活動事後検証(件)	32	60	60	救急活動事後検証(件)		32	56	60
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
<p>・取組内容</p> <p>事後検証の結果を踏まえ、迅速かつ確な救急活動に努めました。</p>				<p>・現状</p> <p>近年の大量退職のため、救急隊員が若年化しています。</p>				
<p>・改善した点</p> <p>検証によるフィードバックを救急活動に繋げていくため、PDCAサイクルの構築を行いました。</p>				<p>・課題</p> <p>救急隊員の若年化により、現場経験の少ない隊員が増加しています。</p>				
<p>・評価</p> <p>検証結果をフィードバックするためのPDCAサイクルを構築し、救命率の向上を図りました。</p>				<p>・取組内容</p> <p>検証によるフィードバックを若手職員に行い、迅速かつ確な救急活動に繋げて行きます。また、救急車の適正利用について広報活動を行います。</p>				

救急救助体制の強化

救急救命士養成事業		救命率の向上を図るため、より高度な救命処置が施せる救急救命士の養成や救急救命士の前段となる救急隊員を養成します。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
消防総務課	5,131		4,938		19,791	4,760	0	4,760
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
救急救命士資格取得人数(人)	1	1	1	救急救命士人数(人)		36	39	37
千葉県消防学校救急科受講人数(人)	8	8	8					
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
<p>・取組内容</p> <p>令和7年度から運用となる日勤救急隊を含めた強化育成を確立させるため、計画的な研修及び入校等に参加し計画的に救急救命士及び救急隊員の養成を行うと共に、救命率の向上を図りました。</p>				<p>・現状</p> <p>救急需要が高まるなか、救急救命士を含めた救急隊員の業務負担の軽減及び平準化が求められています。</p>				
<p>・改善した点</p> <p>救急救命士養成所や千葉県消防学校へ職員を派遣し、指導救命士、救急救命士、救急隊員の育成に努めました。</p>				<p>・課題</p> <p>ライフステージの変化及び定年退職等による人員の減少や柔軟な職員の配置を可能とするため、計画的に救急救命士の養成及び拡充することが必要です。</p>				
<p>・評価</p> <p>令和7年度は、救急救命士養成所に派遣した職員1名が国家試験に合格し、令和8年度から運用可能となりました。</p>				<p>・取組内容</p> <p>研修機関へ派遣するとともに資格取得に向け計画的な育成強化に努めます。</p>				

火災予防運動啓発事業		火災による被害の軽減を図るため、住宅用火災警報器の設置促進や消防団による火災予防の広報、出火防止及び防火思想の普及啓発を行います。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
予防課	5,028		2,585		5,278	5,025	0	5,025
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
防火診断実施件数(件)	5	5	20	年間火災発生件数(件)		25	32	22
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
<p>・取組内容 火災予防運動及び歳末火災予防特別警戒の期間中に市内を巡視し、SNSを含む広報や啓発活動を実施しました。また、通年において単身高齢者世帯防火診断を実施し、住宅防火対策の指導を行いました。</p>				<p>・現状 増加傾向にある電気火災の出火防止策及び地震火災対策が求められています。</p>				
<p>・改善した点 実効性のある火災予防啓発活動として、火災予防フェア、単身高齢者世帯防火診断、火事の写真集の展示、SNS更新などを実施しました。</p>				<p>・課題 一般住宅や各事業所への防火思想の普及啓発活動の継続や、住宅用火災警報器に併せて感震ブレーカーの普及啓発活動が必要となります。</p>				
<p>・評価 火災予防の取り組みとして、火災予防フェアの開催をはじめ、SNSを含む広報、巡視及び指導を実施し、広く防火意識を浸透させることができました。</p>				<p>・取組内容 類似火災の発生と被害の軽減を図るため、火災事例の原因や背景について、広報パトロール、自治会への文書回覧、SNSの更新などの積極的な広報活動を実施していきます。</p>				

主管部局 土木部

施策の目的 交通事故や犯罪、消費者トラブルなどから市民生活を守る



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R5実績	R6実績	R7実績	単位	目指す方向
人口1万人当たりの交通事故発生件数	交通事故統計ちば(千葉県警察本部)	16.7	17.3	14.3	件	
人口1万人当たりの犯罪発生件数	人口1万人当たりの犯罪発生件数(1月~12月)(千葉県警察本部)	44.0	40.7	42.6	件	
消費生活相談件数	消費生活センターに寄せられた相談件数(消費生活センター)	1,607	1,827	1,903	件	

令和7年度の取組と改善点・評価	令和8年度の現状・課題・取組
<p>・取組内容 市内における交通事故の傾向について、関係機関と情報を改めて共有し、適切な対策を講じるように努めました。また、防犯灯及び防犯カメラの整備を推進するとともに、警察等との連携を強化できるよう検討しました。また、犯罪発生情報や消費関連情報等の迅速な発信に取り組み、市民の防犯意識の向上及び消費者啓発に努めました。</p> <p>・改善した点 人口の増加や区画整理事業による道路整備等の環境状況の変化に対応した、安全対策を行いました。また、刑法犯認知件数の減少を図るため警察署等の各関係機関との連携をはかりパトロールの強化を図ったほか、消費者トラブルについては若年者に向けて注意喚起及び啓発に努めました。</p> <p>・評価 区画整理事業等による環境状況の変化に応じ、防犯灯の整備を実施し、警察署等の各関係機関との連携したほか、啓発活動等を通じた防犯活動を実施により体感治安が高まりました。また、多様・複雑・巧妙化する悪質商法のトラブルを未然防止、解決するため対策等を情報発信し注意喚起及び啓発に努めました。</p>	<p>・現状 人口の増加により、交通安全・防犯・消費生活間トラブルが増加することが想定されるため、引き続き交通安全・防犯・消費生活等の取り組みを実施するとともに地域課題の把握し、それぞれに適した対策を関係機関と連携しながら安心・安全なまちづくりに取り組んでまいります。</p> <p>・課題 市の人口が増加していることや、区画整理事業による道路新設により、一層の交通安全対策が求められます。また、刑法犯認知件数や消費生活に関する相談件数も増加傾向にあり、悪質商法の手法も多様・複雑・巧妙化しています。引き続き、関係機関と連携し交通事故件数や刑法犯認知件数の減少及び消費者トラブルへのいち早い対応に取り組む必要があります。</p> <p>・取組内容 市内の刑法犯認知件数の減少を図るため、警察等の関係機関との連携をはかる他、市内の防犯カメラの設置を一層推進してまいります。また、引き続き広報なぐれやま、市公式LINEアカウントや市ホームページ等による犯罪発生状況や消費関連情報等の迅速な発信に取り組み、市民の防犯意識の向上及び消費者啓発に努めます。</p>

交通安全対策の充実

交通安全施設整備事業	交通事故が多発している道路、その他緊急に交通の安全を確保する必要がある道路について、交通安全施設を整備して環境の改善を図ります。						
担当課	R7当初予算	R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
道路管理課	52,318	85,870		32,985	50,000	0	50,000
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標	R6実績	R7実績	R8目標
情報処理件数(件)	271	187	180	人身事故発生件数(件)	370	310	300
令和7年度の取組と改善点・評価	令和8年度の現状・課題・取組						
<p>・取組内容 地元自治会、学校関係者、警察等と交通安全必要箇所を検証し、適切な交通安全対策に取り組んでまいりました。</p> <p>・改善した点 人口増加や区画整理事業による道路整備等の環境状況の変化に対応した安全対策に努めました。</p> <p>・評価 交通安全対策の取組等により、市内の交通事故件数は減少しました。</p>	<p>・現状 昨年度、交通安全対策等により一定程度の交通事故の減少効果が見られました。今年度は特に、市民の交通安全意識の向上に繋がる対策に努めてまいります。</p> <p>・課題 地元自治会、学校関係者、警察等と連携した、市民の交通安全意識の向上に繋がる取り組みが必要となります。</p> <p>・取組内容 引き続き、物理的な交通安全対策や、幼児、小中学生等を対象とした交通安全教育に加え、デジタルサイネージ等を利用した、市民の交通安全意識の向上や、交通安全指導箇所を検証等を実施してまいります。</p>						

防犯対策の充実

安心安全支援事業	安心・安全な市民生活を推進するため、防犯カメラの設置や流山市民安全パトロール隊や自主防犯パトロール隊の防犯活動を支援します。						
担当課	R7当初予算	R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
コミュニティ課	49,444	31,813		19,791	57,343	11,800	45,543
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標	R6実績	R7実績	R8目標
自主防犯パトロール隊の組織数(団体)	79	77	78	刑法犯認知件数(件)	869	919	900
流山市民安全パトロール隊員数(人)	33	24	24	犯罪に関して市内(自宅周辺)は安全だと感じる市民の割合(%)	64.1	66.7	67.0
令和7年度の取組と改善点・評価	令和8年度の現状・課題・取組						
<p>・取組内容 警察と連携し防犯情報の配信を実施するなど、市民の防犯意識の向上を図るほか、防犯灯や防犯カメラの設置箇所の増設を行い安心・安全で快適に暮らせるまちづくりに取り組みました。</p> <p>・改善した点 警察と流山市防犯協会連合会などの他の関係機関と連携し、夜間パトロール業務委託を実施し、更なる防犯対策を図りました。</p> <p>・評価 まちづくり達成度アンケートの結果、自宅周辺が安全と感じている割合が昨年度より増加していることから体感治安の改善が図られていると考えます。</p>	<p>・現状 刑法犯認知件数が増加しており、まちづくり達成度アンケートでも自宅周辺が安全と感じている割合が昨年度より増加していますが、防犯対策が引き続き必要です。</p> <p>・課題 市で設置している防犯カメラや防犯灯のほか、自治会で設置している防犯カメラなどの推進を図っていますが、維持管理の費用が増加しており自治会への負担軽減を図ることで市内の防犯対策の維持していくことが必要です。</p> <p>・取組内容 市で設置する防犯カメラ、防犯灯を増設するとともに、自治会が設置している防犯カメラに維持管理補助金を交付し、自治会の負担軽減を図ります。</p>						

消費生活センターの充実

消費者情報提供事業		消費者トラブルの解決や消費者被害の未然防止及び被害回復を行うため、専門の相談員を配置し、相談対応や情報提供を行います。					
担当課	R7当初予算	R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
コミュニティ課	22,077	20,177		3,959	23,509	189	23,320
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標	R6実績	R7実績	R8目標
相談件数(件)	1,827	1,903	1,903	相談処理が完結している割合(年度末時点)(%)	97.76	96.06	96.06
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組			
<p>・取組内容</p> <p>専門相談員が環境変化に応じた助言等が適切にできるよう、スキルアップ研修に積極的に参加するとともに、啓発講座や広報、ホームページやSNS等を通じて最新の消費関連情報の発信に取り組みました。また、令和8年9月からの相談支援システムの本格稼働に向けて、その導入及び移行準備を進めました。</p>				<p>・現状</p> <p>副業や点検商法の電話勧誘によるトラブル増加、その他悪質商法の手口の多様・複雑・巧妙化など、消費者を取り巻く環境が変化しています。</p>			
<p>・改善した点</p> <p>消費者を取り巻く環境変化にいち早く対応し適切な助言等ができるように、専門相談員がスキルアップ研修に積極的に参加したほか、若年者に向けて新たにデジタルサイネージを活用し消費者トラブルの注意喚起及び啓発に努めました。</p>				<p>・課題</p> <p>消費者を取り巻く環境変化にいち早く対応する必要があります。</p>			
<p>・評価</p> <p>相談者に対する適切な助言やあっせん、消費関連情報の発信を行うことで、消費者トラブルの解決や消費者被害の未然防止及び被害回復に寄与しました。</p>				<p>・取組内容</p> <p>専門相談員が環境変化に応じた助言等が適切にできるよう、スキルアップ研修に積極的に参加するとともに、啓発講座や広報、ホームページやSNS等を通じて最新の消費関連情報の発信に取り組みます。また、令和8年9月からの相談支援システムの本格稼働に向けて、その移行準備を進めます。</p>			

主管部局 市民生活部 施策の目的 地域コミュニティの活性化を図り、協働・連携を通して地域課題に取り組む



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R5実績	R6実績	R7実績	単位	目指す方向
自治会への加入率	自治会加入世帯数 ÷ 常住人口世帯数 × 100 10月1日時点(コミュニティ課)	59.95	58.89	57.43	%	
市民活動団体の数	市民活動推進センター登録団体数 + NPO 法人数 - 重複団体数 (コミュニティ課)	263	275	274	団体	

令和7年度の取組と改善点・評価	令和8年度の現状・課題・取組
<p>・取組内容 自治会役員の負担軽減を目的にセミナー開催やICT導入支援を実施し、課題解決を支援しました。また未加入者向けに自治会の重要性を周知しました。更なる市民活動の周知のため、各種イベントの実施のほか、市民まつりでのイベントの共同開催に努めました。</p>	<p>・現状 自治会長・役員の高齢化やなり手不足が課題となる中、現役世代が役員を務める自治会も増えています。市民活動では団体間の交流に比べ、自治会などの繋がりが薄く、活動の機会が拡大しづらい状況です。</p>
<p>・改善した点 ICT導入支援員の派遣や役員向けセミナーを通じて課題解決事例を共有し、自治会の運営力向上に取組まれました。市民まつりにて市民活動フェスを開催し、市民活動の周知啓発に努めました。</p>	<p>・課題 自治会の運営改善や考え方の共有が限定的であるため、知識と経験を継承する持続可能な場の形成が必要です。</p>
<p>・評価 ICT活用による課題解決が推進し、全ての自治会の課題解決力向上に寄与しました。市民活動を更に活発のため各団体の交流促進に加え、一般市民にも広く市民活動を周知に寄与しました。</p>	<p>・取組内容 自治会活動改善を考える場を設けて、積極的に活動したい人が参画できるよう取組みます。市民活動推進センターでは、地域課題の共有のため自治会向け講座を開催します。</p>

地域コミュニティの活性化

自治会活動助成事業	自治会の円滑な運営のために、活動の拠点となる自治会館の維持管理に要する経費の一部に対し補助金を交付します。また、コミュニティ活動活性化に資する講座を開催するなどし、自治会活動を支援します。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(自安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
コミュニティ課	31,759		24,972		13,929	30,974	3,905	27,069
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
自治会懇談会開催回数(回)	2	5	5	自治会加入率(%)		58.89	57.43	67.00
令和7年度の取組と改善点・評価	令和8年度の現状・課題・取組							
<p>・取組内容 自治会役員の負担軽減の一つとして、自治会向けにセミナーを開催したほかICT導入に係る相談支援を行い、自治会自身で課題解決するための支援を行いました。また、自治会未加入者などに向けてセミナーを開催し自治会活動の重要性などを周知しました。</p>	<p>・現状 自治会長・役員のなり手不足が慢性的な課題となっており、自治会長・役員の高齢化が進んでいます。一方で、柔軟な運営改善に取り組む現役世代が会長や役員になっている自治会も見受けられます。</p>							
<p>・改善した点 セミナーなどで問題解決事例を共有し、自治会運営力の向上を進めたほか、自治会活動啓発セミナーでは、年代別にテーマを設けて開催することで、普段自治会活動に関わりが薄い層へも自治会活動の重要性を周知し、自治会活動の課題に対する意見聴取を行いました。</p>	<p>・課題 柔軟な運営改善を行っている事例や自治会のあり方の考え方についての共有が、単年度又は担当者のみに留まりやすいため、知識や経験が引き継がれていく持続可能な場を形成する必要があります。</p>							
<p>・評価 リモート会議やソフトウェアの導入などICTの活用によって課題解決する自治会も増えてきましたが、全ての自治会が課題解決力向上できるよう支援しました。</p>	<p>・取組内容 引き続き、自治会向けICT個別相談及び自治会活動啓発セミナーを行いつつ、自治会活動改善を考える場を設けて、積極的に活動したい人が参画できるよう取組みます。</p>							

地域コミュニティの活性化

自治会館建設費補助事業	自治会の円滑な運営のために、活動の拠点となる自治会館の建設(新築・増築)に要する経費の一部に対し補助金を交付し、活動を支援します。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(自安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
コミュニティ課	5,000		5,000		2,017	16,000	3,040	12,960
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
自治会館建設補助申請件数(件)	0	1	1	自治会加入率(%)		58.89	57.43	67.00
令和7年度の取組と改善点・評価	令和8年度の現状・課題・取組							
<p>・取組内容 自治会の負担軽減の観点から補助制度の改正を行いました。</p>	<p>・現状 意向調査の結果、自治会から制度活用に関する相談を受けています。</p>							
<p>・改善した点 現在の補助制度は新築のみが補助対象であり、大規模リフォームは対象外となっているため、補助制度の改正しました。</p>	<p>・課題 新たに大規模改修が補助対象となったことに関する周知並びに特定の年度に要望が集中することなく財政支援を行うため、自治会の意向を適切に把握することが課題となっています。</p>							
<p>・評価 大規模改修も補助対象となるよう要綱を改正し、自治会の要望に対して柔軟な対応が可能となりました。</p>	<p>・取組内容 補助制度の活用について特定の年度に集中することのないよう、各自治会へ意向調査を行い、現状の把握および調整を実施します。</p>							

地域コミュニティの活性化

コミュニティホーム改修事業		地域住民が連帯感を持ち快適で健全な生活環境のもとで健康的な生活の向上を図るために設置されたコミュニティホームについて、老朽化に伴う補修など適正な維持管理を継続し、地域コミュニティの利用に供します。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
コミュニティ課	88,069		87,659		6,597	21,544	0	21,544
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
第3コミュニティ・ホーム移転建て替え進捗状況(%)	30	80	100					
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
<p>・取組内容</p> <p>国の補助を活用し移転再築を進めるとともに、流山区画整理事務所と連携を密にし、計画的な事業執行を行いました。</p>				<p>・現状</p> <p>旧コミュニティホームの解体工事も区画整理区域内であるため、流山区画整理事務所との連携が求められます。</p>				
<p>・改善した点</p> <p>建築工事の着手時期は運動公園周辺地区土地区画整理事業の進捗状況に左右されるため、流山区画整理事務所との細やかな調整を行いました。</p>				<p>・課題</p> <p>解体工事の着手時期等は土地区画整理事業の進捗状況との細やかな調整が必要です。</p>				
<p>・評価</p> <p>建築工事は施工スケジュールどおりに完了しました。</p>				<p>・取組内容</p> <p>流山区画整理事務所との連携を密にし、計画的な事業執行に努めます。</p>				

地域コミュニティとの協働・連携

市民活動推進事業		市民活動団体による公益的な活動を支援するため、活動・支援拠点である市民活動推進センターの運営や各団体が行う公益事業に対し補助金を交付し、協働によるまちづくりを推進します。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
コミュニティ課	21,994		20,842		11,912	25,157	3,411	21,746
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
流山市民活動推進センター施設利用者数(人)	13,932	13,749	14,000	市民活動推進センター登録団体数(団体)		247	252	260
				市民活動団体公益事業補助金交付事業件数(件)		4	9	10
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
<p>・取組内容</p> <p>これまで開催していた各種イベントは引き続き実施しつつ、市民まつりへの大規模な出展など、更なる市民活動の周知に努めました。</p>				<p>・現状</p> <p>市民活動団体登録数は増加していますが、市民活動団体同士の交流と比べ、自治会等一般市民との繋がりが希薄なため、活動の機会が拡大しにくい状況にあります。</p>				
<p>・改善した点</p> <p>市民まつりにて市民活動フェスを開催し、市民活動の周知啓発に努めました。</p>				<p>・課題</p> <p>地域の課題解決を行う市民活動団体も増えており、多様化した市民活動団体の支援が必要です。</p>				
<p>・評価</p> <p>市民活動を更に活発にしていくために、各団体の交流促進や市民活動フェスは、一般市民への市民活動の周知に寄与しました。</p>				<p>・取組内容</p> <p>地域が抱える課題を共有するため、市民活動推進センターで自治会を対象とした講座を開催するほか、ふるさと納税を活用した新たな市民活動団体への補助制度に取組みます。</p>				

主管部局 健康福祉部 施策の目的 生涯を通じて心身ともに健やかに暮らせる市民の健康をつくる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R5実績	R6実績	R7実績	単位	目指す方向
健康寿命(平均自立期間)	日常生活動作が自立している期間の平均 (千葉県健康福祉部資料) 1数値は2020年(R2)の統計、2数値は2021年(R3)の統計、3数値は2022年(R4)の統計。上段:65歳男性、下段:65歳女性	18.87 21.13(1)	18.71 21.18(2)	18.69 21.35(3)	年	
生活習慣病による死亡者数の割合	死亡者数全体のうち、悪性新生物(がん)、心疾患(高血圧性を除く)、脳血管疾患、高血圧性疾患、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、糖尿病による死亡者数の占める割合(千葉県衛生統計年報) 4数値はR4年、5数値はR5年、6数値はR6年。	54.00(4)	51.20(5)	51.44(6)	%	
一般診療所の数	千葉県衛生統計年報 7数値はR4年、8数値はR5年、9数値はR6年。	125(7)	128(8)	137(9)	-	

令和7年度取組と改善点・評価	令和8年度の現状・課題・取組
<p>取組内容 対象者の方が安心して接種できるよう、ホームページや広報、流山市LINE公式アカウント、個別通知等で対象期間や接種方法等、十分な周知を行うとともに、医療機関と連携し、安全に予防接種を受けられるよう努めました。また、3歳児健康診査の小児科診察を医療機関で行う個別健診から、保健センターで実施する集団健診の中で実施し、保護者の負担軽減に努めました。</p> <p>改善した点 高齢者の带状疱疹予防接種は、接種を希望する方が接種機会を逃すことがないよう、対象者へ個別通知を行い、円滑に接種できるよう体制を構築しました。また、3歳児健康診査については、保健センターで実施する集団健診に変更することで、保護者の負担軽減を図り、受診率の向上を目指しました。</p> <p>評価 高齢者の带状疱疹予防接種は、円滑に接種できる体制の構築ができました。また、今まで、3歳児健康診査の小児科診察は、別途個別に医療機関で受診する必要がありましたが、集団健診で一体的に受診できるようになった結果、受診率が向上しました。</p>	<p>現状 予防接種事業については、50歳から64歳の方を対象に带状疱疹任意予防接種の一部費用助成や、妊婦に対してRSウイルス感染症の定期予防接種が始まりました。また、各種検診の受診しやすい体制づくりや利用しやすい特定保健指導の環境づくりを計画しています。</p> <p>課題 妊婦に対するRSウイルス感染症は接種期間が短いため、接種を希望する方が接種機会を逃すことがないよう、対象者へ個別通知を行い、円滑に接種できるよう体制を構築する必要があります。また、各種検診では、集団健診での子宮頸がん検診と乳がん検診(マンモグラフィ検査)のセット検診を実施する等、受診しやすい体制づくりに努めていますが、さらなる受診率の向上が課題です。</p> <p>取組内容 対象者の方が安心して接種できるようホームページや広報、流山市LINE公式アカウント、個別通知等で、接種期間や接種方法等十分な周知を行うとともに、医療機関と連携し安全に予防接種を受けられるよう努めます。また、各種がん検診では、これまで実施していたセット検診の種類を増やし、さらに受診しやすい体制づくりを行うほか、特定保健指導では民間事業者に委託し、夜間や休日を利用できる体制づくりを行う等、生活習慣病の早期発見と予防に努めます。</p>

ライフステージに応じた市民の健康づくり

健康づくり支援事業	誰もが、生涯を通じ生き生きと自分らしく充実した人生を送る社会を実現するため、第2次健康づくり支援計画(令和2~11年度)に基づき、乳幼児期から高齢期までのすべての市民を対象とした健康づくりを推進します。ヘルスアップ教室や健康づくり推進員活動、市民健康まつり、健康チェックコーナー等を通じて、健康的な生活習慣を身につけるための機会の提供や健康情報の普及啓発、受動喫煙防止等のたばこ対策、保育所や学校等と連携した食育の推進などを行います。						
担当課	R7当初予算	R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
健康増進課	3,338	2,760		13,194	3,871	0	3,871
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標	R6実績	R7実績	R8目標
ヘルスアップ教室開催回数(回)	100	100	96	ヘルスアップ教室参加者(人)	251	255	260
				市民健康まつり参加者数(人)	613	465	1,000

令和7年度取組と改善点・評価	令和8年度の現状・課題・取組
<p>取組内容 ヘルスアップ事業や健康まつり、健康づくり推進員活動等により、市民の健康づくりを支援する取組や健康習慣のきっかけづくりに努めました。</p> <p>改善した点 市民と協働し、栄養講座や運動講座の活動を通して、健康づくりへの意識の向上を図りました。</p> <p>評価 市民健康まつりでは、465人の市民に各種ブースに参加いただきました。また、令和5年度に委嘱した流山市健康づくり推進員による活動として、地域で運動講座や栄養講座を開催し、288人の市民に参加いただき、市民の健康への意識向上に貢献することができました。</p>	<p>現状 ヘルスアップ事業(教室)では、体を動かす楽しさを実感しながら、運動習慣を身につけるきっかけづくりに重点を置いて活動しています。また、健康づくり推進員は、令和8年度から新たに19人を委嘱し、運動講座や栄養講座の活動を計画しています。</p> <p>課題 各事業の活動を活発化させ、栄養知識や運動習慣が身につくようにするため、地域住民が参加しやすい環境を提供する必要があります。</p> <p>取組内容 ヘルスアップ事業や健康まつりなど、市民の健康づくりを支援する取組や健康習慣のきっかけづくりに努めていくとともに、流山市健康づくり推進員が、さまざまな健康づくりに向けた活動を行えるよう一緒に取り組んでいきます。</p>

ライフステージに応じた市民の健康づくり

母子健康診査事業	母子保健法に基づき、母子の健康の保持増進を目的とし、妊婦、新生児、3か月児、3~6か月児、9~11か月児、1歳6か月児、3歳児を対象に、妊婦・乳児一般健康診査、新生児聴覚スクリーニング検査、3か月児・1歳6か月児・3歳児健康診査を実施します。3歳児健康診査を除き、個別委託を実施します。						
担当課	R7当初予算	R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
こども家庭センター	177,546	152,298		59,373	337,504	1,894	335,610
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標	R6実績	R7実績	R8目標
妊娠届出数及び転入妊婦数(人)	2,139	2,119	2,000	妊婦一般健康診査受診率(%)	89.76	77.11	95.00
3か月児、1歳6か月児、3歳児健診送数(通)	6,640	6,414	6,400	3か月児、1歳6か月児、3歳児健診受診率(%)	95.37	100.88	95.00

令和7年度取組と改善点・評価	令和8年度の現状・課題・取組
<p>取組内容 3歳児健康診査については、保護者の負担を軽減するため、小児科診察を個別健診から、集団健診に変更しました。また、眼科健診における自宅でいう視力検査を実施しやすいよう動画で案内し周知内容を工夫しました。東部地区の相談支援の強化については、東部公民館で実施するすくすく相談を予約不要とし、相談しやすい体制に変更しました。</p> <p>改善した点 3歳児健康診査は、小児科診察を個別健診から集団健診に変更しました。3歳児健康診査の案内で、視力検査の説明動画をQRコードで載せました。東部地区の相談支援強化のため、東部公民館で実施するすくすく相談を予約不要にしました。</p> <p>評価 3歳児健康診査では小児科診察受診率が向上しました。3歳児健康診査の視力検査に関して、自宅での眼科検査実施数増加しました。東部公民館で実施するすくすく相談の相談者数が増加しました。</p>	<p>現状 各種健康診査を医療機関と連携して実施し、受診後の相談支援を適切な時期に実施しています。3歳児健康診査の耳鼻科再検査受診率が低い状況です。5歳児健康診査の実施に向けた関係機関との連携方法等について検討をしています。</p> <p>課題 3歳児健康診査の耳鼻科再検査受診率が低いため、受診率を向上させる必要があります。また、引き続き5歳児健康診査の実施に向けた関係機関との連携方法等について検討が必要です。</p> <p>取組内容 各種健康診査の受診後の相談支援として、電話、訪問、手紙を組み合わせ引き続き対応します。3歳児健康診査の耳鼻科再検査を案内する内容等の検討を行います。引き続き5歳児健康診査の実施に向けた関係機関との連携方法等について検討を行います。</p>

疾病の早期発見									
予防接種事業	感染症の発生及びまん延を予防するための予防接種を行い、感染症による疾病の予防及び公衆衛生の向上を図ります。								
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)		R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
健康増進課	778,109		932,743		26,388		855,217	4,557	850,660
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標	
麻疹風しん1期個別動員数(通)	2,125	1,971	2,125	麻疹風しん1期接種率(%)		96.55	94.80	95.00	
麻疹風しん2期個別動員数(通)	2,545	3,170	2,598	麻疹風しん2期接種率(%)		95.67	95.55	95.00	
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組					
・取組内容 対象者の方が安心して接種できるよう、ホームページや広報、流山市LINE公式アカウント、個別通知等で対象期間や接種方法、副反応が出た場合の相談先について十分な周知を行いました。また、医療機関と連携し、安全に予防接種を受けられるよう努めました。				・現状 令和8年度から新たに妊婦を対象としたRSウイルス感染症予防接種が定期接種となりました。また、50歳から64歳の方を対象に、带状疱疹ワクチン任意予防接種の費用助成を実施します。					
・改善した点 高齢者の带状疱疹予防接種は、対象者へ個別通知を行い、接種を希望する方が円滑に接種できるよう体制を構築しました。また、麻疹風しん混合ワクチンの令和6年度の対象者で接種を逃した方が対象期間内に接種が完了するよう、周知を行いました。				・課題 新たに定期接種化が見込まれる予防接種を円滑に開始することができるよう準備が必要です。					
・評価 市ホームページや広報、流山市LINE公式アカウント、個別通知等で対象期間や接種方法、副反応が出た場合の相談先について十分な周知を行うことができました。				・取組内容 令和8年度から定期予防接種となったRSウイルス感染症予防接種について、対象者への周知と円滑に接種できる体制を構築します。また、新たに定期接種化が見込まれる予防接種が円滑に開始できるよう取り組みます。					

疾病の早期発見									
健康増進事業	健康増進法に基づき、健康に関する知識の向上、生活習慣の改善を図り、疾病の早期発見・早期治療のための健康診査や各種がん検診を実施します。								
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)		R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
健康増進課	350,131		336,425		42,027		333,651	17,820	315,831
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標	
がん検診精密検査受診率(精検受診者/要精検者)(%) 実績値は前年度検診の受診者	84.28	87.37	88.00	がん検診精密検査未把握率(%) 実績値は前年度検診の受診者		4.24	4.10	4.00	
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組					
・取組内容 がん検診受診率向上のため、引き続き検診受診年齢到達者に対し、受診券の個別送付による受診勧奨を行う他、集団検診の子宮頸がん検診と乳がん検診(マンモグラフィ検査)を同日に受けられるセット検診の実施等受診しやすい体制づくりに努めました。また、イベントや3歳児健診等の場で受診勧奨を行い、引き続き精密検査の個別受診勧奨を行いました。				・現状 多くの方にがん検診を受けていただくために、広報・ポスター・流山市LINE公式アカウントの他商業施設での健康イベント等、機会をとらえ周知を行っています。受診しやすい体制づくりとして、セット検診の種類を増やしたり、こども連れでの受診の際にこどもの見守りを行っています。					
・改善した点 節目年齢の対象者へ個別通知による受診勧奨の実施や、集団検診の子宮頸がん検診と乳がん検診(マンモグラフィ検査)を同日に受けられるセット検診を実施するなど、受診しやすい体制づくりに努めましたが、受診率は依然として低い状況だったため、健康イベントでの受診勧奨等更なる取組を行いました。				・課題 節目年齢対象者への個別通知や様々な機会を捉えての受診勧奨を行う他、セット検診の実施等受診しやすい体制づくりに努めていますが、依然として受診率は横ばいの状態です。精密検査の個別の受診勧奨は連絡をしてもつながらないケースがあるため、勧奨方法や内容の検討が必要です。					
・評価 検診受診年齢到達者に受診券を個別送付した結果、肺がん検診は受診者数が増加しましたが、がん検診全体の受診率向上とはなりません。子宮頸がん検診と乳がん検診(マンモグラフィ検査)のセット検診については、予約枠がほぼ埋まり、需要があったと考えられます。				・取組内容 これまでのセット検診に加え、子宮頸がん検診と乳がん検診超音波検査及び胃がん検診と肺がん検診のセット検診を新たに開始します。また、保育士によるこどもの見守り日を設け、こども連れの方が受診しやすい環境づくりを行います。精密検査の受診勧奨は、勧奨方法を再検討し受診につながるよう努めます。					

疾病の早期発見									
特定健康診査等事業	国民健康保険被保険者を対象に特定健康診査や特定保健指導を実施します。生活習慣病の予防を図るため、流山市国民健康保険データヘルズ計画に基づき、令和2年度から開始した糖尿病性腎症重症化予防プログラムの対象者への更なる周知やAIによる特定健康診査受診勧奨を実施し、被保険者の健康と医療費の適正化を目指します。								
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)		R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
健康増進課	136,533		125,200		35,430		139,605	139,605	0
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標	
AI分析による特定健康診査受診勧奨通知(件)	30,444	30,444	16,300	特定健康診査受診率(%) 実績値は前年度の数値を使用		49.4	49.8	54.6	
特定保健指導利用動員(訪問・電話)数(件)(年度末時点)	334	433	450	特定保健指導利用率(%) 実績値は前年度の数値を使用		22.4	26.1	28.0	
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組					
・取組内容 AI受診勧奨通知では、より通知の効果が期待される方に届くよう、対象者の見直しを行いました。また、対象者が受診できる近隣医療機関を地図から検索できる機能などを有するウェブサイトを用いた受診勧奨をしました。特定保健指導については、対象者がわかりやすく、利用しやすくなるような勧奨通知の工夫を行い、利用率の向上を目指しました。				・現状 特定健康診査はAI受診勧奨通知の工夫や様々な機会を捉えての周知啓発を行った結果、受診率は前年度と比較し、0.4ポイント上昇しました。特定保健指導の利用率はオンラインでの実施や休日の市職員による保健指導の実施等の効果があり、徐々に上昇していますが、県内では低い状況です。					
・改善した点 AI受診勧奨通知に特定健康診査のウェブサイトの二次元コードを載せる等の工夫により、特定健康診査の継続受診を促しました。また、特定保健指導については利用率向上のため、対象者に送る勧奨通知を支援の種類ごとに分け、必要性について、よりわかりやすい解説へ変更するなど、利用動員に努めました。				・課題 本市は働く世代が多く、平日の検診受診や特定保健指導の利用が難しく、受診率、利用率の向上が課題です。働く世代へ向けた特定健康診査や特定保健指導の周知・啓発と、受診(利用)しやすい体制づくりが必要です。					
・評価 AI受診勧奨通知は、対象者の見直しを行い、より効果が期待できるよう、過去の不定期受診者や3年間連続未受診者に対し通知を送付しました。また、受診できる近くの医療機関を地図から検索できる機能を有した特定健康診査に特化したウェブサイトの作成等、受診率の向上に努め、受診率は0.4ポイント向上しました。				・取組内容 特定保健指導は、これまでの市医師会と健康増進課職員による実施に加え、民間事業者へ委託し、働く世代の利用率と対象者の利便性の向上を目的に、夜間及び土日祝日に特定保健指導を実施します。また、受診勧奨通知の内容を工夫し、より効果的な勧奨を行うことで、生活習慣病の重症化予防を行います。					

地域医療体制や健康危機管理体制づくり

医療体制整備・確保事業	医療提供体制の確保を図るため、医師会・歯科医師会・薬剤師会の協力を得て、平日夜間・休日診療所及び夜間小児救急における初期診療・応急処置（第1次救急）体制を整備するとともに、第2次救急体制の充実について県に要望をしています。また、市内の病院等における看護師等を確保するため、病院内保育施設を運営する病院に対する補助金制度のほか、看護師等養成施設等に在学中の方で、将来市内の病院等施設で看護師等として働く意思のある方に対し、修学資金の貸付けを行います。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
健康増進課	88,025		82,674		13,194	86,028	5,833	80,195
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
平日夜間・休日診療所開設日数(日)	365	365	365	平日夜間・休日診療所、夜間小児救急医療、第2次救急医療利用者数(人)		4,458	3,842	4,000
				看護師等修学資金貸付金申請件数(件)		35	32	38
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
<p>・取組内容</p> <p>これまで医療機関で実施していた3歳児健康診査の小児科診察を、保健センターで行う集団健診に変更することで、小児科の負担軽減を図り、急病時に受診しやすい医療体制の確保に努めました。また、医療提供体制の充実に向けて、医師会等との緊密な連携を図りながら、東葛北部医療圏における広域での医療体制の構築について協議を行いました。</p> <p>・改善した点</p> <p>小児2次救急の受け入れ体制の充実について県に要望した他、東葛北部地域保健医療連携・地域医療構想調整会議小委員会等において各市の現状を共有し、広域で受け止める医療体制の構築について、協議しました。</p> <p>・評価</p> <p>医師会等との緊密な連携を図りつつ、広域での医療体制の構築について、東葛北部医療圏内で協議を行い、現状の共有を図ることができました。</p>				<p>・現状</p> <p>本市は、県内トップの人口増加数に起因する医療需要の増大に対して、病院数、病床数ともに相対的に少ない状況が続いています。特に、小児医療については、現在、小児科及び小児科を標榜するクリニックが増加しているものの、市内医療機関での入院受け入れが困難な状況となっています。</p> <p>・課題</p> <p>小児の2次救急医療の受け入れが困難な状態であるため、引き続き、市医師会等との緊密な連携を図りながら、小児の2次救急医療の受け入れ体制を確保する必要があります。</p> <p>・取組内容</p> <p>医療提供体制の確保に向けて、千葉県、松戸保健所、東葛北部保健医療圏の医師会及び自治体と情報共有を図り、市医師会等との緊密な連携を図りながら、東葛北部医療圏内における広域での医療体制の構築について考えていきます。</p>				

地域医療体制や健康危機管理体制づくり

健康危機管理整備事業	災害や新型インフルエンザ等感染症など、市民の生命や健康を脅かす健康危機が発生した場合に備えるため、県や関係機関との連携・協力のもと、健康危機管理体制を構築します。災害発生時の備えとして、救護所用の医療資器材や医薬品の備蓄を確保する等、医療救護体制の整備を行います。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
健康増進課	5,549		3,991		13,194	1,462	0	1,462
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
災害医療対策会議実施回数(回)	1	2	2	ランニング備蓄店舗数(件)		34	38	40
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
<p>・取組内容</p> <p>災害医療対策会議を開催し、三師会(医師会、歯科医師会、薬剤師会)等の関係機関と協議を進めるとともに、「医療救護活動マニュアル」の具体的な活用方法について検討するために、救護所の開設訓練を行いました。</p> <p>・改善した点</p> <p>「医療救護活動マニュアル」を活用し、発災時を想定した医療救護体制については、より具体的な議論を重ねました。また、平時から新興感染症の流行や自然災害への備えをしていくために、備品等について整備しました。</p> <p>・評価</p> <p>2か所の救護所において、救護所の開設訓練を実施し、災害医療救護体制の理解が深まりました。</p>				<p>・現状</p> <p>災害医療対策会議の開催や、救護所の開設訓練、救護所等の医療資器材及び医薬品の備蓄をする等、災害医療救護体制を構築しています。</p> <p>・課題</p> <p>救護所用の医療資器材及び医薬品の備蓄等を整理し、災害時に早急に救護活動が開始できるような体制整備をする必要があります。</p> <p>・取組内容</p> <p>災害医療対策会議を開催し、三師会(医師会、歯科医師会、薬剤師会)等の関係機関と協議を進め、災害時の情報伝達の方法について検討します。また、「医療救護活動マニュアル」等を活用し、発災時を想定した医療救護にかかる訓練を行っていきます。</p>				

地域医療体制や健康危機管理体制づくり

保健センター施設整備事業	安心・安全な施設環境を確保するため、保健センターの改修工事を行います。令和5年度 調理室調理台改修工事。令和6年度 受水槽改修工事、高架水槽改修工事。令和7年度は高圧ケーブルの更新工事。令和8年度は分電盤改修工事、発熱外来用プレハブ移設工事を行います。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
健康増進課	0		1,980		13,194	13,786	9,900	3,886
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
施設改修工事実施件数(件)	1	1	2					
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
<p>・取組内容</p> <p>令和7年度は、令和6年度の繰り越し工事として高圧ケーブルの更新工事を行いました。</p> <p>・改善した点</p> <p>地域保健の拠点としての機能を担う保健センターを、長期的に利用できるよう必要に応じて整備を行いました。</p> <p>・評価</p> <p>高圧ケーブルの更新工事を行い、保健センターの安心・安全な施設環境の確保に努めることができました。</p>				<p>・現状</p> <p>個別施設計画に基づき、計画的に修繕しています。</p> <p>・課題</p> <p>保健センターの建設から39年が経過しており、保健センターの安心安全の施設環境確保が必要のため、老朽化した箇所を適時修繕する必要があります。</p> <p>・取組内容</p> <p>令和8年度は、保健センター庁舎の分電盤改修工事、発熱外来用プレハブ移設工事を行い、保健センターの安心・安全な施設環境の確保に努めます。</p>				

主管部局 生涯学習部 施策の目的 市民一人ひとりが生涯学習活動を通して人生を豊かにできる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R5実績	R6実績	R7実績	単位	目指す方向
日頃から何らかの生涯学習活動を行っている市民の割合	「日ごろから何らかの学習活動（生涯学習）を行っていますか」に「はい」と回答した割合（まちづくり達成度アンケート）	38.1	38.7	37.5	%	
学びたい時に学べる環境（生涯学習のプログラムや施設）が整っていると思う市民の割合	「学びたいときに学べる環境が整っていると思うか」に「整っている」「どちらかといえば整っている」と回答した割合（まちづくり達成度アンケート）	52.6	61.5	61.1	%	

令和7年度の取組と改善点・評価	令和8年度の現状・課題・取組
<p>・取組内容 南流山センターのエレベーター更新工事、中央図書館・博物館内装等改修工事、森の図書館の南側通路の改修工事、生涯学習センターと東部公民館の受変電設備更新工事等を実施しました。また、南流山センターと初石公民館の受変電設備更新に係る設計業務委託を行ったほか、生涯学習センターの揚水ポンプ交換修繕及び駐車場料金システム機器の更新を行いました。</p>	<p>・現状 築年数が経過した各施設については、経年劣化による破損や、老朽化が見られます。</p>
<p>・改善した点 安心・安全で快適な施設環境を確保するため、改修・整備を計画的に進めることができました。</p>	<p>・課題 安心・安全で快適な施設環境を確保するため、改修・整備を計画的に進める必要があります。図書館については、令和8年度で期間が終了する第2次流山市子どもの読書活動推進計画の次期計画を策定する課題があります。</p>
<p>・評価 工業者や指定管理者と調整を行い、遅滞なく工事を完了することができました。</p>	<p>・取組内容 利用者や近隣住民等に安全な環境を提供するため、生涯学習センターでは、和式トイレの洋式化、非常用発電機の更新、多目的ホール改修工事に向けた設計業務委託、耐用年数が経過した消火器の更新を行います。図書館では、木の図書館の庇及び中水ポンプの改修工事を実施します。第3次流山市子どもの読書活動推進計画を策定します。</p>

多様な生涯学習機会の充実

図書館資料購入事業		令和7年度の取組と改善点・評価						令和8年度の現状・課題・取組					
図書をはじめ、電子書籍・雑誌・新聞・視聴覚資料などの図書館として必要な資料を購入します。													
担当課		R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)		R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源			
図書館		41,228		41,199		19,791		51,627	40,000	11,627			
主な活動指標		R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標			R6実績	R7実績	R8目標			
図書購入冊数(冊)		14,155	14,140	19,195	蔵書冊数(冊)			536,552	541,716	550,911			
視聴覚資料購入点数(点)		266	220	365	貸出点数(月平均)(点)			97,038	91,699	96,284			
		令和7年度の取組と改善点・評価						令和8年度の現状・課題・取組					
・取組内容		「流山市立図書館資料収集方針」に基づき、市民からのリクエストを参考にしながら計画的に資料を購入しました。						・現状 引き続き計画的に資料を購入します。					
・改善した点		市民の多様な読書要求や情報ニーズに応えられるよう幅広い分野の資料を購入しました。						・課題 バランスを取りながら幅広い分野の資料を購入することが課題です。					
・評価		図書は、一般書9,401冊、児童書4,408冊、参考図書331冊を購入しました。視聴覚資料は、CD109点、DVD46点、紙芝居65点を購入しました。電子書籍は、451コンテンツを購入しました。オーディオブックは7,515コンテンツを利用者に提供することができました。						・取組内容 市民からのリクエストを参考に、資料の利用状況をきめ細かく把握しながら購入します。					

多様な生涯学習機会の充実

子どもの読書活動推進事業		令和7年度の取組と改善点・評価						令和8年度の現状・課題・取組					
子どもたちが幼い頃から本に親しめる環境整備を支援するため、「第2次流山市子どもの読書活動推進計画」に基づくブックスタート関連事業として、市内子育て関連施設に乳幼児向けブックセットを設置します。子どもの読書活動を推進するための講座を開催します。													
担当課		R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)		R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源			
図書館		2,276		2,276		32,985		2,337	0	2,337			
主な活動指標		R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標			R6実績	R7実績	R8目標			
ブックセット設置施設数(施設)		70	110	94	図書館全館(7館)乳幼児(6歳まで)の利用者数(人)			19,916	17,589	20,700			
ブックセット設置冊数(冊)		2,157	1,853	1,488									
		令和7年度の取組と改善点・評価						令和8年度の現状・課題・取組					
・取組内容		市内の子育て関連施設に乳幼児向けブックセットを設置し、子どもの読書環境整備を支援しました。子どもの読書活動への理解を深めるための講座を開催しました。						・現状 引き続き、市内の子育て関連施設に乳幼児向けブックセットを設置し、子どもの読書環境整備を支援します。子どもの読書活動への理解を深めるための講座を開催します。					
・改善した点		市内の子育て関連施設に乳幼児向けブックセットを設置したほか、子どもの読書活動に関わる人を対象とした講座を開催し、子どもの読書活動の推進を図りました。						・課題 子どもの読書活動をより推進していくため、子どもだけでなく、子育てに関わる人も対象として取組を広げていくことが課題です。					
・評価		基本のブックセットを新設の地域子育て支援センター等4施設に、ブックセット第2便を保育所等27施設に、ブックセット第3便を保育所や幼稚園等79施設に設置し、子どもの読書環境の整備を支援することができました。市内で子どもの読書活動に関わる人を対象にわらべうた講習会を開催し、51人が参加しました。						・取組内容 市内の子育て関連施設に乳幼児向けブックセットを設置し、子どもの読書環境整備を支援します。子どもの読書活動に関わる人を対象として中高生の読書について学ぶ講座を開催します。					

生涯学習の環境整備								
中央図書館改修事業		利用者に安心・安全で快適な施設環境を提供するために、中央図書館の修繕・改修を行います。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
図書館	38,449		33,202		19,791	0	0	0
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
工事進捗率(%)	100	100		改修等実施件数(件)		1	1	-
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 利用者に安全で快適な環境を提供するため、オストメイト・トイレ洋式化等のユニバーサルデザイン化改修工事や内装改修工事を行い、施設の長寿命化に努めました。				・現状 令和7年度で事業は終了しました。				
・改善した点 老朽化した建築物や設備を竣工時の状態に近づけるだけでなく、その機能や性能を現在求められている水準まで引き上げました。				・課題 令和7年度で事業は終了しました。				
・評価 オストメイト・トイレ洋式化等のユニバーサルデザイン化改修工事や内装改修工事を行ったことで、利用者に安全で快適な環境を提供することができるようになり、同時に施設の長寿命化を図ることができました。				・取組内容 令和7年度で事業は終了しました。				
生涯学習の環境整備								
南流山センター施設整備改修事業		利用者に安心・安全で快適な施設環境を提供するため、南流山センターの修繕・改修を行います。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
公民館	1,400		16,368		5,938	37,497	33,700	3,797
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
工事進捗率(%)	10.77	100	100	施設利用の満足度調査「総合評価」で、「満足」と回答された方の割合(%)		68.0	66.2	68.0
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 快適な施設環境の向上を図るため、エレベーターの更新工事を行いました。また、令和8年度の変電設備更新工事に向け、設計業務委託を行いました。				・現状 施設各所に、経年劣化による破損や老朽化が見られます。				
・改善した点 エレベーターの更新工事により、施設環境の向上を図ることができました。				・課題 施設の安全に配慮し、計画的に改修等を行う必要があります。				
・評価 利用者の安全に配慮しながら、更新工事を実施できました。				・取組内容 変電設備更新工事を行います。				
生涯学習の環境整備								
初石公民館施設整備改修事業		利用者に安心・安全で快適な施設環境を提供するため、初石公民館の修繕・改修を行います。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
公民館	1,400		1,309		3,299	36,027	32,400	3,627
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
工事進捗率(%)	100	100	100	施設利用の満足度調査「総合評価」で、「満足」と回答された方の割合(%)		67.0	67.9	70.0
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 令和8年度の変電設備更新工事に向け、設計業務委託を行いました。				・現状 施設各所に、経年劣化による破損や老朽化が見られます。				
・改善した点 設計業務委託により、施設環境の改善を図るための準備ができました。				・課題 施設の安全に配慮し、計画的に改修等を行う必要があります。				
・評価 遅滞なく変電設備更新工事の設計業務委託を実施できました。				・取組内容 変電設備更新工事を行います。				

生涯学習の環境整備								
生涯学習センター整備充実事業		利用者に安心・安全で快適な施設環境を提供するため、生涯学習センターの修繕・改修を行います。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
文化芸術・生涯学習課	50,986		48,641		6,597	32,990	7,200	25,790
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
工事進捗率(%)	100	100	100	施設利用の満足度調査「総合評価」で、「満足」と回答された方の割合(%)		62.0	65.4	68.0
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 受変電設備の更新工事、揚水ポンプの交換修繕及び駐車場料金システム機器の更新を実施しました。				・現状 施設各所に、経年劣化による破損や老朽化が見られます。				
・改善した点 関係機関と調整しながら、計画的に修繕等を行うことができました。				・課題 安心・安全で快適な施設環境の維持向上を図るため、計画的な修繕を行う必要があります。				
・評価 工事業者や指定管理者と調整を行い、遅滞なく工事を完了することができました。				・取組内容 生涯学習センターでは、和式トイレの洋式化、非常用発電機の更新、多目的ホール改修工事に向けた設計業務委託、耐用年数が経過した消火器の更新を行います。				
生涯学習の環境整備								
地域図書館改修事業		利用者に安心・安全で快適な施設環境を提供するため、地域図書館の修繕・改修を行います。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
図書館	3,465		3,190		13,194	0	0	0
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
工事進捗率(%)	100	100	-	施設利用の満足度調査「総合評価」で、「満足」と回答された方の割合(%)		75.5	72.8	-
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 森の図書館の南側通路の改修工事を行いました。				・現状 令和7年度で事業は終了しました。				
・改善した点 老朽化した木製の通路をコンクリート舗装の通路に改修し、安全な施設環境を確保できました。				・課題 令和7年度で事業は終了しました。				
・評価 利用者の安全に配慮しながら、遅滞なく工事を実施しました。				・取組内容 令和7年度で事業は終了しました。				
生涯学習の環境整備								
東部公民館施設整備改修事業		利用者に安心・安全で快適な施設環境を提供するため、東部公民館の修繕・改修を行います。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
公民館	30,279		25,177		3,959	0	0	0
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
工事進捗率(%)	100	100	-	施設利用の満足度調査「総合評価」で、「満足」と回答された方の割合(%)		70.0	63.4	-
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 快適な施設環境の維持を図るため、受変電設備更新工事を行いました。				・現状 令和7年度で事業は終了しました。				
・改善した点 受変電設備更新工事により、施設環境の改善を図ることができました。				・課題 令和7年度で事業は終了しました。				
・評価 利用者の安全に配慮しながら、遅滞なく更新工事を実施できました。				・取組内容 令和7年度で事業は終了しました。				

生涯学習の環境整備								
博物館改修事業		利用者に安心・安全で快適な施設環境を提供するため、博物館の修繕・改修を行います。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
博物館	38,449		39,351		17,227	0	0	0
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
工事進捗率(%)	100	100	-	改修等実施数(件)		1	1	-
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 利用者に安全で快適な環境を提供するため、オストメイト・トイレ洋式化等のユニバーサルデザイン化改修工事や内装改修工事を行い、施設の長寿命化に努めました。				・現状 令和7年度で事業は終了しました。				
・改善した点 老朽化した建築物や設備を竣工時の状態に近づけるだけでなく、その機能や性能を現在求められている水準まで引き上げました。				・課題 令和7年度で事業は終了しました。				
・評価 オストメイト・トイレ洋式化等のユニバーサルデザイン化改修工事や内装改修工事を行ったことで、利用者に安全で快適な環境を提供することができるようになり、同時に施設の長寿命化を図ることができました。				・取組内容 令和7年度で事業は終了しました。				
生涯学習の環境整備								
木の図書館改修事業		開館から13年経過している木の図書館は木造であり鉄筋コンクリート製の他の施設とは異なり老朽化の進みが早いことから、老朽化した設備等をその機能や性能を現在求められている水準まで引き上げ、安心・安全な施設環境を確保するため、更新を図るものです。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
図書館	0		0		0	7,691	6,800	891
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
工事進捗率(%)	-	-	100	施設利用の満足度調査「総合評価」で、「満足」と回答された方の割合(%)		-	-	80.1
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 令和7年度は事業の実施がありませんでした。				・現状 施設各所に、経年劣化による破損や老朽化が見られます。				
・改善した点 令和7年度は事業の実施がありませんでした。				・課題 安心・安全で快適な施設環境を確保するため、計画的に修繕・改修を行う必要があります。				
・評価 令和7年度は事業の実施がありませんでした。				・取組内容 木の図書館の緑地帯改修工事及び中水ポンプの改修工事を行います。				

主管部局 生涯学習部 施策の目的 文化芸術や歴史に親しむ機会を創出するとともに、歴史的文化的遺産を次世代へ伝える



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R5実績	R6実績	R7実績	単位	目指す方向
過去1年間に文化芸術活動を行ったことがある市民の割合	「日ごろから学習活動を行っている市民の対象分野」における「教養（語学・歴史・文学等）」「文化芸術（音楽・絵画等）」の割合（まちづくり達成度アンケート）	42.9	57.1	54.4	%	
市内の指定文化財等の数	国登録、県・市指定文化財の数（博物館）	52	52	52	件	

令和7年度の取組と改善点・評価	令和8年度の現状・課題・取組
<p>・取組内容 国登録有形文化財「秋元家住宅土蔵」の公開準備や100か所めぐり看板のリニューアルなどを実施しました。文化祭については、新規参加団体の募集に努めました。スタートおおたかの森ホールでは、設備のバッテリー交換修繕や故障した空調機のインバーターについて利用者に影響が出ないよう、速やかに交換修繕を行いました。また、故障した空調設備のインバーターについて利用者に影響が出ないよう、速やかに交換修繕を行いました。</p> <p>・改善した点 国登録有形文化財「秋元家住宅土蔵」の内部修復が終了し、公開準備が整いました。文化祭については、デジタルサイネージに記事を掲載するなど、新たな周知方法を取り入れた結果、子どもから高齢者まで幅広い世代の来場者にご覧いただきました。また、スタートおおたかの森ホールでは適切な修繕を行い、安心・安全で快適な施設環境の維持に努めました。</p> <p>・評価 国登録有形文化財「秋元家住宅土蔵」に関する工事が終了し、公開可能となりました。文化祭については、オープニングセレモニー・イベントをはじめ、各団体による展示や発表は多くの参加者と来場者で賑わいました。スタートおおたかの森ホールでは利用者や施設運営に影響なく修繕等を行うことができました。</p>	<p>・現状 国登録有形文化財「秋元家住宅土蔵」の公開、100か所めぐり看板のリニューアル、流山市文化財保存活用地域計画などで、文化財の周知を図ります。また平成7年の開館以来使用している一茶双樹記念館表門及び北側の塀等が、経年や蟻害により劣化が進んでいます。築年数が経過した各生涯学習施設については、経年劣化による破損や老朽化がみられます。</p> <p>・課題 国登録有形文化財「秋元家住宅土蔵」の活用、文化財の周知、流山市文化財保存活用地域計画などの推進が必要です。一茶双樹記念館については、利用者や近隣住民等の安全に配慮し、計画的に改修等を行う必要があります。文化祭については、参加団体（実行委員会）の高齢化が進んでいます。スタートおおたかの森ホールの修繕に当たっては、利用者への影響を最小限に抑えて実施する必要があります。</p> <p>・取組内容 NPO法人流山史跡ガイドの会と協働して「秋元家住宅土蔵」を公開します。また、一茶双樹記念館の表門及び北側の塀等や光悦寺垣の修繕工事を行い、利用者や近隣住民等に安全な環境を提供します。</p>

市民主体の文化芸術活動の促進

文化祭開催事業	市内の文化芸術団体の発表の場であり、市内の代表的な文化の祭典として、流山市文化祭実行委員会が開催する文化祭の事業費の一部を補助します。						
担当課	R7当初予算	R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
文化芸術・生涯学習課	1,300	1,300		6,597	1,300	0	1,300
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標	R6実績	R7実績	R8目標
イベント実施数(回)	24	24	18	延べ観覧者数(人)	5,977	5,503	5,600
令和7年度の取組と改善点・評価	令和8年度の現状・課題・取組						
<p>・取組内容 オープニングセレモニー・イベントをはじめ、各団体による展示や発表を実施しました。また、広報ながれやま、市ホームページ等により新規参加団体や来場者の募集に努めました。</p> <p>・改善した点 市内駅等に設置されているデジタルサイネージに記事を掲載するなど、新たな周知方法を取り入れました。オープニングセレモニーで披露した「ながれやまのおはなし」は2025大阪・関西万博でも披露した演目であり、周知の結果、子どもから高齢者まで幅広い世代の来場者にご覧いただきました。</p> <p>・評価 スタートおおたかの森ホールで開催したオープニングセレモニー・イベントをはじめ、各団体による展示や発表は多くの参加者と来場者で賑わいました。</p>	<p>・現状 毎年、文化祭実行委員会の企画・運営による「流山市文化祭」を開催しています。</p> <p>・課題 観覧者数については、横ばいの傾向にあるので、開催や市民への周知について工夫する必要があります。</p> <p>・取組内容 今年度はオープニングセレモニー・イベントは実施せず、開催期間を3週間ほどに集約する、複数のジャンルのコラボレーション演目を企画し、さまざまな文化・芸術の相互交流を図るなど、試行的な取組を実施していきます。</p>						

優れた文化芸術に親しめる機会の充実

一茶双樹記念館及び社のアトリエ黎明改修事業	利用者に安全で快適な環境を提供するために、老朽化した一茶双樹記念館・社のアトリエ黎明の改修を進めます。						
担当課	R7当初予算	R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
博物館	0	0		0	14,418	12,600	1,818
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標	R6実績	R7実績	R8目標
工事進捗率(%)	-	-	100	改修等実施件数(件)	-	-	1
令和7年度の取組と改善点・評価	令和8年度の現状・課題・取組						
<p>・取組内容 令和7年度は事業の実施がありませんでした。</p> <p>・改善した点 令和7年度は事業の実施がありませんでした。</p> <p>・評価 令和7年度は事業の実施がありませんでした。</p>	<p>・現状 平成7年の開館以来使用している一茶双樹記念館表門及び北側の塀等が、経年や蟻害により劣化が進んでいます。</p> <p>・課題 施設の安全に配慮し、計画的に改修等を行う必要があります。</p> <p>・取組内容 利用者や近隣住民等に安全な環境を提供するため、表門及び北側の塀等の修繕工事や、光悦寺垣の修繕工事を行います。</p>						

優れた文化芸術に親しめる機会の充実

利用者に安心・安全で快適な施設環境を提供するため、おたかの森ホールの修繕・改修を行います。								
おたかの森ホール整備充実事業								
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
文化芸術・生涯学習課	500		2,532		6,597	0	0	0
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
工事進捗率(%)	100	100	100	施設利用の満足度調査「総合評価」で、「満足」と回答された方の割合(%)		77.3	78.8	79.0
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
<p>・取組内容</p> <p>中央監視装置バッテリー交換修繕と故障した空調設備のインバーターについて、利用者に影響が出ないように交換修繕を行いました。また、老朽化したスタッキングテーブルを一部買い替えました。</p>				<p>・現状</p> <p>令和8年度は、事業実施の予定はありません。</p>				
<p>・改善した点</p> <p>適切な時期に修繕等を行い、安心・安全で快適な施設環境の維持に努めました。</p>				<p>・課題</p> <p>令和8年度は、事業実施の予定はありません。</p>				
<p>・評価</p> <p>利用者や施設運営に影響なく修繕を行うことができました。</p>				<p>・取組内容</p> <p>令和8年度は、事業実施の予定はありません。</p>				

歴史的文化的遺産の保存・活用

文化財に対する市民の理解を深めてもらい、郷土の歴史や文化を大切に街づくりに資することを目指します。市内に残る文化財の指定・登録、指定文化財保護のための助成及び埋蔵文化財保護と開発との調整を行い、市民へは見学会や博物館展示会などで周知・情報還元を行います。								
文化財保護推進事業								
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
博物館	8,057		6,555		1,320	13,898	1,135	12,763
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
文化財審議会への諮問数(件)	-	2	2	指定文化財登録件数(件)		-	-	2
流山市文化財保存活用地域計画「保存と活用に関する措置」の進捗率(%)	5	10	10	流山市文化財保存活用地域計画「保存と活用に関する措置」実行(件)		-	5	10
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
<p>・取組内容</p> <p>令和6年7月、文化庁より認定を受けた流山市文化財保存活用地域計画及び文化財審議会を骨子として、文化財の保護を図りました。</p>				<p>・現状</p> <p>流山市文化財保存活用地域計画及び文化財審議会を骨子として、市内の文化財保護と活用を継続して進めます。</p>				
<p>・改善した点</p> <p>計画的なスケジュールを作成し、取り組みを進めました。</p>				<p>・課題</p> <p>市内に残る文化財の保存が課題です。</p>				
<p>・評価</p> <p>計画に基づき、各種調査を実施しました。</p>				<p>・取組内容</p> <p>市内に多くの文化財が有ることを周知していきます。</p>				

歴史的文化的遺産の保存・活用

市内に残る文化財の保存・整備を行い、活用を図ります。								
指定等文化財保存活用整備事業								
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
博物館	55,677		52,573		3,299	0	0	0
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
工事の進捗率(%)	70	100	-	現地見学会・講演会の参加人数(人)		286	83	-
				秋元家住宅土蔵への来訪者数		-	-	3,000
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
<p>・取組内容</p> <p>内部の修理を進めていくとともに、修理過程の説明会や講演会を開催します。ホームページやSNSを利用した情報発信を進めていきます。</p>				<p>・現状</p> <p>4月4日から秋元家住宅土蔵の一般公開を開始しています。</p>				
<p>・改善した点</p> <p>内部修理工事についてはホームページやSNSを多用して周知を図りました。</p>				<p>・課題</p> <p>流山本町の各施設との連携が課題です。</p>				
<p>・評価</p> <p>内部修理が完了しました。</p>				<p>・取組内容</p> <p>文化財の保存・公開を進めていきます。</p>				

歴史的文化的遺産の保存・活用

埋蔵文化財整理室及び収蔵庫整備事業	市内各所にある埋蔵文化財関連施設を鯨ヶ崎整理室（東洋学園大学旧校舎学生会館）へ集約し、一元的な管理を行います。また、出土遺物・資料の公開を行うため、埋蔵文化財・収蔵・展示施設を開設します。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
博物館	5,000		2,274		1,320	0	0	0
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
鯨ヶ崎整理室への整理室・収蔵庫移転・集約件数(件)	100	-	-	鯨ヶ崎整理室の稼働率(%)		100	-	-
鯨ヶ崎整理室の修繕工事・収蔵庫解体進捗率(%)	40	50	-	収蔵庫解体進捗率(%)		-	33.3	-
令和7年度を取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 鯨ヶ崎整理室へ出土遺物等の移転が終了したことで、収蔵施設としての役割を終えた加、古間木、南流山収蔵庫のうち、南流山収蔵庫は予定通り実施しました。				・現状 令和8年度は、事業実施の予定はありません。				
・改善した点 残る加、古間木収蔵庫の2収蔵施設については解体工事が必要となります。				・課題 令和8年度は、事業実施の予定はありません。				
・評価 南流山収蔵庫については予定通り実施できました。				・取組内容 令和8年度は、事業実施の予定はありません。				

主管部局 生涯学習部 施策の目的 スポーツを通じた市民の健康と体力の維持・増進を図る



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R5実績	R6実績	R7実績	単位	目指す方向
スポーツで健康体力の維持・増進を行っている市民の割合	「健康維持のために日ごろから行っていること」における「汗をかく程度の運動を週1、2回程度習慣的に行っている」の割合（まちづくり達成度アンケート）	32.9	34.9	32.6	%	
スポーツ施設の利用者数	利用者数（スポーツ振興課）	1,415,897	1,586,121	1,541,950	人	

令和7年度の取組と改善点・評価	令和8年度の現状・課題・取組
<p>・取組内容 流山ロードレース大会は、LINEやランニングポータルサイトによる周知方法を活用した結果、約14%増の参加申込者数となり、大会規模の拡大につながりました。流山スポーツフィールドでは、利用人口の向上につながるよう、人工芝化とともに照明設備を設置したほか、快適な施設利用ができるよう備品の整備を行いました。</p> <p>・改善した点 流山ロードレース大会は、参加者に安全で、快適な大会となるよう、よりよい運営を行い、その結果として、雨天開催にかかわらず、大きな事故やケガもなく大会を終えることができました。スポーツ施設は、各施設老朽化に伴い、限られた予算の中で、利用者に支障がでないよう必要な修繕を行いました。</p> <p>・評価 流山スポーツフィールドの人工芝化工事と照明設備工事を令和7年度内で完了することができました。スポーツ施設の維持管理修繕では、優先順位をつけ、利用に極力支障のないよう配慮した修繕を行うことができました。流山ロードレース大会では、周知方法の改善や、コースの設計の見直し、警察及び各団体との連携を図り、参加者の増加につながりました。</p>	<p>・現状 流山ロードレース大会は、より魅力ある大会とするため、企画に注力し、参加者拡大を図ります。人工芝化した流山スポーツフィールドについての利用促進を図るほか、他の施設についても、利用人口の向上につながるよう施設と設備の改善を計画していきます。</p> <p>・課題 流山ロードレース大会は、参加者にとって安全・快適な大会となるよう、今後も運営の改善を行い、大会規模の拡大につなげる必要があります。スポーツ施設は、各施設老朽化に伴い、限られた予算の中で、必要な修繕を計画的に行う必要があります。</p> <p>・取組内容 流山スポーツフィールドでは、より一層の施設の充実と利用者人数の増を図るための、課題の整理と計画化を進めます。スポーツ施設の維持管理修繕では、優先順位をつけ、利用者に対応しつつ長期的なコスト等の視点に基づく修繕実施に取り組みます。流山ロードレース大会では、さらなる周知方法の改善や、参加者還元の見直し、各団体との連携を図ります。</p>

スポーツ活動の促進

スポーツ講習会・大会開催事業	スポーツ講習会や大会を通じてスポーツ活動の機会を拡充します。								
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)		R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
スポーツ振興課	25,821		8,017		9,896		26,623	1,000	25,623
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標			R6実績	R7実績	R8目標
流山ロードレース大会実行委員会開催回数(回)	6	6	6	流山ロードレース大会参加者数(人)			3,296	3,786	3,400
令和7年度の取組と改善点・評価	令和8年度の現状・課題・取組								
<p>・取組内容 流山ロードレース大会では、協賛企業ののぼり旗作成、団体・ペア申込み割引、参加者に抽選で景品を用意することを実施し、参加者の増加を図りました。</p> <p>・改善した点 流山ロードレース大会では、大会開催案内方法の改善を行い、参加者増加を図りました。また、インスタ映えスポットを設置して、大会を盛り上げました。</p> <p>・評価 流山ロードレース大会では、大会開催案内方法の改善や運営方法の改善により、前年比約14%の参加者増となりました。</p>	<p>・現状 流山ロードレース大会では、協賛企業ののぼり旗作成、団体・ペア申込み割引、参加者景品抽選会等、大会運営を、より改善し、参加者増加を図ります。</p> <p>・課題 流山ロードレース大会では、規模拡大も一つの目標ですが、そのためには、安全で快適で、参加者の満足度の高い内容とする必要があります。</p> <p>・取組内容 流山ロードレース大会では、大会開催案内方法のさらなる改善や、運営方法の改善により、魅力ある大会とし、参加者の増を目指します。</p>								

スポーツ環境の整備

体育施設改修・整備事業	コミュニティプラザ駐車場舗装改修工事や、おたかの森スポーツフィールドパーゴラ設置工事を実施し、スポーツ施設の利用者の安全性・快適性・利便性の確保を図ります。								
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)		R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
スポーツ振興課	385,000		169,645		9,896		34,434	29,000	5,434
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標			R6実績	R7実績	R8目標
				屋内外体育施設利用者実数(人)			883,781	895,182	885,000
令和7年度の取組と改善点・評価	令和8年度の現状・課題・取組								
<p>・取組内容 流山スポーツフィールドA面人工芝化工事を実施するに当たり、温度の上昇を抑える人工芝を選定しました。</p> <p>・改善した点 流山スポーツフィールドA面人工芝化工事や照明設置工事を行い、利用者の利便性を向上させました。</p> <p>・評価 流山スポーツフィールドA面人工芝化工事や照明設置工事を行い、快適性と安全性を高めることができました。</p>	<p>・現状 流山スポーツフィールドA面の人工芝化工事が令和7年度に完了しましたが、その施設の利用促進を図り、また、他の施設の施設整備を計画して進める必要があります。</p> <p>・課題 スポーツ施設の老朽化に伴い、修繕の必要な施設が多くあります。限られた予算の中で、利用者に支障がないような修繕計画が必要になっています。</p> <p>・取組内容 各スポーツフィールドの施設や備品の改善を行い、利用人口の向上につながるような魅力ある、安全で快適な施設となる計画を進めます。</p>								

スポーツ環境の整備

<p>体育施設備品等整備事業</p>		<p>施設備品の適正な維持管理をするとともに、施設利用者のスポーツに対する熱意の向上と安全性の確保を図るため、必要な備品等を整備するものです。</p>					
担当課	R7当初予算	R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
スポーツ振興課	8,000	380		1,320	0	0	0
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標	R6実績	R7実績	R8目標
				屋外型AED収納ボックス設置率(%)	100	100	100
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組			
<p>・取組内容 流山スポーツフィールドでは、置敷式コーナーフラッグの購入のほか、観覧ステージや日除け付きベンチを購入しました。</p>				<p>・現状 各スポーツフィールドや運動施設での備品を充実させるための、現状把握を行う必要があります。</p>			
<p>・改善した点 流山スポーツフィールドで使用していたパーゴラを他施設へ移設し、有効利用を図りました。</p>				<p>・課題 備品の整備等を行うに当たっては、費用に配慮し、安全性に配慮した上で、優先順位付けして行う必要があります。</p>			
<p>・評価 流山スポーツフィールドでは、スポーツ備品の充実を行うことができました。</p>				<p>・取組内容 備品の整備・充実を行うため、費用に配慮し、安全性に配慮した上で、優先順位付けを行います。</p>			

主管部局 まちづくり推進部 施策の目的 市民に潤いと安らぎを与えるみどりの保全・創出に取り組む



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R5実績	R6実績	R7実績	単位	目指す方向
人口1人当たりの都市公園面積	都市計画現況調査(国土交通省)	5.17	5.13	5.07	m ²	
市内は緑が豊かで潤いがあり、緑とのふれあいに満足していると思う市民の割合	「満足している」「どちらかといえば満足している」「普通」と回答した割合(まちづくり達成度アンケート)	85.5	82.7	86.8	%	

令和7年度の取組と改善点・評価	令和8年度の現状・課題・取組
<p>・取組内容 みどりの保全については、維持管理の効率化を進めるとともに、樹木管理や公園施設の点検・更新等、公園・緑地等の適切な維持管理を行いました。みどりの創出については、運動公園をはじめとした市内公園の整備や民間事業者との連携による賑わいの創出に向けた準備を進めました。</p> <p>・改善した点 近年の異常気象を踏まえ、樹木剪定や倒木への措置、植栽箇所の基盤整備などにより、適切な維持管理を行いました。また、維持管理システムの導入により事務の効率化や措置対応の迅速化に努めたほか、防草対策の試験施工にも取り組み、管理業務の更なる高度化を推進しました。</p> <p>・評価 公園や緑地、街路樹の適切な維持管理に加え、公園施設の点検や更新を行い、多くのみどりの保全に努めました。こうした取り組みが、指標である「市内は緑が豊かで潤いがあり、緑とのふれあいに満足している」と思う市民の割合の増加につながったものと考えます。</p>	<p>・現状 公園・緑地・街路樹の維持管理や点検を行い、公園利用者の安全性の向上を図るとともに、魅力ある公園施設を整備します。また、開発等により失われつつある市内のみどりについて、各種制度や手法を用いて保全・創出を行います。運動公園の新体制による管理・運営の開始、流山市みち・かわ・みどり管理センターの運用を開始します。</p> <p>・課題 維持管理のさらなる効率化や迅速化を図る必要があります。また、街中のみどりを確保するため、近年の高温化への柔軟な対応や、地権者や関係機関との円滑な協議を進める必要があります。</p> <p>・取組内容 みどりの保全については、維持管理の効率化を推進し、樹木管理や施設の点検・更新を適切に実施することで、安心安全な公園・緑地環境の維持に努めます。みどりの創出については、市内公園の整備・改修等を着実に進めます。また、新たな取り組みとして、公園への指定管理者制度の導入やコールセンターの設置を行い、管理・運営体制の強化と市民サービスの更なる向上を図ります。</p>

みどりの保全

良質なみどりの拠点保全事業	土地所有者から借り受けている市民の森等について保全に向けた取り組みを進めるとともに、自然に触れながら散策等ができるよう、園路等の施設整備を行います。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
みどりの課	6,025		5,626		660	1,130	0	1,130
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
				公園緑地で憩い安らげると感じている市民の割合(%)		80.8	82.8	85.0
令和7年度の取組と改善点・評価	令和8年度の現状・課題・取組							
<p>・取組内容 市民の森の保全に向けた用地取得等の取り組みを継続しました。</p> <p>・改善した点 市民の森や借地公園、保存樹木等の地権者と協議の回数を増やし、良好な関係の継続に努めました。</p> <p>・評価 借地公園の用地取得について、地権者から同意が得られました。</p>	<p>・現状 市民の森や借地公園の保全に向け、地権者との話し合いを継続します。また、保存樹木等の地権者に補助金を交付し、地域のみどりの保全を支援します。</p> <p>・課題 地権者の意向を踏まえつつ、市民の森や借地公園用地の取得を進める必要があります。</p> <p>・取組内容 地権者の協議回数を増やすほか、要望にも柔軟に対応し、良好な関係を継続します。</p>							

みどりの保全

みどりを支える人づくり事業	みどりを守り、育てる人材を育成するため、ボランティア育成や緑化に係る各種講習会やオープンガーデンの支援を実施し、本市の魅力づくりに市民と協働で取り組みます。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
みどりの課	868		656		1,980	873	120	753
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
講習会の開催回数(回)	9	9	9	講習会への参加人数(人)		174	207	210
令和7年度の取組と改善点・評価	令和8年度の現状・課題・取組							
<p>・取組内容 講習会のテーマを工夫し、参加者数の増加に努めました。また、オープンガーデンの開催を支援しました。</p> <p>・改善した点 みどりの保全、創出、活用を適切に行うため、市民団体と連携し、みどりを担う人材と里山保全ボランティアの定着に努めました。</p> <p>・評価 緑化に関する講習会を開催し、様々なかたちでみどりを担う人材の育成に努めました。また、オープンガーデンの支援により、多くの方が訪れました。</p>	<p>・現状 市民と協働で緑の維持管理を行います。緑化に関する講習会を今年度も開催し、市民の緑化意識の向上に努めます。</p> <p>・課題 講習会の内容によって、定員を適切に設定する必要があります。</p> <p>・取組内容 講習会のテーマを工夫し、参加者数の増加に努めます。また、講習会を通じてボランティア活動に興味を持った方が、新たにボランティア活動を行えるよう努めます。</p>							

みどりの創出

新たな賑わい空間創出事業		つくばエクスプレス沿線の土地区画整理事業の進捗に合わせて、都市施設として必要な公園施設の整備を実施します。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
みどりの課	128,510		99,645		6,597	33,000	33,000	0
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
				公園緑地で憩い安らげると感じている市民の割合(%)		80.8	82.8	85.0
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 流山セントラルパーク(総合運動公園)の再整備として県が行う広場工事に係る協議や電気設備の更新工事を行いました。また、流山セントラルパークにおける指定管理の範囲拡大やカフェの建築など、令和8年度から始まる新たな管理・運営体制の準備を行いました。				・現状 土地区画整理事業と整合を図りつつ、地域ニーズに基づいた公園施設整備を行い、良好な住環境の形成を推進しています。				
・改善した点 土地区画整理事業者及び流山セントラルパークの整備運営事業者とともに、公園全体の活性化につながる賑わいの創出に向けた準備を確実に進めました。				・課題 土地区画整理事業者及び流山セントラルパークの指定管理者と連携し、公園全体の活性化に資する賑わいの創出を図ることが求められています。また、運動公園周辺地区の2号近隣公園についても、スケジュールに基づき着実に整備を推進する必要があります。				
・評価 令和8年度から始まる新たな管理・運営体制の準備や電気設備工事を期限までに完了させました。				・取組内容 流山セントラルパーク内に新たなインクルーシブ遊具の設置を行うとともに、サインを設置し公園施設の充実を図ります。				

みどりの創出

安心安全な公園づくり事業		既存公園の遊具を始めた公園施設の安全点検・補修・更新を行い利用者の安全性・利便性の向上を図ります。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
みどりの課	130,509		148,413		13,194	146,909	134,238	12,671
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
安全点検実施率(安全点検を実施した公園件数÷安全点検対象公園件数)(%)	100	100	100	公園緑地で憩い安らげると感じている市民の割合(%)		80.8	82.8	85.0
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 既存公園の遊具をはじめとした公園施設の安全点検及び、公園施設長寿命化計画に基づき、既存公園施設の改修を行いました。また、公園維持管理システムを活用し、さらなる事務の効率化に努めました。				・現状 既存公園の遊具をはじめとした公園施設の安全点検・補修及び新設・更新を行っています。				
・改善した点 公園を安全・快適に利用していただくため、老朽化している遊具施設等の補修を計画的に行いました。				・課題 公園を安全・快適に利用していただくため、老朽化している遊具施設等の補修を計画的に行う必要があります。				
・評価 既存公園の遊具をはじめとした公園施設の安全点検・補修を行い、公園利用者の安全性を確保しました。				・取組内容 既存公園施設のトイレ改修(南流山6号公園、平和台1号公園)や新たな遊具の設置を行います。市内公園のすべての遊具について安全点検を行い、安全性の確保を図ります。				

生物多様性の保全・回復

生物多様性地域戦略推進事業		生物多様性なぐれやま戦略(第三期)に基づき、各重点拠点のモニタリング調査、植樹事業、市の鳥に関する事業等を行うことにより、市民への生物多様性に関する啓発を行います。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
環境政策課	2,330		2,180		13,194	2,334	297	2,037
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
生物多様性啓発イベントの実施回数(回)	3	4	4	生物多様性啓発イベントの参加者数(人)		73	136	140
				グリーンウェイブ・「トラックの森づくり」事業による植樹本数(本)		74	61	70
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 住宅都市として発展を続ける本市に合った目標や取り組みの設定を検討し、市民参加手続きを行った上で、生物多様性なぐれやま戦略第三期を策定しました。				・現状 生物多様性なぐれやま戦略に掲げる重点地区や拠点の現状に合わせた取り組みを検討するため、各拠点の状況確認のほか生物多様性の啓発をすすめています。				
・改善した点 グリーンフェスティバルや生物多様性シンポジウム、植樹事業等の実施により生物多様性の啓発を行うほか、生物多様性なぐれやま戦略の改定において住宅都市として人口増加、都市化を続ける市の姿勢とのバランスを考慮した取り組みを設定しました。				・課題 グリーンフェスティバルや生物多様性シンポジウム、植樹事業等の実施により、生物多様性の啓発に一定の効果を挙げる一方、生物多様性なぐれやま戦略に掲げる取り組みを効果的に進めていく手法を検討する必要があります。				
・評価 グリーンフェスティバルや生物多様性シンポジウム、植樹事業等の実施のほか、生物多様性なぐれやま戦略の改定により、重点地区や拠点の現状の把握や市民や子どもたちへ生物多様性の重要性を認識してもらう取り組みを設定しました。				・取組内容 既存のグリーンフェスティバルや生物多様性シンポジウム、植樹事業等の実施のほか、生物多様性なぐれやま戦略に基づき、住宅都市として発展を続ける本市にあった目標や取り組みの設定を検討するに当たり各拠点の状況を把握するほか知見を持つ方々と意見交換を行います。				

主管部局 まちづくり推進部 施策の目的 地域の特性を活かした魅力ある街並みを創出する



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R5実績	R6実績	R7実績	単位	目指す方向
これからも流山市に住み続けたいと思う市民の割合	「ずっと住み続けたい」「当分は住み続けたい」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	91.2	90.5	91.2	%	
利用している駅及び駅周辺の整備や利便性に満足している市民の割合	「満足している」「やや満足している」「普通」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	74.0	71.7	78.0	%	
自宅周辺の街並みや景観を誇りに思う市民の割合	「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	65.1	64.1	68.7	%	

令和7年度の実績と改善点・評価	令和8年度の現状・課題・取組
<p>・取組内容 千葉県が施行する運動公園周辺地区については、引き続き千葉県と協力し、地権者の合意形成を図りました。江戸川台駅東口周辺地区については、用地の取得に当たり継続的に丁寧な説明を行いました。</p> <p>・改善した点 千葉県が施行する運動公園周辺地区については、土地区画整理事業の早期事業完了を目指し、千葉県と協力して地権者の合意形成を図りました。江戸川台駅東口周辺地区では、用地の取得に当たり、関係権利者へ丁寧に説明を行い、十分理解を得た上で進めました。</p> <p>・評価 千葉県が施行する運動公園周辺地区については、千葉県に対して、地権者との交渉の際に、市も協議の場に同席を促すなど、地権者に寄り添った対応を行いました。江戸川台駅東口周辺地区では、本再整備事業の内容や補償に関する内容について関係権利者に丁寧に説明し、理解を得られたことから令和7年度当初に取得を予定していた用地取得については全て履行が完了しました。</p>	<p>・現状 千葉県が施行する運動公園周辺地区については、引き続き主要となる幹線道路整備の促進を図っていきます。江戸川台駅東口周辺地区では、令和7年度に説明会を3回開催し、地元住民の意見を聞きながら事業の進捗についての説明を行い、駅前広場の拡幅や商店街通りの歩行者優先の道路化に向けた具体的な整備内容が決まりました。</p> <p>・課題 土地区画整理事業の早期事業完了を目指し、千葉県と協力して地権者の合意形成を図ります。江戸川台駅東口周辺地区では、令和8年度から各施設の工事に着手することから、工事期間中に駅利用者や地元住民が混乱しないよう、工事展開について丁寧に説明していく必要があります。</p> <p>・取組内容 千葉県が施行する運動公園周辺地区については、引き続き千葉県と協力し、地権者の合意形成を図ります。江戸川台駅東口周辺地区では、各施設の工事着手に当たり、工事説明会を開催するなど、駅利用者や地元住民に対し工事展開について丁寧に説明していきます。</p>

つくばエクスプレス沿線整備の促進

運動公園周辺地区一体型特定土地区画整理負担事業	県との費用負担協定に基づき、運動公園周辺地区一体型特定土地区画整理事業に係る対象額の2分の1を負担します。								
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与と費(目安)		R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
まちづくり推進課	1,209,979		761,347		13,194		1,295,610	1,230,900	64,710
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標			R6実績	R7実績	R8目標
面積ベース進捗率(%)	48.4	51.8	54.8	駅及び駅周辺の整備や利便性への満足度(%)			39.4	50.0	52.0
令和7年度の実績と改善点・評価	令和8年度の現状・課題・取組								
<p>・取組内容 主要となる幹線道路を中心に整備の促進を図りました。</p> <p>・改善した点 早期事業完了を目指し、千葉県と協力して地権者の合意形成を図りました。</p> <p>・評価 令和7年度末の進捗は、面積ベースで約52%となりました。</p>	<p>・現状 千葉県が実施する運動公園周辺地区の土地区画整理事業について、費用負担協定に基づき費用を負担(2分の1)し、事業の促進を図ります。</p> <p>・課題 早期事業完了を目指し、千葉県との調整をより密に行うとともに、協力して地権者の合意形成を図ります。</p> <p>・取組内容 千葉県と事業の進捗について共有し、市としても進捗に遅れないよう協力することで整備の促進を図ります。</p>								

市街地のまちづくり

南流山駅周辺市街地再整備事業	南流山駅周辺の低未利用地の高度利用化と良質なまちなみの誘導などにより、南流山駅周辺の魅力を高めるとともに、南流山駅前広場の改修を実施し、本市の南の玄関口に相応しいまちづくりを進めるもの。								
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与と費(目安)		R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
まちづくり推進課	18,019		17,963		13,194		35,776	15,000	20,776
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標			R6実績	R7実績	R8目標
事業進捗率(事業費ベース:%)	0.5	3.1	8.1	駅及び駅周辺の整備や利便性についての満足度(%)			30.2	39.8	44.8
				商業・業務系用途の新築数(件)			5	1	6
令和7年度の実績と改善点・評価	令和8年度の現状・課題・取組								
<p>・取組内容 基本計画策定のため、南流山駅周辺の住民に計画の説明を行ったうえで、広くアンケート募集を行い、意見を基本計画や今後の設計に活かすことで合意形成を図りました。</p> <p>・改善した点 奨励金制度について地元地権者や事業者に対する更なる周知が必要なため、広報での再周知や説明会等の手法により周知を促しました。</p> <p>・評価 南流山駅周辺の活性化のため、南流山まちなみづくり指針および奨励金制度の周知を行った結果、10件の問い合わせがあり、奨励金制度の説明を行いました。</p>	<p>・現状 南流山駅周辺地区の活性化のため、南流山まちなみづくり指針および奨励金制度の周知を図るとともに、南流山駅前広場改修基本計画をもとに基本設計業務を行います。</p> <p>・課題 南流山駅前広場の活性化や賑わい創出には、南流山駅周辺の商業・近隣商業地域の高度利用や商業店舗の立地等も大事な要素であることから、まちなみづくり指針や奨励金制度のさらなる周知が必要である。</p> <p>・取組内容 南流山駅前広場改修基本設計業務において、南流山駅前広場の改修案については合意形成を図るため説明会や意見募集を行うとともに、まちなみづくり指針及び奨励金制度についても改めて周知を行う。</p>								

市街地のまちづくり

建築確認台帳システム構築事業		昭和38年から平成28年までの紙の建築確認台帳及び建築計画概要書、約7万7千件分を電子化し、建築行政共用データベース及び統合型GISのシステムに組み込むことで、効率的な運用を行います。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
建築住宅課	180,710		180,708		13,194	0	0	0
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
				建築計画概要書等の電子化件数(件)		41,984	35,016	-
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 建築計画概要書等の電子化を適切に行い、令和8年度から運用できるよう、システムを完成させました。				・現状 令和7年度で事業は終了しました。				
・改善した点 令和7年度は、より古い紙ベースのものを電子化する必要があったため、電子化されたデータに不鮮明な部分がないか等、情報の精査を行いました。				・課題 令和7年度で事業は終了しました。				
・評価 建築計画概要書等の電子化が完了し、令和8年度から運用できるようシステムを完成させました。				・取組内容 令和7年度で事業は終了しました。				

市街地のまちづくり

都市計画見直し事業		地域の実情に応じた土地利用を誘導するため、区域区分、用途地域及び高度地区等の都市計画の変更を行います。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
都市計画課	3,762		4,698		13,194	9,583	0	9,583
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
				流山市は住み心地の良いまちであると思う市民の割合(%)		88.0	88.4	90.0
				これからも流山市に住み続けたいと思う市民の割合(%)		90.5	91.2	95.0
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 区域区分、用途地域等の変更について、調整を行いました。				・現状 都市計画に基づき、都市基盤と宅地が一体的に整備され、良好な居住環境が形成されています。これに伴い住宅需要も増加しています。				
・改善した点 関係機関である千葉県と、綿密な事前調整を行いました。				・課題 市内の住宅需要の増加に伴い、敷地面積にゆとりがない住宅が増加し、居住環境へ影響を与える恐れがあります。				
・評価 令和8年度の都市計画決定に向けて、調整を行うことができました。				・取組内容 都市計画で敷地面積の最低限度を定めることで、敷地の細分化を抑制し将来にわたり良質な居住環境を確保します。令和8年度は、制度設計及び素案の作成等を行います。				

市街地のまちづくり

江戸川台駅東口周辺地区再整備事業		駅利用に合った広場の改修やジェット口跡地を活用した周辺公共施設の再配置など、再整備を行います。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
まちづくり推進課	300,289		265,483		19,791	1,093,742	813,369	280,373
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
地元組織等のイベント実施回数(回)	7	14	7	駅周辺の住み心地の良さの満足度(%)		89.1	91.4	91.4
				駅及び駅周辺の整備や利便性への満足度(%)		33.3	34.5	34.5
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 統一感のある駅前空間となるよう、各施設の設計者同士の調整の機会を設けました。				・現状 令和8年度より駅前広場及び商店街通りの工事に着手する状況です。				
・改善した点 各施設の設計者同士が連携し、現場レベルでの具体的な調整を行いました。				・課題 工事着手にあたり、地元住民に対して工事内容に関する説明や、工事期間中における歩行者の安全対策が求められます。				
・評価 夜間における照明の色温度など統一すべき項目や方針を確認しました。				・取組内容 工事着手前に、地元住民に対して工事内容に関する周知を丁寧に行っていくとともに、警察や道路管理者と協議しながら歩行者の安全確保に努めます。				

景観形成の促進

流山おおたかの森駅前センター地区道路の歩行者の快適性・回遊性を高めるため、道路改築工事を実施します。								
流山おおたかの森駅周辺まちなみづくり事業								
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
まちづくり推進課	8,000		11,396		13,194	289,212	213,800	75,412
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
事業進捗率(事業費ベース:%)	53.2	54.9	100	良好な市街地の形成・維持されていると感じている市民の割合(%)		83.7	92.9	93.9
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
<p>・取組内容</p> 市道29024号線の調査と解析、市道40137号線の方針を検討しました。				<p>・現状</p> 市道40137号線の安全対策を再検討し、関係機関と協議を行ったうえで、住民との合意形成を図ります。				
<p>・改善した点</p> 市道40137号線の交通実態を踏まえた、支障のない一方通行の整備方針と整備後の歩行者導線を検討しました。				<p>・課題</p> 市道40137号線の整備にあたり、近隣住民との合意形成を図りながら、より歩行者の動線や安全性に考慮した整備計画を検討します。				
<p>・評価</p> 市道29024号線の調査と解析を行い、市道40137号線の整備に向けて円滑な工事を行えるように合意形成を図りました。				<p>・取組内容</p> 市道40137号線の道路改築工事を実施します。				

景観形成の促進

本市の良好な景観を形成するため「流山市景観計画」に基づき指導・誘導及び啓発を行います。また、良質なまちづくりの推進に向けた景観ワークショップを開催し、市内の良好な景観の周知を行います。								
景観形成推進事業								
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
都市計画課	467		344		13,194	335	0	335
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
景観条例第11条に基づく事前協議件数(件)	246	199	200	良好な市街地が形成・維持されていると感じている市民の割合(%)		83.7	85.2	86.0
景観賞の応募件数(件)	-	4	-	自宅周辺の街並みや景観を誇りに思う市民の割合(%)		64.1	68.7	70.0
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
<p>・取組内容</p> 建築計画や開発計画における景観協議に加え、景観ワークショップを開催し、市内の良好な景観の周知を行いました。また、景観賞の選定を行い、市民意識の高揚を図りました。				<p>・現状</p> 土地区画整理事業区域内を中心に、建築行為や開発行為が見込まれることから、年間200件程度の事前協議が想定されます。				
<p>・改善した点</p> 景観協議やワークショップ、景観賞により、流山市景観計画の周知や啓発に努めました。				<p>・課題</p> 良好な景観を維持・誘導していくため、引き続き流山市景観計画の周知や啓発を図る必要があります。				
<p>・評価</p> 景観ワークショップに約100人が参加され、市内の良好な景観の周知を行うことができました。また、景観賞において、良好な景観の形成に寄与した事業者等を表彰することで、市民意識の高揚を図りました。				<p>・取組内容</p> 建築計画や開発計画における景観協議に加え、景観ワークショップを開催し、市内の良好な景観の周知を行います。景観賞は隔年での開催のため、令和8年度の募集はありません。				

景観形成の促進

良好な景観の形成、風致の維持、公衆に対する危害防止のため、広告物等について適正な規制と啓発に努めます。								
広告物等推進事業								
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
都市計画課	2,853		2,415		13,194	2,850	1,642	1,208
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
流山市広告物条例第11条に基づく許可申請件数(件)	137	168	200	良好な市街地が形成・維持されていると感じている市民の割合(%)		83.7	85.2	86.0
屋外広告物法第7条に基づく簡易除却件数(件)	408	500	500	自宅周辺の街並みや景観を誇りに思う市民の割合(%)		64.1	68.7	70.0
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
<p>・取組内容</p> 条例の規制内容の周知を図るとともに、景観を阻害する要因となる違反広告物や公衆に危害を及ぼすおそれのある広告物等については、条例の主旨を理解いただけるよう指導しました。				<p>・現状</p> 条例の規制について、多くの広告主及び広告事業者に、規制内容を周知することができています。				
<p>・改善した点</p> 広告物ルールブックを活用し、本市になじみの少ない広告物業者に、丁寧に規制内容を説明し、周知を行うことができました。				<p>・課題</p> 本市になじみの少ない広告物業者に、引き続き、規制内容の周知が必要です。違反となる広告物が市内に点在しています。				
<p>・評価</p> 条例に適合するよう是正され、市内の景観に配慮された広告物が掲出されてきました。				<p>・取組内容</p> 規制内容の周知を図るとともに、景観を阻害する要因となる違反広告物や公衆に危害を及ぼすおそれのある広告物等については、条例の主旨を理解いただけるよう指導してまいります。違反広告物の改善の指導、はり紙の撤去を行います。				

主管部局 土木部 施策の目的 安全で円滑に移動できる道路網と道路環境を整備する



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R5実績	R6実績	R7実績	単位	目指す方向
快適に移動できる道路網が整備されていると思う市民の割合	「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「普通」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	73.3	69.9	76.6	%	
都市計画道路の整備率	道路建設課	73.9	73.9	76.2	%	

令和7年度の取組と改善点・評価	令和8年度の現状・課題・取組
<p>・取組内容 安全性や利便性などを考慮した生活道路の整備を推進しました。交通の集中する交差点対策の推進を図りました。流山市自転車ネットワーク計画に基づき、自転車通行空間の整備を進めました。また、安全な道路機能を維持するため計画的かつ効率的な予防保全型の道路補修に努めました。</p> <p>・改善した点 歩行者や自転車利用者が、より安全に安心して快適に移動できるよう、人にやさしい道路環境の形成に努めました。</p> <p>・評価 安全で円滑に移動できる道路網が望まれることから、名都借線橋道路拡幅改良事業等の主要事業を計画的に実施し、安全で円滑な道路網の整備に努めました。今後も、引き続き計画的な事業進捗に向けて努めてまいります。</p>	<p>・現状 人口増加や巨大物流施設の建設等に伴う交通量の増加により、一部幹線道路の交差点部においては、交通が集中する時間帯があります。また、交通量の増加により舗装の劣化の進行に注視する必要があります。</p> <p>・課題 引き続き、歩行者や自転車利用者が、より安全に安心して快適に移動できるよう、人にやさしい道路環境の形成を図る必要があります。また、事業計画の周知を積極的に行い、工事エリアの安全対策を図る必要があります。</p> <p>・取組内容 安全性や利便性などを考慮した生活道路の整備を推進します。交通の集中する交差点対策の推進を図ります。安全な道路機能を維持するため計画的かつ効率的な予防保全型の道路補修に努めます。</p>

円滑に移動できる道路整備

都市計画道路3・4・9号南流山名都借線道路改良事業	都市計画道路3・4・9号南流山名都借線（市道106号線）において、千葉県が施行する運動公園周辺地区一体型特定土地区画整理事業区域界から富士見橋までの区間、約400mの道路拡幅改良工事を行うことで、市内の円滑な移動や通学児童の安全が確保されます。							
担当課	R7当初予算	R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源	
道路建設課	128,061	98,703		3,446	147,411	139,500	7,911	
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
				整備率(%) = 執行済み事業費(円) ÷ 全体事業費(円) × 100		27.51	50.91	70.22
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
<p>・取組内容 沿線の土地利用に配慮するとともに、安全を確保しながら現道南側部の工事を実施しました。</p> <p>・改善した点 工事を進めながら地権者と協議を重ね対応しました。</p> <p>・評価 地権者に現在の使用状況と今後の土地利用計画等を伺いながら進めました。</p>				<p>・現状 現道南側の工事を進めています。工事完成後、交通を切り替え、北側道路改良工事を行う予定です。</p> <p>・課題 通過交通に配慮しながら交通を切り替え工事を行う必要があります。</p> <p>・取組内容 関係機関と協議し、交通安全を確保しながら工事を進めてまいります。</p>				

円滑に移動できる道路整備

都市計画道路3・2・25号下花輪駒木線道路改良事業	三郷流山橋有料道路の交通需要を考慮した広域道路の完成や、道路ネットワーク拡充に伴い、市内の円滑な移動が可能となります。また、道路利用者（歩行者）の安全が確保されます。						
担当課	R7当初予算	R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
道路建設課	169,690	139,680		2,639	111,400	100,200	11,200
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組			
<p>・取組内容 千葉県による道路建設について、地元調整等の事業協力を行い事業を推進しました。三郷流山橋の側道環境緑地帯や県道歩道植栽帯への植栽工事が完了しました。</p> <p>・改善した点 地元からの要望について協議を重ね対応しました。</p> <p>・評価 千葉県と調整を図り事業を進めました。</p>				<p>・現状 関連工事について流山市ができる調整、協力を行っていきます。</p> <p>・課題 事業の実施にあたり沿線住民等へ配慮する必要があります。</p> <p>・取組内容 地元の要望等を聞いて千葉県に対応を依頼します。</p>			

円滑に移動できる道路整備

名都借跨線橋道路拡幅改良事業		緊急時の大型車両通行や歩行者及び自転車の安全な通行を確保するため、名都借跨線橋を含む当該路線延長325m区間において、車両の相互通行が可能となるよう拡幅改良を行い、周辺地区における通行の円滑化と安全を図ります。						
担当課	R7当初予算	R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源	
道路建設課	296,772	320,180		13,194	440,065	396,970	43,095	
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
				整備率(%) = 執行済事業費(円) ÷ 全体事業費(円) × 100		60.8	67.9	88.0
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 向小金1丁目側北小金駅方の車道橋が完成しました。引き続き、南柏駅方の既設車道橋を撤去し、新設車道橋の工事に着手しました。「名都借跨線橋だより」を発行し、地域への周知を行いました。				・現状 令和7年度に引き続き、向小金1丁目側南柏駅方の新設車道橋の工事を進めます。				
・改善した点 工事エリア内に、工事中信号機及び交通誘導員を配置し、安全対策を講じました。				・課題 長期間にわたる交通規制となるため、地域への周知及び現場の安全対策の徹底が必要です。				
・評価 計画どおり工程を進捗しています。				・取組内容 案内看板や「名都借跨線橋だより」にて工事内容を周知します。現場状況を注視しながら、必要な安全対策を講じます。				

円滑に移動できる道路整備

区画道路改良事業		市内にある狭隘道路において、拡幅用地として寄付を受けた道路の整備や、その他の改良を行い、地域住民の通行の安全及び生活環境の向上に寄与するものです。					
担当課	R7当初予算	R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
道路建設課	177,037	287,824		28,514	496,068	464,180	31,888
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組			
・取組内容 西深井、中野久木、向小金1・2丁目、鯖ヶ崎、下花輪、駒木、野々下1丁目等の事業箇所において、工事説明会の開催や沿線地権者等への個別説明を行い、工事、設計、測量、用地取得等を進めました。				・現状 各事業箇所において、沿線地権者等に事業説明を行い、工事や測量、用地取得等を進めています。			
・改善した点 事業に対する理解をいただくため、沿線関係者に対して丁寧な説明を行い、協力を求めました。				・課題 引き続き、沿線地権者等に事業への協力を得るために丁寧な対応が求められます。			
・評価 各事業箇所の沿線地権者等に実施概要を説明し、事業を進めました。				・取組内容 事業目的の達成を目指すとともに、沿線地権者等に配慮しながら事業を進めてまいります。			

円滑に移動できる道路整備

東小学校前通学路道路拡幅整備事業		東小学校の通学路として安全を確保するため、歩道幅員を拡幅し、歩行者の通行に配慮した道路整備を提供するものです。						
担当課	R7当初予算	R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源	
道路建設課	125,876	47,265		2,126	58,264	54,271	3,993	
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
				整備率(%) = 執行済事業費(円) ÷ 全体事業費(円) × 100		74.00	87.73	95.93
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 用地測量、物件調査の成果をもとに工事に必要な用地の取得に着手しました。				・現状 前年度に引き続き、用地測量、物件調査の成果をもとに工事に必要な用地の取得を行います。				
・改善した点 沿線地権者等の土地利用に配慮し、丁寧に協議・説明を行いました。				・課題 沿線地権者等に事業への協力を得るために丁寧な対応が求められます。				
・評価 沿線地権者等の土地利用に配慮しながら用地取得を進めました。				・取組内容 事業目的の達成のため、沿線地権者等に配慮しながら事業を進めます。				

円滑に移動できる道路整備

都市計画道路3・4・8号美田駒木線道路改良事業	都市計画道路3・4・8号美田駒木線のうち、未整備である約100m区間において、道路の改良事業を行い、周辺地区における通行の円滑化と安全を図ります。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
道路建設課	1,610		1,665		1,320	0	0	0
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
				整備率(%) = 執行済み事業費(円) ÷ 全体事業費(円) × 100		37.92	38.58	38.58
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
<p>・取組内容</p> 道路用地の樹木伐採を実施し、地元自治会等に事業の変更説明を行い、雨水幹線工事を実施する上下水道局事業地を引き渡しました。				<p>・現状</p> 上下水道局が令和8年度も引き続き雨水函渠工事を行います。				
<p>・改善した点</p> 沿線地権者等の土地利用に配慮し、丁寧な協議・説明を行いました。				<p>・課題</p> 上下水道局で雨水函渠工事を実施するため、時期調整しながら事業を実施する必要があります。				
<p>・評価</p> 沿線地権者等の土地利用に配慮しながら進めました。				<p>・取組内容</p> 上下水道局と協議し、沿線地権者等の土地利用について配慮します。				

円滑に移動できる道路整備

都市計画道路3・4・11号野々下思井線道路改良事業	都市計画道路3・4・11号野々下思井線において、千葉県が施行する運動公園周辺地区一体型特定土地区画整理事業区域界から長崎小学校までの区間の道路新設を行い、八木南小学校及び八木中学校の通学路の安全確保と市内道路網を充実させます。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
道路建設課	0		0		2,786	12,331	0	12,331
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
				整備率(%) = 執行済み事業費(円) ÷ 全体事業費(円) × 100		-	-	0.48
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
<p>・取組内容</p> 令和7年度は事業の実施がありませんでした。				<p>・現状</p> 沿線地権者等の土地利用状況を調査し、道路予備設計を行います。				
<p>・改善した点</p> 令和7年度は事業の実施がありませんでした。				<p>・課題</p> 事業の実施にあたり沿線地権者等へ配慮する必要があります。				
<p>・評価</p> 令和7年度は事業の実施がありませんでした。				<p>・取組内容</p> 沿線地権者等の土地利用について配慮し、道路線形を検討します。				

安全で快適な道路環境の確保

道路維持補修事業		道路や道路附属施設を適切に管理し、道路使用者の安全性を高め、健全な道路環境を保全します。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
道路管理課	545,282		549,643		26,388	564,102	389,550	174,552
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
道路舗装補修延長(m)	5,394	5,584	4,650	情報提供および要望件数(件)		3,390	4,012	3,800
情報処理件数(件)	294	281	200	快適に移動できる道路網が整備されていると思う市民の割合(%)		70.0	75.9	77.0
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 現況交通を考慮した定期的な点検を実施し、より効率的な予防保全型の舗装管理計画を策定しました。				・現状 道路の通行状況や舗装布設からの経過年度などによる舗装の劣化が進行しています。				
・改善した点 現況交通を考慮した定期的な点検を実施し、より効率的な予防保全型の舗装管理計画を策定しました。				・課題 交通量や通行車両の変化によって生じた舗装の劣化を把握し、舗装構成の見直しや修繕方法の再検討が今後の課題となります。				
・評価 舗装修繕計画に基づいた舗装の修繕を実施しました。				・取組内容 路面性状調査を実施し、舗装修繕計画を策定することで事後対応型の管理から予防保全型の管理へ移行してまいります。				

安全で快適な道路環境の確保

橋りょう補修事業		流山市が管理する橋梁の維持管理の適正管理に努め、通行の安全確保を図ります。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
道路管理課	76,940		13,038		26,388	104,980	42,630	62,350
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
橋りょう補修工事件数(件)	2	3	3					
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 定期的な橋りょう点検を実施し、適正な管理に努めました。				・現状 橋りょうの定期点検を実施後、長寿命化計画を策定し計画的に橋りょう補修工事を実施しています。				
・改善した点 補修対象橋りょうの修繕実施率の向上に努めました。				・課題 措置対象橋りょうの補修工事の実施率を向上させることが課題です。				
・評価 橋りょう長寿命化計画に基づき、修繕対象橋りょう3橋の補修工事を実施しました。				・取組内容 措置対象橋りょうの補修工事を実施し、管理橋りょうの健全度を向上させます。				

主管部局 土木部 施策の目的 大雨時の洪水氾濫・内水氾濫による被害を最小限に抑える



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R5実績	R6実績	R7実績	単位	目指す方向
雨水幹線の整備延長	雨水幹線の整備延長（下水道建設課）	15.38	15.47	15.51	km	
水害による住家被害の棟数	過去3年間に発生した水害によって床上浸水した住家の棟数	0	0	0	棟	

令和7年度の取組と改善点・評価	令和8年度の現状・課題・取組
<p>・取組内容 道路冠水対策として、長崎地区、江戸川台西地区の雨水排水施設に着手しました。</p>	<p>・現状 台風や局地的大雨時に道路冠水が発生している箇所の解消が必要です。</p>
<p>・改善した点 道路冠水対策として、長崎地区、江戸川台西地区の雨水排水施設を整備しました。</p>	<p>・課題 小規模な冠水を含み、市内に複数箇所冠水が発生しています。</p>
<p>・評価 樹つまりが起因する冠水もあるため、台風等大雨が予想される場合は、事前パトロールによる点検、清掃を実施しました。</p>	<p>・取組内容 道路冠水対策として、東深井地区の雨水排水施設を整備します。</p>

雨水排水施設の整備

<p>地区内雨水整備事業</p>	運動公園周辺地区一体型特定土地区画整理事業の造成計画の推進状況に合わせ、雨水管を整備します。						
担当課	R7当初予算	R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
下水道建設課	229,500	125,950		10,630	386,300	320,300	66,000
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標	R6実績	R7実績	R8目標
各年度の整備面積 (ha)	0.09	0.22	0.01				
運動公園周辺地区内の雨水整備に伴う工事進捗率 (%)	48.4	48.43	48.44				
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組			
<p>・取組内容 土地区画整理事業施行者である千葉県と年度協定を締結し、運動公園周辺地区内の雨水排水施設を整備しました。</p>				<p>・現状 予定している雨水工事は、土地区画整理事業施行区域内での地権者等の調整があり予定通り進みません。</p>			
<p>・改善した点 土地区画整理事業施行区域内の造成工事に合わせて雨水工事を行うため、造成工事の進捗状況により、大きく影響を受けるので、千葉県との連絡調整を密に行いました。</p>				<p>・課題 土地区画整理事業施行区域内の造成工事に合わせて雨水工事を行うため、造成工事の進捗状況により、大きく影響を受けます。</p>			
<p>・評価 運動公園周辺地区内の雨水排水施設の整備が完了しました。</p>				<p>・取組内容 土地区画整理事業施行者である千葉県と連絡調整を行い、造成計画に応じた整備展開を図っていきます。</p>			

雨水排水施設の整備

<p>雨水排水施設整備事業</p>	浸水被害が発生している、又はおそれのある地域に雨水排水施設の整備を行います。 令和8年度 排水管整備（東深井）等 令和9年度 排水管整備等 令和10年度 排水管整備等						
担当課	R7当初予算	R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
河川課	111,570	136,462		11,875	117,326	97,800	19,526
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標	R6実績	R7実績	R8目標
道路冠水対策に関する工事件数(件)	4	2	3	内水氾濫による床上浸水の棟数(棟)	0	0	0
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組			
<p>・取組内容 道路冠水対策として、江戸川台西地区、長崎地区の雨水排水施設に着手しました。</p>				<p>・現状 台風や局地的大雨時に道路冠水が発生している箇所の解消が必要です。</p>			
<p>・改善した点 樹つまりが起因する冠水もあるため、台風等大雨が予想される場合は、事前パトロールによる点検・清掃を実施しました。</p>				<p>・課題 小規模な冠水を含み、市内に複数箇所冠水が発生しています。</p>			
<p>・評価 江戸川台西地区、長崎地区の雨水排水施設が完了しました。</p>				<p>・取組内容 道路冠水対策として、東深井地区の雨水排水施設を整備します。</p>			

河川環境の整備								
河川等維持補修事業		河川施設等が適切な排水機能を維持できるように補修及び修繕を行います。 令和8年度 修繕工事等 令和9年度 修繕工事等 令和10年度 修繕工事等						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
河川課	31,227		35,716		9,896	53,676	0	53,676
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
河川施設の維持補修に関する工事件数(件)	3	1	2	憩いの場としての河川環境について満足している市民の割合(%)		78.5	86.8	87.0
維持管理システム導入による情報処理達成件数(件)	-	236	230	維持管理システム導入による平均対応日数(日)		-	7	7
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 効率的な補修を行い、水路や河川施設の適切な機能維持に努めました。				・現状 職員によるパトロールや施設点検により、河川施設の老朽箇所の早期発見に努めます。				
・改善した点 補修対象の施設や住民からの要望が増加していることから、施設の健全度や補修の優先度を的確に見極め、限りある予算と人員で効率的に対応することができました。				・課題 河川施設の老朽化による補修の優先度を見極め、効率的に補修を行う必要があります。				
・評価 揚水機場の防護柵の補修を実施し、施設の破損等に起因した転落事故を未然に防ぐことができました。				・取組内容 引き続き効率的な補修を行い、河川施設の適切な管理に努めます。				

河川環境の整備								
水路等浚渫事業		浸水被害防止のため、準用河川及び水路等に自然堆積する土砂等を浚渫・処分を行います。 (緊急浚渫促進事業) 令和8年度 浚渫工 680m3 令和9年度 浚渫工 400m3 令和10年度 浚渫工 360m3						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
河川課	10,803		22,743		6,597	56,453	44,900	11,553
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
河川や水路の土砂等を浚渫・処分をした体積(m3)	590	161	680	浚渫を行った河川や水路に起因した道路冠水件数(件)		-	-	-
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 新川承水路の土砂等の浚渫・処分に着手しました。				・現状 浸水被害防止のため、準用河川及び水路等に自然堆積する土砂等の浚渫・処分が必要です。				
・改善した点 浸水被害防止のため、自然堆積する土砂等の浚渫及・処分を実施しました。				・課題 降雨等で河川及び水路等に土砂が堆積するため、定期的な浚渫・処分が必要です。				
・評価 新川承水路の土砂等の浚渫・処分が完了しました。				・取組内容 浸水被害防止のため、新川承水路、八木川に自然堆積する土砂等の浚渫及・処分を実施します。				

河川環境の整備								
利根運河エコパーク関連事業		利根運河の水質改善や利用者の利便性向上のため、河川空間を整備します。 令和7年度 トイレ整備などの工事						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
河川課	42,000		101,237		13,194	0	0	0
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
事業に関する設計及び工事件数(件)	1	2	-	工事の進捗率(%)		15	100	-
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 トイレ整備工事の発注を行いました。				・現状 令和7年度で事業は終了しました。				
・改善した点 利根運河の管理者である国土交通省江戸川河川事務所と適宜協議を進めました。				・課題 令和7年度で事業は終了しました。				
・評価 飛び石、トイレ整備工事が完了しました。				・取組内容 令和7年度で事業は終了しました。				

主管部局 上下水道局 施策の目的 安全な水道水を安定的に供給するとともに、衛生的な下水道サービスを提供する



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R5実績	R6実績	R7実績	単位	目指す方向
安全で良質な水道水が安定的に供給されていると思う市民の割合	「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「普通」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	96.0	93.7	95.7	%	
公共下水道普及率	処理区域内人口 ÷ 行政区域内人口 × 100（下水道建設課）	93.70	94.30	95.01	%	

令和7年度の取組と改善点・評価	令和8年度の現状・課題・取組
<p>・取組内容 水道事業では、おおたかの森浄水場新設配水池築造工事が完了したほか、令和8年度の完成に向け、中央監視システム更新工事に着手しました。下水道事業では、公共下水道を約15ha整備しました。また、流山市下水道料金の改定案を下水道事業運営審議会に諮問しました。</p> <p>・改善した点 水道事業では、老朽化が進む各浄水場の整備を計画的に実施するため、予算編成を行いました。下水道事業では、大規模災害に備え、ストックマネジメント計画に基づき、既設管路の改築工事を行いました。また、下水道事業の経営状況の悪化に対応するため、適正な下水道使用料への改定に取り組みました。</p> <p>・評価 水道事業では、おおたかの森浄水場に配水池を増設したことにより、より安定的な水の供給が可能になりました。下水道事業では、既成市街地の公共下水道整備が概成し、良質な住環境の促進に寄与することができました。</p>	<p>・現状 水道事業では、各浄水場や上下水道局舎の老朽化が進んでいます。下水道事業では、既成市街地の公共下水道の概成が達成され、今後は既設下水道管の更新工事をメインに行っていくこととなります。また、流域下水道維持管理負担金の単価改定や物価上昇により、経営状況が悪化が見込まれています。</p> <p>・課題 水道事業では、老朽化が進む各浄水場等の整備を計画的に実施する必要があります。下水道事業では、管路の老朽化による事故を防ぐため、既設下水道管路の適切な維持管理を行う予定です。また、経営状況の悪化に対応するため、適正な下水道使用料への改定が必要です。</p> <p>・取組内容 令和8年度は、水道事業では中央監視システム及び西平井浄水場の更新工事や、上下水道局舎の外壁改修を行っていきます。下水道事業では、7年度に引き続き若葉台団地汚水管改築工事を行うほか、令和9年4月からの使用料改定に向けてパブリックコメントの実施や条例改正を行う予定です。</p>

安全な水道水の安定供給

TX沿線の土地区画整理事業に係る配水管拡張事業を実施します。							
T X 沿線整備地区配水管拡張事業							
担当課	R7当初予算	R7決算見込	R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源	
水道工務課	131,940	185,284	7,257	176,885	129,500	47,385	
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標	R6実績	R7実績	R8目標
配水管布設延長(m)	1,971.2	1,964.4	3,292.8	整備率(%)	49.5	52.0	56.1
令和7年度の取組と改善点・評価	令和8年度の現状・課題・取組						
<p>・取組内容 令和6年度の繰越工事と併せて、令和7年度はL=1964.4mの工事を行いました。</p> <p>・改善した点 土地区画整理事業施行区域内の造成工事の進捗に合わせながら、整備率の向上に努めました。</p> <p>・評価 令和7年度末の整備率が52.0%になりました。</p>	<p>・現状 令和7年度末の整備率は52.0%です。</p> <p>・課題 土地区画整理事業者の造成工事に併せて水道を施工するため、造成工事の進捗状況により、水道整備に影響を受けます。</p> <p>・取組内容 令和7年度の繰越工事と併せて、令和8年度はL=3292.8mの工事を行う予定です。</p>						

安全な水道水の安定供給

配水管の耐用年数を50年と設定し、総延長約700kmある配水管を毎年2%ずつ更新し、耐震化率100%にすることを目標としています。							
老朽配水管等耐震化事業							
担当課	R7当初予算	R7決算見込	R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源	
水道工務課	468,578	353,282	7,257	473,979	0	473,979	
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標	R6実績	R7実績	R8目標
整備延長(m)	1,713.0	2,617.2	2,514.2	耐震管適合率(%)	64	65	67
				漏水発生件数(件)	343	364	300
令和7年度の取組と改善点・評価	令和8年度の現状・課題・取組						
<p>・取組内容 令和6年度の繰越工事と併せて、令和7年度はL=2617.2mの老朽管改良工事を行いました。</p> <p>・改善した点 管路更新計画に基づき、効果的な耐震性の向上に努めました。</p> <p>・評価 令和7年度末の耐震化率が65.0%になりました。</p>	<p>・現状 令和7年度末の耐震性のある配水管の延長は、約465.4kmです。</p> <p>・課題 管路更新計画に基づき、事業の進捗に努めます。関係機関協議等に時間を要することがあります。</p> <p>・取組内容 令和8年度は、L=2514.2mの工事を行う予定です。</p>						

安全な水道水の安定供給

主要配水管等耐震化事業		安全な水の安定供給のために、約50kmある主要配水管等を計画的に更新し、令和11年度までに耐震化率100%にすることを目標にしています。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
水道工務課	362,868		243,012		7,257	302,731	0	302,731
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
整備延長(m)	1,072.1	717.8	519.0	耐震化適合率(%)		57.9	59.7	60.3
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 令和6年度の繰越と併せて令和7年度は、L=717.8mの主要管改良工事を行いました。				・現状 令和7年度末の耐震性のある主要配水管等の延長は、約30kmです。				
・改善した点 管路更新計画に基づき、効果的な耐震性の向上に努めました。				・課題 管路更新計画に基づき、事業の進捗に努めます。関係機関協議等に時間を要することがあります。				
・評価 令和7年度末の耐震化率は59.7%になりました。				・取組内容 令和8年度は、L=519mの主要管改良工事を行う予定です。				

安全な水道水の安定供給

上下水道料金徴収等業務委託事業		水道料金及び下水道使用料の徴収に係る水道メーターの検針から料金の収納に至る一連の業務を、包括的に民間事業者へ委託し、効率的な上下水道事業の経営に努めます。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
経營業務課	168,168		171,699		7,917	182,292	0	182,292
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
給水契約件数(件)	91,146	92,935	94,700	不納欠損処理件数:水道料金(件)		168	246	230
下水道契約件数(件)	84,355	85,875	87,400	不納欠損処理件数:下水道使用料(件)		174	231	220
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 滞納者への早期の段階での架電、臨戸訪問、呼出等による納付交渉を増加させることにより、退去未納を事前に防止し、更なる収納率の向上に努めました。				・現状 人口の増加や公共下水道の供用開始区域の拡大により、水栓契約件数や下水道使用者が増加しています。				
・改善した点 市外転居滞納者への督促、催促を行っていますが、収納までに至る件数は少なく、また、住民基本台帳に登録がない者の無断転出が増加しており、転居先の確認について困難を極めているため、引き続き、早期に滞納者への対応をし、退去未納を事前に防止する取組を行いました。				・課題 引き続き、市外転居滞納者への督促・催促を行っていますが、収納までに至る件数は少なく、また、住民基本台帳に登録がない者の無断転出が増加しており、転居先の確認が困難を極めています。				
・評価 滞納者への取組及びスマ決済サービスの浸透により、不能欠損処理件数は減少しました。				・取組内容 滞納者への早期の段階での架電、臨戸訪問、呼出等による納付交渉を増加させることにより、退去未納を事前に防止し、更なる収納率の向上に努めます。				

安全な水道水の安定供給

浄水場更新事業		令和7年度までにおおたかの森浄水場に新たに配水池を1池建設します。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
水道工務課	562,870		554,020		13,194	0	0	0
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
おおたかの森浄水場配水池有効容量(m3)	10,500	21,000	-	配水池築造工事進捗率(%)		53.4	100	-
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 令和7年度に配水池が完成しました。				・現状 令和7年度で事業は終了しました。				
・改善した点 事故等を起こすことなく事業を完了しました。				・課題 令和7年度で事業は終了しました。				
・評価 工事が完成し供用開始しました。				・取組内容 令和7年度で事業は終了しました。				

安全な水道水の安定供給

浄水場中央監視システム更新事業		おおたかの森浄水場の中央監視システムを更新します。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源	
水道工務課	160,261		0		13,194	927,709	649,300	278,409	
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標			R6実績	R7実績	R8目標
中央監視システム更新工事進捗率(%)	-	30	100	安全で良質な水道水が安定的に供給されていると思う市民の割合(%)			94	96	96
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組					
・取組内容 中央監視システム更新工事に着手しました。				・現状 昨年度から引き続き工事を推進します。					
・改善した点 既設システムの運転に配慮した施工計画を作成しました。				・課題 システム切り替え時に事故等が発生しないよう留意する必要があります。					
・評価 電気盤製作に着手しました。				・取組内容 令和8年度の完成に向けて工事を推進します。					

計画的な下水道事業の推進

地区内汚水整備事業		運動公園周辺地区一体型特定土地区画整理事業の造成計画の進捗状況に合わせ、汚水管を整備します。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源	
下水道建設課	92,000		209,330		13,929	387,000	387,000	0	
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標			R6実績	R7実績	R8目標
各年度の整備面積(ha)	0.09	2.13	44.41	下水道(汚水)整備率(%)			82.9	83.2	90.3
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組					
・取組内容 土地区画整理事業施行者の千葉県と年度協定を締結し、造成計画に応じた整備展開を図りました。				・現状 土地区画整理事業区域内での関係地権者等の調整があり、予定通り進みません。					
・改善した点 土地区画整理事業施行区域内の造成工事に併せて下水道(汚水)を施工するため、造成工事の進捗状況により、汚水管整備に影響を受けるので、千葉県との調整を行いました。				・課題 土地区画整理事業施行区域内の造成工事に併せて下水道(汚水)を施工するため、造成工事の進捗状況により、大きく影響を受けます。					
・評価 前年度からの繰越事業により、今年度の工事は予定の半分以下でした。				・取組内容 土地区画整理事業施行者の千葉県と連絡調整を密に行い、造成計画に応じた整備展開を図っていきます。					

計画的な下水道事業の推進

江戸川左岸流域関連公共下水道整備事業		既成市街地における良好な生活環境を提供するため、下水道を整備します。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源	
下水道建設課	733,626		423,332		19,791	945,862	402,000	543,862	
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標			R6実績	R7実績	R8目標
各年度の整備面積(ha)	13.72	9.92	1.33	公共下水道普及率(%)			94.29	95.01	96.00
各年度の整備延長(m)	3,074	2,069	705	公共下水道水洗化率(%)			94.16	93.86	95.50
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組					
・取組内容 令和7年度の公共下水道整備は、延長2,069mで面積9.92haを行いました。				・現状 業務の効率化を図り、公共下水道の整備を推進していきます。令和8年度工事を執行計画に沿って発注し、年度内完成を目指します。					
・改善した点 関係機関(ガス等)の調整に不測の日数を要したため、関係機関と再度調整を行った結果、繰越工事を順調に進めることができました。				・課題 令和7年度の繰越工事を早急に完成させる必要があります。					
・評価 令和7年度の公共下水道整備は、延長2,069mで面積9.92haを行いました。				・取組内容 令和8年度の公共下水道整備は、延長705mで面積1.33haを行います。					

計画的な下水道事業の推進

手賀沼流域関連公共下水道整備事業		既成市街地における良好な生活環境を提供するため、下水道を整備します。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
下水道建設課	247,797		57,244		6,597	207,090	200,000	7,090
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
各年度の整備面積(ha)	15.04	2.90	0.01	公共下水道普及率(%)		94.29	95.01	96.00
各年度の整備延長(m)	3,975	692	342	公共下水道水洗化率(%)		94.16	93.86	95.50
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 前年度以前に整備した舗装工事を行います。				・現状 業務の効率化を図り、公共下水道の整備を推進していきます。令和8年度工事を執行計画に沿って発注し、年度内完成を目指します。				
・改善した点 関係機関(ガス等)の調整に不測の日数を要したため、関係機関と再度調整を行った結果、繰越工事を順調に進めることができました。				・課題 中東情勢に伴う物価高騰等により、資材等の調達が困難となる恐れがあります。				
・評価 令和7年度は、舗装工事と公共下水道整備として、延長692mで面積2.9haを行いました。				・取組内容 令和8年度の公共下水道整備は、延長342mで面積0.01haを行います。				

計画的な下水道事業の推進

浄化槽設置事業		浄化槽計画区域において、単独処理浄化槽及び汲み取り便所から合併処理浄化槽へ転換します。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
下水道建設課	97,308		77,422		6,597	85,827	56,442	29,385
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
合併処理浄化槽の転換基数(基)	46	51	50	利根運河地区の普及率(%)		47.6	57.3	73.4
合併処理浄化槽の設置残数(基)	620	569	519					
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 令和7年度の単独処理浄化槽及び汲み取り便所から合併処理浄化槽へ転換基数は、51基を行いました。				・現状 汚水適正処理構想による浄化槽計画区域において、単独処理浄化槽等が約650基存在します。これらを合併処理浄化槽に転換する公共用水域の水質改善が急務となっています。				
・改善した点 国、県、市の補助金を受け、転換工事を行うものですが、個人負担が50～60万円の相場であり、転換工事が進まない状況から最大30万円を上乗せ補助することにより、転換基数の促進を図りました。				・課題 国、県、市の補助金を受け、転換工事を行うものですが、個人負担が50～60万円の相場であり、転換工事が進まない状況です。				
・評価 令和7年度の単独処理浄化槽及び汲み取り便所から合併処理浄化槽へ転換基数は、51基を行いました。				・取組内容 「利根運河等水質改善モデル事業(流山市浄化槽整備促進計画)」として最大30万円を上乗せ補助し、転換工事の加速化を図り、年間転換基数50基を行います。				

計画的な下水道事業の推進

ストックマネジメント事業		下水道管路施設の計画的な維持管理、改築・更新を進めます。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
下水道建設課	448,738		242,604		8,614	283,400	242,000	41,400
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
点検延長(km)	5.2	11.5	-					
改築延長(km)	0.2	1.2	0.3					
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 平和台団地等の管路点検及びカメラ調査を11.5km行いました。				・現状 公共下水道の管路総延長は、約600kmとなっています。50年以上経過した下水道管路は、旧コミュニティプラント地区となっています。				
・改善した点 老朽化した管路が年々増加傾向にあり、計画的な調査・点検を行いました。				・課題 老朽化した管路が年々増加傾向にあります。				
・評価 令和7年度は、平和台団地・駒木台団地・四季野団地の管路点検及びカメラ調査を11.5km行いました。				・取組内容 若葉台団地の改築工事を0.3km行います。				

主管部局 まちづくり推進部 施策の目的 交通ネットワークの充実と利便性の向上を図る



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R5実績	R6実績	R7実績	単位	目指す方向
公共交通に満足している市民の割合	「満足である」、「どちらかといえば満足」、「普通」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	81.0	79.7	82.8	%	
市内鉄道駅の1日当たりの乗客数	市内各鉄道会社 数値は2022（R4）年度、2023（R5）年度、2024（R6）年度	171,694	184,851	191,603	人	
流山グリーンバスの1日平均利用者数	まちづくり推進課	2,643	2,490	2,544	人	

令和7年度の取組と改善点・評価	令和8年度の現状・課題・取組
<p>・取組内容 つくばエクスプレス東京駅延伸については、沿線都県に対し期成同盟会への参加を働きかけ、期成同盟会の組織力強化と機運上昇を図るとともに、関係機関との意見交換や要望活動を行いました。初石駅施設整備については、東武鉄道と工程管理を共有し計画的な工事進捗を図り、自由通路及び橋上駅舎を完成させました。流山グリーンバスについては、利用者増加に向けた新たな取り組みとして、市民まつりへの出展や車内ぬいぐるみ展示等を行いました。</p> <p>・改善した点 つくばエクスプレス東京駅延伸については、期成同盟会の組織力を強化し機運を高めるため、千葉県に対し期成同盟会への参加を積極的に働きかけました。初石駅施設整備については、自由通路及び橋上駅舎の完成に遅れが生じないよう、東武鉄道と綿密な工程管理を行いました。流山グリーンバスについては、新たな取り組みとして市内イベントへの出展や記念行事を行い、利用促進を図りました。</p> <p>・評価 つくばエクスプレス東京駅延伸については、千葉県が期成同盟会に参加したことに加え、市議会議員等が顧問に就任し、延伸実現に向けた機運が高まりました。初石駅施設整備については、自由通路及び橋上駅舎を工期内に完成させ、予定通り供用を開始しました。流山グリーンバスについては、減便による収入減少がありながらも利用者数は増加し、全ルートにおいて運行継続基準を維持することができました。</p>	<p>・現状 つくばエクスプレス東京駅延伸については、期成同盟会の組織力強化と機運上昇を図るとともに、早期実現に向けた積極的な要望活動を行っています。地域公共交通活性化については、公共交通検討地域である八木南団地地区において、新たな移動手段である「乗合タクシー」の実証実験の準備を進めています。流山グリーンバスについては、全ルートにおいて運行継続基準を維持するため、利用者増加に向けた取り組みや待合環境の改善策を検討しています。</p> <p>・課題 つくばエクスプレス東京駅延伸については、期成同盟会の組織力強化と機運を高めるために国や東京都等の協力が欠かせないことから、積極的な働きかけが必要です。地域公共交通活性化については、「乗合タクシー」を地域に定着させるための効果的な実証実験と環境づくりが必要です。流山グリーンバスについては、運行経費の上昇に対応するため、利用者増加などの安定した収入確保策が必要です。</p> <p>・取組内容 つくばエクスプレス東京駅延伸については、引き続き沿線都県に期成同盟会への参加を働きかけ組織力強化と機運上昇を図るとともに、国や東京都に積極的な要望活動を行います。地域公共交通活性化については、八木南団地地区における「乗合タクシー」の実証実験が効果的なものとなるよう、利用者アンケートによる課題の抽出と分析を行います。流山グリーンバスについては、毎月の収支率を注視し、運行継続基準を満たすような需要確保策の検討を行います。</p>

広域交通ネットワークの充実

TX 東京駅延伸促進事業		つくばエクスプレスの車両編成8両化・東京駅延伸の早期実現・通学定期乗車券の運賃引下げについて、鉄道事業者等へ要望します。						
担当課	R7当初予算	R7決算見込			R7職員給与と費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
まちづくり推進課	0	0			1,980	0	0	0
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標	R6実績	R7実績	R8目標	
TX沿線都市での会議等の開催回数(回)	5	7	5	便利だと感じている駅利用者の割合(%)	71.7	78.0	79.0	
				つくばエクスプレス線の駅の1日平均乗車人員(人)(数値は、R5年度、R6年度)	383,000	403,000	-	
令和7年度の取組と改善点・評価	令和8年度の現状・課題・取組							
<p>・取組内容 つくばエクスプレス沿線自治体で構成された期成同盟会では、沿線都県等に対し東京駅延伸の実現に向けた期成同盟会への参加を働きかけ、組織力強化と機運上昇を図るとともに、東京都に対し要望活動を行いました。TX沿線都市連絡協議会では、首都圏新都市鉄道株式会社に対し、混雑緩和対策として車両編成8両化の早期実現を要望しました。</p> <p>・改善した点 つくばエクスプレス東京駅延伸の実現に向け、期成同盟会の組織力強化と機運醸成を図るため、沿線都県等に対し期成同盟会への積極的な参加を求めました。</p> <p>・評価 首都圏新都市鉄道は、東京駅延伸の効果検証を進めるため、有識者等で構成された調査勉強会を実施しました。これまでの要望活動により、車両8両化に向けたホーム拡張工事が進められているほか、通学定期乗車運賃引下げが実現しました。</p>	<p>・現状 期成同盟会では、沿線都県等に対し期成同盟会への参加を継続的に働きかけるとともに、国の要望活動に向けた決起集会等を行い、組織力強化と機運醸成を図っています。</p> <p>・課題 つくばエクスプレス東京駅延伸の実現に向けては、国や東京都等の協力と連携が必要不可欠です。</p> <p>・取組内容 引き続き、沿線都県等に対し期成同盟会への参加を働きかけ、期成同盟会の組織力強化と機運上昇を図るとともに、期成同盟会一丸となり関係機関との意見交換や活発な要望活動等を行います。</p>							

広域交通ネットワークの充実

初石駅施設整備事業		東武野田線初石駅の利便性を向上させるため、自由通路及び橋上駅舎並びに駅前広場の整備を行います。						
担当課	R7当初予算	R7決算見込			R7職員給与と費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
まちづくり推進課	997,200	837,065			5,278	2,706	0	2,706
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標	R6実績	R7実績	R8目標	
事業進捗率(事業費ベース:%) 自由通路及び橋上駅舎	47.7	100	-	便利だと感じている駅利用者の割合(%)	71.7	78.0	79.0	
事業進捗率(事業費ベース:%) 東口駅前広場及び歩道	-	59	100	初石駅の1日平均乗降人員(人) (数値はR5年度、R6年度)	18,482	19,249	-	
令和7年度の取組と改善点・評価	令和8年度の現状・課題・取組							
<p>・取組内容 初石駅の自由通路及び橋上駅舎整備では、東武鉄道株式会社と工程管理を共有し、計画的な工事進捗を図りました。初石駅東口駅前広場では、自由通路整備との綿密な工程調整を行い円滑に工事を進めました。</p> <p>・改善した点 自由通路及び橋上駅舎を施行する東武鉄道株式会社と、東口駅前広場を施工する業者による合同工程調整会を行うことにより、計画的に工事を進捗させました。</p> <p>・評価 初石駅の自由通路及び橋上駅舎を、予定通り完成させました。東口駅前広場は、駅利用に支障のない範囲を先行的に完成させました。</p>	<p>・現状 東口駅前広場の工事を継続しているほか、歩道新設工事の準備を進めています。</p> <p>・課題 駅利用者等の利便性と安全性を向上させるため、早期の工事完成が必要です。</p> <p>・取組内容 安全かつ早期の工事完成に向け、徹底した工程管理を行います。</p>							

広域交通ネットワークの充実

鉄道設備整備補助事業		流鉄の踏切設備等の老朽化が進んでいることから、流鉄による設備投資を推進し、安全に運行できる環境を整えるため、流山市鉄道安全輸送設備事業補助金を支出し支援します。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
まちづくり推進課	2,452		2,452		660	12,023	0	12,023
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
鉄道設備更新率(%)	50.0	56.3	87.6	便利だと感じている駅利用者の割合(%)		71.7	78.0	79.0
累計								
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 流鉄の修繕・更新計画に基づき、計画的に補助金を支出しました。				・現状 鉄道施設の老朽化が進んでいます。				
・改善した点 鉄道設備の更新工事等に対する補助金の検討を、松戸市に要望しました。				・課題 鉄道設備の更新工事等について、松戸市も含めた支援が必要です。				
・評価 踏切遮断機の更新工事が一部完了し、輸送安全性が向上しました。				・取組内容 流鉄の修繕・更新計画に基づき、計画的かつ継続的な補助金の支出に努めます。				

地域公共交通ネットワークの充実

グリーンバス運行事業		鉄道を主軸とした流山市の公共交通体系に対応するため、駅と周辺住宅地を結ぶコミュニティバスを運行します。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
まちづくり推進課	77,533		435		3,299	84,278	0	84,278
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
利用促進啓発活動回数(お散歩マップ・自治会回覧など)(回)	-	3	2	流山グリーンバスの年間利用者数(人)		906,655	926,233	946,234
				収支率全ルート平均(%)		64.8	63.5	68.8
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 利用者増加に向けた新たな取り組みとして、市民まつりへの出展や車内ぬりえ展示のほか、20周年記念イベントとして運賃無料デーを実施しました。				・現状 運行継続に向け収支率を注視するとともに、需要確保策の検討に努めています。				
・改善した点 利用者増加に向けたソフト面での需要確保策を検討・実施しました。				・課題 運行経費の上昇に対応する安定的な収入を確保するため、需要確保策の検討が必要です。				
・評価 減便による運賃収入の減少がありながらも利用者数は増加し、全6ルートにおいて運行継続基準である収支率50%以上を維持することができました。				・取組内容 毎月の収支率を注視し、運行継続基準を満たすような需要確保策を検討します。				

地域公共交通ネットワークの充実

地域公共交通活性化事業		地域にとって望ましい公共交通網の姿を明らかにするとともに、持続可能な公共交通網を形成するため地域公共交通計画を策定し、市内公共交通を持続可能な交通体系へと発展させていきます。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
まちづくり推進課	14,567		4,620		10,556	17,857	0	17,857
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
地域公共交通活性化協議会の開催回数(回)	8	9	8	公共交通に満足している市民の割合(%)		79.7	82.8	83.0
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 マタニティタクシー利用助成制度、高齢者免許返納一時金制度を継続しました。乗合タクシー導入に向け、地域公共交通活性化協議会において実証実験の協議を進めました。グリーンスローモビリティ導入に向けた地域住民との協議を進めました。				・現状 マタニティタクシー利用助成制度、高齢者免許返納一時金制度を継続しています。乗合タクシーの実証実験及びグリーンスローモビリティの試験運行実施に向け、準備を進めています。				
・改善した点 公共交通検討地域への新たな移動手段の導入について、活性化協議会での協議を重ね実現へ前進させました。				・課題 各制度の分かりやすいリーフレットの作成等、制度対象者に合わせた環境づくりが必要です。公共交通検討地域を中心に、新たな移動手段の検討が必要です。				
・評価 マタニティタクシー利用助成制度及び高齢者免許返納一時金制度により、妊産婦及び高齢者の移動に関する負担軽減と公共交通の利用促進に努めました。乗合タクシーについて、地域公共交通活性化協議会において実証実験の開始が可決されました。グリーンスローモビリティについて、地域住民と市協働による試験運行実施の方針が決定しました。				・取組内容 マタニティタクシー利用助成制度、高齢者免許返納一時金制度を継続します。乗合タクシー実証実験を開始するとともに、本格導入に向けた課題を抽出・分析し、効果的な実証実験となるよう努めます。グリーンスローモビリティの試験運行により、本格導入に向けた課題を地域と共有し検討を進めます。				

地域公共交通ネットワークの充実

自転車ネットワーク整備事業		自転車ネットワーク計画に基づき、公共施設及び鉄道駅等を結ぶ都市計画道路を中心に自転車通行空間整備を行い、自転車及び歩行者の安全性、快適性、利便性の向上を図ります。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
まちづくり推進課	0		5,522		1,320	26,750	13,375	13,375
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
				整備率(%) = 市施工済延長(m) ÷ 市施工延長(m) × 100		23.6	24.3	39.2
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
<p>・取組内容</p> <p>自転車ネットワーク計画に基づく、自転車通行空間の整備を0.6km行いました。</p>				<p>・現状</p> <p>自転車ネットワーク計画に基づき、市が整備する延長全67.4kmのうち16.4kmの自転車通行空間を整備しました。</p>				
<p>・改善した点</p> <p>現地の交通状況や路面状況、並びに周辺環境など、十分な把握に努めました。</p>				<p>・課題</p> <p>現地の交通状況や路面状況、並びに周辺環境など、十分な調査が必要です。令和11年度の完了に向け、計画的に整備を進める必要があります。</p>				
<p>・評価</p> <p>矢羽根マークについて、景観保全の観点から色彩を抑えたものを設置しました。</p>				<p>・取組内容</p> <p>自転車ネットワーク計画に基づき、自転車通行空間の整備を計画的に進めます。</p>				

地域公共交通ネットワークの充実

シェアサイクル事業		シェアサイクルを活用し、まちの活性化および移動に関する利便性や回遊性を向上させる。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
まちづくり推進課	0		0		660	0	0	0
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
市内公共施設(用地)におけるサイクルステーションの設置箇所数	-	20	30					
市内公共施設(用地)におけるシェアサイクル駐車可能台数(台)	-	107	137					
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
<p>・取組内容</p> <p>市が用意した公共用地の一部を民間事業者がサイクルステーションとして活用し、シェアサイクルを導入しました。</p>				<p>・現状</p> <p>駅前のサイクルステーションを中心に、シェアサイクル利用者は増加しています。</p>				
<p>・改善した点</p> <p>シェアサイクルの導入により、市民の利便性が向上しました。</p>				<p>・課題</p> <p>公共施設を利用する一般自転車の駐輪スペースが限られており、サイクルステーションとして公共用地を確保することが困難な場所もあります。</p>				
<p>・評価</p> <p>東部地区や南部地区、駅前を中心にサイクルステーションが設置され、公共交通を補完する新たな移動手段が導入されました。</p>				<p>・取組内容</p> <p>中部地区や北部地区など設置範囲の拡大に加え、既存サイクルステーションにおける設置台数の増加等を目指し、事業者との協議を積極的に進めます。</p>				

主管部局 まちづくり推進部 施策の目的 多様な世代・世帯が安心して住み続けられる住まいを確保する



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R5実績	R6実績	R7実績	単位	目指す方向
住宅の耐震化率	耐震改修促進計画（建築住宅課） 1 R2より国の耐震化率の算定に合わせ、棟単位から戸数単位に変更し、算出した数値	93.2(1)	93.2(1)	95.4(1)	%	
住宅の空き家率	住宅総数のうち、一時居住用や販売用を除いた「その他の住宅」の占める割合（総務省「住宅・土地統計調査」） 1: 2018(H30)年度 2: 2023(R5)年度	3.2(1)	2.7(2)	2.7(2)	%	

令和7年度の取組と改善点・評価	令和8年度の現状・課題・取組
<p>・取組内容 市民の安心で快適な生活環境の保全を図るため、一般社団法人千葉県宅地建物取引業協会東葛支部と空き家等の有効活用及び適正管理の推進等に関する協定を締結しました。また、生活環境に深刻な影響が懸念される管理不十分な空き家の改善を図るため、所有者等を特定し助言・指導に努めました。さらに、流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、市営住宅の整備を行い、建物の長寿命化によるライフサイクルコスト(LCC)の縮減を図りました。</p> <p>・改善した点 流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、改善工事等を計画的に行い、建物の耐久性・安全性の向上と長寿命化を図りました。</p> <p>・評価 流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、改善工事等を計画的に行うことができました。</p>	<p>・現状 流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、適切な時期に予防保全的な修繕及び耐久性の向上を図る改善等を実施することで、建物の長寿命化が図られ、良好なストックを長期にわたり確保しています。</p> <p>・課題 適切な時期に修繕及び改善等を実施するためにも、建物等の点検を随時実施し、点検結果等に合わせ、流山市公営住宅等長寿命化計画の見直しを随時行います。空き家対策については市民や空家所有者等に対し、継続的に空き家問題の意識啓発が必要になります。</p> <p>・取組内容 流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、市営住宅の整備を行います。また、市内の管理不全空家等の解消にも努め、地域住民が安心して住み続けられる環境の確保に努めます。</p>

住生活の安定と向上

市営住宅整備事業	安全で快適な市営住宅を長期間にわたって確保するため、流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき適切に改修や改善を行い、長寿命化によるライフサイクルコスト(LCC)の縮減を図ります。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
建築住宅課	29,202		13,613		2,639	36,663	25,963	10,700
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
市営住宅管理戸数(戸)	445	445	445					

令和7年度の取組と改善点・評価	令和8年度の現状・課題・取組
<p>・取組内容 流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、市営住宅の整備を行いました。</p> <p>・改善した点 流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、改善工事等を計画的に行うことができました。</p> <p>・評価 計画的に改善工事を行うことで、建築物の耐久性・安全性の向上と建物の長寿命化が図られ、良好なストックを長期にわたり確保しました。</p>	<p>・現状 流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、適切な時期に予防保全的な修繕及び耐久性の向上を図る改善等を実施することで、建物の長寿命化が図られ、良好なストックを長期にわたり確保しています。</p> <p>・課題 市営住宅の状況等に合わせ、流山市公営住宅等長寿命化計画の見直しを随時行います。</p> <p>・取組内容 流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、市営住宅の整備を行います。</p>

空き家対策の推進

空き家対策事業	適正に管理されていない空家の解消を推進するため、法律や条例に基づき、所有者に対し指導・助言・勧告などの必要な措置を講じるとともに、空家対策を効果的に行うため、住生活基本計画及び空家等対策計画を策定し、計画に沿って取り組みを進めます。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
建築住宅課	0		0		1,980	0	0	0
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
空き家問題に関する通報件数(件)	101	131	130	空き家に対する改善指導件数(件)		74	94	70

令和7年度の取組と改善点・評価	令和8年度の現状・課題・取組
<p>・取組内容 市内の管理不全の空家等の解消に努め、市民や空家所有者の空家問題に対する意識啓発を行いました。</p> <p>・改善した点 管理不全の空家等の判断の手引きを策定しました。また、市内における空き家等の発生抑制、流通促進及び管理不全の解消等を目的とした空き家等の有効活用及び適正管理の推進等に関する協定を、一般社団法人千葉県宅地建物取引業協会東葛支部と締結しました。</p> <p>・評価 情報提供があった131件の空家等に対し、現地調査を行うとともに、管理不全の空家等94件に改善指導し、53件改善されました。</p>	<p>・現状 空家等対策計画に沿って取組を進めています。</p> <p>・課題 管理不全の空家等の発生が増加しています。</p> <p>・取組内容 市内の管理不全の空家等の解消に努め、市民や空家所有者の空家問題に対する意識啓発を行い、管理不全の空家等の発生を抑制・予防します。</p>

主管部局 環境部 施策の目的 地球環境にやさしい、快適な生活環境をつくる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R5実績	R6実績	R7実績	単位	目指す方向
二酸化炭素排出量の基準年度比	<R4まで>平成19(2007)年度の排出量を100とした場合の指数 <R5以降>計画の改定に伴い基準年度を変更、平成25(2013)年度の排出量を100とした場合の指数 上段は民生家庭(2007:165 2013:215)、下段は民生業務。	91 105 (R3年度分)	96 118 (R4年度分)	102 117 (R5年度分)	-	
身近な生活環境について不満に感じている市民の割合	「どちらかといえば不満」「不満」と回答した市民の割合(ながれやままちづくり達成度アンケート H30年度のみ市民意識調査)	31.1	28.0	21.9	%	

令和7年度の取組と改善点・評価	令和8年度の現状・課題・取組
<p>・取組内容 ゼロカーボンシティを目指し、まずは市役所が市内最大級の事業者として脱炭素への強力な取り組みを実施して主体的役割を担ったほか、市民や事業者に向けた働きかけ、補助制度の利用など多様な手段で取り組みを後押ししました。ターゲットをしぼった周知や事務手続きのオンライン化など、負担軽減を目指しつつ、効果的な対策を実施しました。</p> <p>・改善した点 二酸化炭素排出量の削減のための取り組みにおける費用負担の軽減を図る必要があるため、導入後の結果として電力使用量の削減や機器運用の低下によるメリット等を織り交ぜた効果的な周知を行いました。また、生活環境保全のため、時勢に合わせた周知等を行いました。</p> <p>・評価 補助制度等の実績から市民や事業者の脱炭素化の取り組みに一定の効果があったと判断できる一方、補助制度によって実績に偏りが見られました。生活環境の保全は周知啓発を継続する必要があります。</p>	<p>・現状 令和7年度に環境省の交付金「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金」の重点対策加速化事業に採択されたことを受け、既存の補助制度に加えて住宅や事業者向けの太陽光発電設備や蓄電池ほか、様々な補助制度の強化を図っています。生活環境においては、広報ながれやま市公式LINEにより周知啓発を行っています。</p> <p>・課題 重点対策加速化事業は計画期間が最大5年間であり補助制度として時限的な措置のため、補助制度の実施により住宅や事業者の再エネ・省エネ設備の導入への呼び水として大きな効果を期待する一方、補助制度に頼らない脱炭素化を波及させる必要があります。生活環境においては、マナー向上を引き続き啓発する必要があります。</p> <p>・取組内容 住宅都市である本市の地域特性として住宅や事業者から排出される民生部門の二酸化炭素排出量削減が喫緊の課題であり、市民や事業者に向けた働きかけ、補助制度の利用など多様な手段で取り組みを後押しします。生活環境においては、繰り返し周知啓発を行いマナー向上を推進します。</p>

地球温暖化対策の推進

地球温暖化対策事業	地球温暖化対策実行計画に基づき、市民や市内事業者に対し、戸建て、集合住宅、事業所への太陽光発電設備等への補助事業、市民環境講座や緑のカーテンによる啓発等の事業を行います。また、令和7年度から窓の断熱改修に対する補助額を実質2倍とするなど、新たな制度運用の実施を通じ、地球温暖化対策に取組んでいます。								
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)		R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
環境政策課	35,126		28,092		19,791		35,358	15,010	20,348
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標			R6実績	R7実績	R8目標
地球温暖化対策省エネルギー設備補助金交付支給件数(件)	190	247	250	省エネルギー設備補助金による二酸化炭素の削減量(t-CO2)			315.0	301.7	363.5
令和7年度の取組と改善点・評価	令和8年度の現状・課題・取組								
<p>・取組内容 社会情勢に合った補助制度の運用を続けるほか、市民や事業者に対して省エネ・創エネ設備等の導入におけるメリットを効果的に働きかけ、市民や事業者と一体となった市全域での省エネ性能の向上に努めました。</p> <p>・改善した点 市民や事業者における地球温暖化対策の取り組みを後押しするために省エネ・再エネ設備の導入に対する幅広い補助制度を実施しました。</p> <p>・評価 市民環境講座や緑のカーテンを通じて高齢者から小学生に至るまで幅広い世代に地球温暖化対策の重要性を周知したほか、太陽光発電設備や断熱窓の導入をはじめとして、一定数の補助制度の利用実績がありました。</p>	<p>・現状 2050年度二酸化炭素排出実質ゼロを目指し、市全域で脱炭素の取り組みを推進するため、様々な補助制度のほか緑のカーテンの普及を進めています。</p> <p>・課題 市民や事業者に対して地球温暖化対策の取り組みの重要性に一定の理解を得られた一方、実行にあたっては社会情勢に影響を受けるコスト増の問題や優先度の問題もあり積極的な導入につなげていない状況です。</p> <p>・取組内容 社会情勢に合った補助制度の運用を続けるほか、市民や事業者に対して省エネ・創エネ設備等の導入におけるメリットを効果的に働きかけ、市民や事業者と一体となった市全域での省エネ性能の向上に努めます。</p>								

地球温暖化対策の推進

脱炭素重点対策事業	地域脱炭素移行・再エネ推進交付金を活用し、地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の達成に向け、創エネ、省エネを推進します。								
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)		R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
環境政策課	0		29,995		6,597		147,542	116,207	31,335
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標			R6実績	R7実績	R8目標
流山市地域脱炭素重点対策加速化事業費補助金の申請件数(件)	-	5	255	流山市地域脱炭素重点対策加速化事業費補助金によるCO2削減効果(t-co2)			-	94	393
令和7年度の取組と改善点・評価	令和8年度の現状・課題・取組								
<p>・取組内容 環境省に採択された計画を着実に実施できるよう規則協議や業者との調整、補助制度の開始にあたっては市民等へ幅広く周知を実施しました。</p> <p>・改善した点 環境省の採択を受け補助制度の設計を急ぎ対応しましたが、補助制度の実施が下期となったため、補助制度の周知や申請期間を十分に確保することができませんでした。</p> <p>・評価 既存の補助制度に加えて大きな補助額となるため、補助対象によって申請件数に偏りがあるものの脱炭素化に一定の効果がありました。</p>	<p>・現状 令和8年度より新たに対象となる補助事業について既存補助制度と合わせて円滑な執行に務められるよう補助制度の有用性の周知を進めます。</p> <p>・課題 計画期間が5年間であり時限的な補助制度であることや市民ニーズを把握しつつ実施が求められるため、制度設計や制度の周知にあたって迅速かつ正確な情報の発信が求められます。</p> <p>・取組内容 補助制度の周知を強力に進め円滑な執行を進めます。</p>								

生活環境の保全

路上喫煙の防止及びまちをきれいにする事業		路上喫煙等を防止し環境美化を推進するため、路上喫煙防止重点区域のパトロール、クリーンボランティアによる地域清掃を行います。					
担当課	R7当初予算	R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
環境政策課	9,823	6,818		0	10,895	336	10,559
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標	R6実績	R7実績	R8目標
路上喫煙等防止指導件数(件)	159	130	150	路上喫煙等防止過料件数(件)	114	24	80
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組			
<p>・取組内容</p> <p>南流山駅周辺の清掃回数を増やすなど、ポイ捨てされにくい場所となるような対策を実施しました。また、路上喫煙が多い市外の方への周知啓発を行う対策に取り組みました。</p>				<p>・現状</p> <p>重点区域内の路上喫煙およびポイ捨て、市内の歩行喫煙などが依然として発生していることから、これらを防止するため周知啓発等の強化が必要です。</p>			
<p>・改善した点</p> <p>南流山駅周辺における、路上喫煙の割合の多い市外の方に対する啓発看板の設置および駅前での周知活動を行うなど路上喫煙やポイ捨て防止に努めました。</p>				<p>・課題</p> <p>路上喫煙およびポイ捨ては、乗り換え駅である流山おおたかの森駅周辺、南流山駅周辺における発生が多い状況です。</p>			
<p>・評価</p> <p>指導員の欠員により、過料件数が減少したものの、指導および啓発による一定の抑止効果はありましたが、依然として路上喫煙やポイ捨てが発生しています。</p>				<p>・取組内容</p> <p>看板等の啓発物の設置や清掃など、路上喫煙やポイ捨てがされにくい環境づくりのための対策を実施します。また、関係各課や民間事業者等と協力し、周知啓発の強化等を行います。</p>			

主管部局 環境部 施策の目的 ごみの発生量を減らし、資源を有効に利用する循環型のまちをつくる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R5実績	R6実績	R7実績	単位	目指す方向
1人1日当たりのごみ発生量	ごみ処理量の推移（クリーンセンター） 値はそれぞれ前年度の数値を使用	770	742	720	g	
資源化率	資源化率の推移（クリーンセンター） 値はそれぞれ前年度の数値を使用	27.2	28.5	29.1	%	

令和7年度の取組と改善点・評価	令和8年度の現状・課題・取組
<p>・取組内容 粗大ごみオンライン受付について、広報ながれやま、市ホームページ等で市民に対し周知を図るとともに、事業者に対しては事業系一般廃棄物の減量・資源化および適正処理について啓発に努めました。ごみ焼却施設については、毎年実施する定期点検整備とともに、令和5年度から着工している基幹的設備改良工事を安全に実施しながら、適切な運転管理に努め、安定したごみ処理を確保しました。</p> <p>・改善した点 令和7年12月より開始した粗大ごみオンライン受付について、市民に対し広く周知を行い、利用率の向上に努めました。また、事業者に対し事業系一般廃棄物の減量等について啓発を行いました。ごみ焼却施設については、毎年実施する定期点検整備とともに、令和5年度から着工している基幹的設備改良工事を安全に実施しながら、適切な運転管理に努め、安定したごみ処理を確保しました。</p> <p>・評価 粗大ごみオンライン予約について広く周知を図ったことにより、多くの市民の利用を得ました。事業者に対して事業系一般廃棄物の減量等について啓発を行うことで事業系ごみの排出量削減に努めました。ごみ焼却施設については、毎年実施する定期点検整備とともに、令和5年度から着工している基幹的設備改良工事を安全に実施しながら、適切な運転管理に努め、安定したごみ処理を確保しました。</p>	<p>・現状 令和7年12月より開始した粗大ごみオンライン受付について、想定以上の申請がありました。電話予約のお問い合わせについても多くいただいています。また、食品ロスについても、削減に向けた取組が求められています。ごみ焼却施設については、毎年実施する定期点検整備と機器類の修繕整備を適正に行うことで、安全かつ安定したごみ処理を確保する必要があります。</p> <p>・課題 粗大ごみオンライン受付について、より多くの市民の利用を得るため周知を図る必要があります。また、食品ロス削減について、効果的な施策を検討するとともに市民等に対して広く周知を図る必要があります。廃棄物処理施設では、詳細な定期点検整備を行い安全かつ適正な修繕業務を実施する必要があります。</p> <p>・取組内容 粗大ごみオンライン予約について引き続き市ホームページ等で周知を図ります。また、食品ロス削減に向けて効果的な施策を検討するとともに啓発に努めます。廃棄物処理施設の運営は、適正な定期整備を実施し、安定的な施設稼働に努めます。</p>

ごみの減量化・資源化の推進

リサイクル推進事業	集団回収を実施するリサイクル団体の活動支援やポスターコンクールの開催及び各種講座等を開催します。また、生ごみ肥料処理器による生ごみの減量化及び再資源化を図るとともに、購入者に費用の一部を補助します。						
担当課	R7当初予算	R7決算見込		R7職員給与と費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
クリーンセンター	222,173	213,898		9,042	217,462	1,361	216,101
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標	R6実績	R7実績	R8目標
リサイクル団体登録数(団体)	252	250	253	集団回収量(t)	7,915	7,539	7,580
リサイクル講座(教室)開催数(回)	46	35	40	リサイクル講座(教室)の参加者数(人)	295	310	320
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組			
<p>・取組内容 「令和6年保存版流山市家庭ごみの正しい分け方・出し方パンフレット」等を活用し市民に対して資源化や集団回収について周知を図り、ごみの減量・資源化の促進を図りました。</p> <p>・改善した点 減量等推進員に向けて集団回収の説明などを行い、資源回収について啓発を図りました。</p> <p>・評価 ごみの発生量は減少傾向であり、また、資源化率は上昇傾向にあることから、市民に対する周知が図れました。ごみの減量・資源化の促進に努めました。</p>				<p>・現状 さらなるごみの減量・資源化の促進に努める必要があると捉えています。</p> <p>・課題 ごみの適正な分別について、より分かりやすい資料や説明が必要だと捉えています。</p> <p>・取組内容 リサイクル団体への報償金やポスターコンクール等を活用し、さらなるごみの減量・資源化及び食品ロス削減の啓発に努めます。</p>			

ごみの減量化・資源化の推進

ごみ収集事業	各家庭からごみ集積所に排出される一般廃棄物を衛生的に処理するため、ごみの収集を業務委託し、ごみを適正に処理することによって、市民一人一人が衛生的な中で生活が営むことができる環境づくりに努めます。						
担当課	R7当初予算	R7決算見込		R7職員給与と費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
クリーンセンター	322,781	319,960		9,042	323,074	312,836	10,238
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標	R6実績	R7実績	R8目標
				1人1日当たりのごみ発生量(g/1人・日) 実績値は前年度の数値を使用	742	720	716
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組			
<p>・取組内容 広報ながれやま、市ホームページ、自治会等回覧などの広報活動の他に、減量等推進員会議やごみ分別促進アプリ(さんあ〜)を活用し、周知に努めました。</p> <p>・改善した点 リチウムイオン電池等の火災の原因になるごみについて、広報などを活用し市民に周知することで、安心、安全なごみの分別の啓発に努めました。</p> <p>・評価 ごみの適正な分別について広報等を活用し市民に周知を行うことで、ごみの減量・資源化を図りました。</p>				<p>・現状 ごみの適正な分別について広報等を活用し市民に周知を行っていますが、未だに誤ったごみの出し方が散見されます。</p> <p>・課題 誤ったごみの出し方により資源化率の低下等に繋がると捉えています。</p> <p>・取組内容 ごみの正しい出し方について、減量等推進員会議やごみ分別促進アプリ(さんあ〜)などを活用し、市民に対し周知に努めます。</p>			

一般廃棄物の適正処理								
ごみ焼却施設整備事業	ごみ焼却施設の安全操業と適正な廃棄物処理を継続するため、設備の定期的な点検整備を実施します。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
クリーンセンター	370,000		454,355		10,630	636,000	110,000	526,000
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
修繕費用(千円)	69,698	94,356	10,000	機器類の不具合に伴う、施設の稼働停止件数(件)		0	0	0
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 ごみ焼却施設の定期点検整備及び修繕業務を適正に実施しました。				・現状 安全かつ安定したごみ焼却施設の運転管理を継続していくため、定期点検整備及び修繕業務を適正に実施します。				
・改善した点 令和5年度から着手している延命化整備と並行して定期点検整備を適正に実施しつつ、安定したごみ処理を継続していくため、基幹的設備改良工事と運転管理に係る調整を密に実施しました。				・課題 ごみ焼却施設の定期整備等の内容は、適正な施設の性能を維持するため、機器の状態や、関係法令に基づく整備の遵守等を働き、各設備を整備等を実施する必要があります。				
・評価 令和5年度から着手した基幹的設備改良工事を安全に実施しながら、安全かつ安定したごみ処理を実施することができました。				・取組内容 安全かつ安定したごみ焼却施設の運転管理を継続していくため、定期点検整備及び修繕業務を適正に実施します。				
一般廃棄物の適正処理								
廃棄物処理施設延命化事業	平成16年2月竣工のごみ焼却施設の延命化を図るため、令和2年度に策定した長寿命化総合計画に基づき、令和4年度から令和7年度までの4か年継続事業として、ごみ焼却施設の基幹的設備改良工事を実施します。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
クリーンセンター	2,225,575		2,802,718		19,791	0	0	0
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
ごみ焼却施設基幹的設備改良工事の進捗状況(%)	72.2	100	-	CO2排出量の削減率(%)		6.40	14.52	-
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 工事の安全対策に十分注意を払うとともに、定期点検整備や運転管理等に係る関係機関との調整を図り、円滑な工事進捗に努めました。				・現状 令和7年度で事業は終了しました。				
・改善した点 毎年実施している定期点検整備と並行して基幹的設備改良工事を円滑に実施しながら、安定したごみ処理を継続していくため、定期点検整備を運転管理に係る調整を密に図りました。				・課題 令和7年度で事業は終了しました。				
・評価 工事の進捗及び基幹的設備改良工事による効果として二酸化炭素排出量5%以上の削減とともに工程どおりに工事が完了しました。				・取組内容 令和7年度で事業は終了しました。				
一般廃棄物の適正処理								
一般廃棄物処理基本計画策定事業	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、一般廃棄物処理基本計画の見直しを行います。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
クリーンセンター	2,071		2,641		19,791	0	0	0
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
一般廃棄物処理基本計画策定業務の進捗状況(%)	73.3	100	-	流山市廃棄物対策審議会開催回数(回)		4	3	-
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 廃棄物の処理及び清掃に関する法律及びごみ処理基本計画策定指針に基づき、市民参加の手法を取り入れながら長期的・総合的視点に立った計画の策定に努めました。				・現状 令和7年度で事業は終了しました。				
・改善した点 人口増を踏まえ安定的なごみ処理を継続するため、ごみ減量・資源化を推進するまた、近年頻発する大規模な自然災害にて発生する災害廃棄物の処理について、計画を見直すにあたり地勢を鑑みながら策定しました。				・課題 令和7年度で事業は終了しました。				
・評価 廃棄物の処理及び清掃に関する法律及びごみ処理基本計画策定指針並びに市民参加の手法として流山市廃棄物対策審議会に意見を徴取しながら、長期的・総合的視点になった計画の策定に努めました。				・取組内容 令和7年度で事業は終了しました。				

一般廃棄物の適正処理								
森のまちエコセンター施設整備事業		森のまちエコセンターの施設の安定稼働を継続していくため、施設の定期点検整備を実施します。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
クリーンセンター	109,680		132,128		9,896	126,877	0	126,877
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
点検整備・修繕費用(千円)	125,647	126,738	96,000	機器類の不具合に伴う施設の稼働停止件数(件)		0	0	0
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 施設の安定稼働を継続していくため、定期点検整備及び修繕業務を適正に実施しました。また、森のまちエコセンターの経済的かつ合理的な施設整備に係る基礎調査を行いました。				・現状 森のまちエコセンターでは、市内で発生したし尿汚泥及び剪定枝等の廃棄物を適正に処理するため、定期点検整備及び修繕業務を適正に実施します。				
・改善した点 し尿処理施設及び剪定枝資源化施設の老朽化による設備・機器類の状況を見極め、適切な整備を実施しました。				・課題 開業から17年目を迎え、老朽化した設備・機器類においては突発的な故障が発生していることから計画的な設備の更新が必要となります。				
・評価 定期点検及び修繕業務を適正に実施したことで、安全かつ安定したし尿・浄化槽汚泥及び剪定枝の処理を実施することができました。				・取組内容 施設の安定稼働を継続していくため、定期点検整備及び修繕業務を適正に実施するとともに、今後の点検・整備のための基本設計を実施します。				
一般廃棄物の適正処理								
粗大ごみ予約オンライン化事業		粗大ごみの戸別収集予約をインターネットから可能にし、粗大ごみ処理手数料の納付方法に電子決済を導入することにより、市民の利便性向上を図ります。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
クリーンセンター	2,628		2,599		6,597	0	0	0
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
				オンライン申請件数(件)		-	2,063	-
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 広報ながれやまや、市ホームページ等で周知し、多くの市民の方が利用できるように努めました。				・現状 令和7年度で事業は終了しました。				
・改善した点 粗大ごみのオンライン予約の利用率を上げるため、広報等を活用し、市民に対して広く周知を行いました。				・課題 令和7年度で事業は終了しました。				
・評価 広報等を活用し市民に周知を行ったことにより、多くの粗大ごみのオンライン予約の申請を受付しました。				・取組内容 令和7年度で事業は終了しました。				

主管部局 経済振興部 施策の目的 消費者と働き手にとって魅力のある事業者や店舗を充実させる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R5実績	R6実績	R7実績	単位	目指す方向
小売吸引力指数	本市の人口1人当たり年間商品販売額÷千葉県全体の人口1人当たり年間商品販売額（総務省・経済産業省） 1 2021(R3)年経済センサス	0.661(1)	0.661(1)	0.661(1)	-	
1事業所当たりの製造品出荷額等	(総務省・経済産業省) 1 2021(R3)年経済センサス	670(1)	670(1)	670(1)	百万円	
法人市民税	普通会計決算カード（財政調整課）値はそれぞれ前年度の数値を使用	71,605	72,631	87,243	万円	

令和7年度の取組と改善点・評価	令和8年度の現状・課題・取組
<p>・取組内容 中小企業者の生産性向上等への支援や市民の利便性の向上、まちの活性化に資する事業所・店舗等の進出、雇用確保の機会が見込まれる事業所等の誘致活動、正規雇用を希望する方への就職・就労支援、事業者の景況感等の把握に取り組みました。また、中小企業人材確保支援事業を実施しました。</p> <p>・改善した点 事業者の景況感や抱えている課題の把握を図るため、市内1,500事業者への企業動向調査の実施や個別の事業者ヒアリング、商工会議所等関係機関との意見交換を通じて、事業者が真に必要なとし、かつ、行政支援が必要な施策が実施することができました。</p> <p>・評価 従来より実施している事業者の生産性向上や空き店舗解消等まちの活性化に資する支援、求職者に係る就職・就労への支援、新たな事業所等が市内へ立地する際の支援に加え、物価高騰下での消費の下支えとしてプレミアム付きデジタル商品券事業や求人情報の発信に係る補助事業を実施し、消費者や事業者に向けた支援の拡充を図りました。</p>	<p>・現状 物価高騰や生産年齢人口の減少に伴い、全国的にも事業活動の厳しさを増しています。人材の確保のためには、物価高の進行に見合った賃上げの実施が中小企業、小規模事業者にも求められています。金融機関が取り扱う融資の市中金利が上昇傾向にあります。求人求職バランスでは、求職者優位の状況にあり、特に従前から人手不足の傾向にあった職種については、一層求人倍率が高まっています。</p> <p>・課題 活動の継続に必要な人材の確保と育成の促進、賃上げの原資確保に向けた生産性の向上の促進、事業の継続と発展に必要な資金調達円滑化と負担軽減、求職者が就職に至るに有用な支援メニューの充実化、市民の利便性向上、まちの賑わいに資する新たな事業所（施設や店舗など）の進出の促進が課題となっています。</p> <p>・取組内容 近年、経済情勢の変化が著しいことから、国・県・他自治体の動向を注視するとともに、市内事業者の状況を把握するために「企業動向調査」の結果把握と事業者訪問の機会を増やします。こうした状況把握を基に既存事業の統廃合やアップデート、新規事業の創設等について検討します。また、就職就労支援に関する事業については、過去の参加者を対象としたアンケート結果を基にテーマ設定、内容について適宜アップデートします。</p>

魅力ある事業者の育成・誘致

空き店舗有効活用事業																									
<p>空き店舗の解消による賑わいの回復と創出をはかるため、生じてしまった空き店舗を活用する事業者に対し、改装工事費及び賃借料にかかる補助を行うものです。</p>																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>担当課</th> <th>R7当初予算</th> <th>R7決算見込</th> <th>R7職員給与費(目安)</th> <th>R8当初予算</th> <th>R8特定財源</th> <th>R8一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>商工振興課</td> <td>14,797</td> <td>14,478</td> <td>13,194</td> <td>20,842</td> <td>0</td> <td>20,842</td> </tr> </tbody> </table>	担当課	R7当初予算	R7決算見込	R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源	商工振興課	14,797	14,478	13,194	20,842	0	20,842											
担当課	R7当初予算	R7決算見込	R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源																			
商工振興課	14,797	14,478	13,194	20,842	0	20,842																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>主な活動指標</th> <th>R6実績</th> <th>R7実績</th> <th>R8目標(予定)</th> <th>主な成果指標</th> <th>R6実績</th> <th>R7実績</th> <th>R8目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談延件数(件)</td> <td>37</td> <td>32</td> <td>30</td> <td>補助金(家賃補助分)交付件数(件)</td> <td>16</td> <td>19</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>補助金(改装費補助分)交付件数(件)</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table>	主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標	R6実績	R7実績	R8目標	相談延件数(件)	37	32	30	補助金(家賃補助分)交付件数(件)	16	19	23					補助金(改装費補助分)交付件数(件)	4	4	7	
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標	R6実績	R7実績	R8目標																		
相談延件数(件)	37	32	30	補助金(家賃補助分)交付件数(件)	16	19	23																		
				補助金(改装費補助分)交付件数(件)	4	4	7																		
令和7年度の取組と改善点・評価	令和8年度の現状・課題・取組																								
<p>・取組内容 空き店舗を有効活用する事業に対し、対象となる改装工事費及び店舗賃借料の経費の一部を補助しました。なお、補助交付にあたり、流山商工会議所への入会と同所経営指導員による年1回以上の経営指導を制度化しており、補助申請時や補助期間中並びに補助終了後における事業継続の一助となる体制整備を図りました。</p> <p>・改善した点 当該事業を利用する方に適切に情報が届くよう、流山商工会議所等に対し職員が制度を説明し、市内への出店を相談する事業者が流山商工会議所へ来訪された際には制度周知を行っていただくなど協力体制の確立に努めました。</p> <p>・評価 19件の補助交付を通じて市内の賑わいの回復と創出を図れたことはもちろんのこと、当該補助事業を活用する事業者に対し、事前協議から交付決定まで迅速な事務処理を図ることができました。また、補助対象経費の改装工事費については、市内事業者への発注を条件として市内経済循環に寄与しました。</p>	<p>・現状 創業期にある申請者にとっては、空き店舗の所在地周辺の地域性と事業内容の整合確認、事業計画の達成に向けた具体的な取り組みなどを流山商工会議所の経営指導員と共に確認していきます。</p> <p>・課題 活用される空き店舗が再び空き店舗となることなく、補助期間満了後も長期にわたって活用され続けることが重要となります。補助内容を変更したため、流山商工会議所、市内不動産会社や改装事業者へ周知が必要となります。</p> <p>・取組内容 創業期にある申請者にとっては、空き店舗の所在地周辺の地域性と事業内容の整合確認、事業計画の達成に向けた具体的な取り組みなどを流山商工会議所の経営指導員と共に確認していきます。</p>																								

魅力ある事業者の育成・誘致

中小企業資金融資事業																									
<p>市内中小企業者・小規模事業者の事業発展と維持を目的に、事業に必要な運転資金、設備資金を円滑に調達できるよう、融資にかかる負担軽減を図るものです。</p>																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>担当課</th> <th>R7当初予算</th> <th>R7決算見込</th> <th>R7職員給与費(目安)</th> <th>R8当初予算</th> <th>R8特定財源</th> <th>R8一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>商工振興課</td> <td>141,369</td> <td>143,171</td> <td>13,194</td> <td>159,665</td> <td>130,461</td> <td>29,204</td> </tr> </tbody> </table>	担当課	R7当初予算	R7決算見込	R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源	商工振興課	141,369	143,171	13,194	159,665	130,461	29,204											
担当課	R7当初予算	R7決算見込	R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源																			
商工振興課	141,369	143,171	13,194	159,665	130,461	29,204																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>主な活動指標</th> <th>R6実績</th> <th>R7実績</th> <th>R8目標(予定)</th> <th>主な成果指標</th> <th>R6実績</th> <th>R7実績</th> <th>R8目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>商工会議所役員会参加回数(常議員会、商業部会、工業部会)(回)</td> <td>22</td> <td>26</td> <td>36</td> <td>融資件数(件)</td> <td>34</td> <td>91</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>流山工業団地役員会参加回数(回)</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>利子補給件数(件)</td> <td>102</td> <td>142</td> <td>150</td> </tr> </tbody> </table>	主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標	R6実績	R7実績	R8目標	商工会議所役員会参加回数(常議員会、商業部会、工業部会)(回)	22	26	36	融資件数(件)	34	91	20	流山工業団地役員会参加回数(回)	10	11	12	利子補給件数(件)	102	142	150	
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標	R6実績	R7実績	R8目標																		
商工会議所役員会参加回数(常議員会、商業部会、工業部会)(回)	22	26	36	融資件数(件)	34	91	20																		
流山工業団地役員会参加回数(回)	10	11	12	利子補給件数(件)	102	142	150																		
令和7年度の取組と改善点・評価	令和8年度の現状・課題・取組																								
<p>・取組内容 中小企業者に対し、金融機関を通じた資金融資の実行及び利子の一部補給を実施しました。</p> <p>・改善した点 取扱金融機関と打ち合わせを複数回行い、市内事業者が資金調達時に活用する融資メニューの適正な利率、利子補給率の見直しを行いました。</p> <p>・評価 制度融資利用者に対し、金融機関を通じた資金融資の実施及び融資利息の一部補助を実施することで、市内中小企業者の育成と振興に寄与しました。</p>	<p>・現状 金融機関独自のプロパー融資、公庫融資、県制度融資等の利率の動向とその経緯や根拠を参考とし、次年度以降の市制度融資の利率と利子補給率について、取扱金融機関など関係機関との情報交換を踏まえた見直しを検討します。</p> <p>・課題 市中金利が上昇する中、適正な利率、利子補給率の見直しの検討が必要となります。</p> <p>・取組内容 事業者が資金調達時に活用する融資メニューとして、適正な利率、利子補給率の見直しを検討してまいります。小規模事業者経営改善資金利子補給に係る情報交換を流山商工会議所と行い、利子補給を進めてまいります。</p>																								

魅力ある事業者の育成・誘致

創業支援事業	30～40代を中心として子育て世代の転入が続いているなか、出産や育児などの理由で一旦仕事から離れている女性の能力を活かすため、女性の創業を支援し、地域経済の活性化とまちの魅力を高めることを目的とするものです。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
商工振興課	1,715		1,287		13,194	1,899	0	1,899
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
女性向け創業スクール受講生(人)	25	25	22	女性向け創業スクール卒業生(人)		25	22	22
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
<p>・取組内容</p> <p>女性向け創業スクールの開催、創業コンシェルジュ、デザインコンシェルジュを設置し創業支援を実施しました。なお、創業スクールでは、創業間もない事業者は顧客への訴求力や販路拡大、商品開発等のノウハウに乏しいことが多いため、創業スクール卒業生と受講生の交流など、情報交換ができるような場づくりを図りました。</p> <p>・改善した点</p> <p>創業に必要な知識とスキルは日々変化していることから、講師と打合せをして、社会の変化に即した講座内容にアップデートしました。</p> <p>・評価</p> <p>創業スクール受講者数25名のうち、22名が課程を修了し、令和8年3月時点で13名が創業に至っています。また、昨年度にスクールを修了し既に創業している事業者と一緒にフコインフェスティバルを独自に開催するなど、スクール終了後も卒業生同士の創業の輪が広がっており、当該事業が流山の創業の一助として機能しています。</p>				<p>・現状</p> <p>創業スクール開始時の受講者の「創業に対する確度」にはバラツキがあるものの、卒業率(卒業者数÷受講者数)が高い値で推移していることと、卒業後に創業に至った件数も多いことから、カリキュラムの内容は適正なものとなっていると思われます。</p> <p>・課題</p> <p>創業に関する相談窓口の充実が課題となります。</p> <p>・取組内容</p> <p>女性向けの「創業コンシェルジュ」を男性にも拡充し、対応回数を年30回にすることで、創業に関する相談の需要に対応します。また、創業スクールのカリキュラムについては、社会情勢の変化に即した講座内容になるように引き続き受託者と共にブラッシュアップしていきます。</p>				

魅力ある事業者の育成・誘致

企業立地促進事業	地域産業の発展と市民の利便性の向上、市の財政の安定、まちの活性化に資する事業所・店舗等の進出を促進するものです。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
商工振興課	13,272		11,965		13,194	9,409	0	9,409
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
面談にいたった事業所等の数(件)	46	47	40	企業等立地促進奨励金の交付対象事業所等の新規立地件数(件)		2	4	2
面談・相談等の数(件)	87	77	80	物件のマッチング等の支援を行った事業所等が立地に至った件数(件)		2	2	2
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
<p>・取組内容</p> <p>市内へ立地を希望する事業者等に対し、本市の市場性と奨励制度を案内するなど立地の誘導に努めました。また、医療系の創業支援コンサルタントを訪問し、小児科等の開業を希望する開業志向の高い勤務医について情報共有を図りました。</p> <p>・改善した点</p> <p>不動産事業者及び開業支援コンサルタントとの情報共有を定期的に行いました。</p> <p>・評価</p> <p>不動産事業者等の協力を得ながら、開業候補地の確保に努めました。また、小児科2件、産科1件、製造業の工場1件の立地に成功しました。</p>				<p>・現状</p> <p>工業系用途地域の活用が進み未利用地がなく、製造業等の積極的な誘致ができない状況にあります。小児科においては毎年新規開業があるものの、まだ予約が取りにくいといった状況にあります。</p> <p>・課題</p> <p>小児科クリニックの開業志向者に対する迅速で円滑な情報提供が課題となります。開業場所の選択肢が不足している状況を踏まえ、立地後の実態を把握し現状を分析した上で、今後の立地について適切に誘導していくことが課題と捉えています。</p> <p>・取組内容</p> <p>創業支援コンサルタントへ対し本市の市場性と奨励制度の情報提供を重ね、市内での開業を誘導します。また、立地後の実態を把握・現状を分析していきます。</p>				

魅力ある事業者の育成・誘致

中小企業人材確保支援事業	市内中小企業者の継続的な事業活動を推進するため、従業員の確保を目的とした求人に対する取組みに対して経費の一部を補助します。また、多様な人材が活躍できる職場づくりを推進するため、多様な人材の採用・定着を目的とした設備などの整備費用等の一部を補助します。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
商工振興課	3,919		3,022		13,194	10,205	0	10,205
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
相談件数(件)	-	69	100	補助金交付件数(件)		-	18	49
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
<p>・取組内容</p> <p>就職情報サイト等への求人情報掲載13件、人材紹介サービスの利用5件に対して補助金を交付しました。また、年齢、性別によることなく、安心して活躍できる職場環境の整備1件に対して補助金を交付しました。</p> <p>・改善した点</p> <p>求人掲載や成功報酬型人材紹介サービスの利用、職場環境の改善に対する費用負担が課題となっていることから、当該事業について広く周知を図るとともに、事業者との面談の際には制度の詳細な説明に努めました。</p> <p>・評価</p> <p>求人情報発信等支援補助金では、補助金があることで掲載に踏み切り、上位表示オプションを追加したなどの声があり、人材確保に対する取組を後押しすることができました。多様な人材が活躍できる職場づくり補助金では、重量物を持ち上げる装置の設置により、シニアや女性でも身体的負担なく安心して働き続けられる職場環境づくりに寄与しました。</p>				<p>・現状</p> <p>企業動向調査の結果では、依然として多くの事業者が人手不足の解消、人材確保を課題と感じています。また、事業者との面談や補助金に関する問い合わせ内容からも人材確保に苦心する意見を頂戴しており、多くの市内中小企業者等にとって深刻な状況が続いています。</p> <p>・課題</p> <p>全国的な労働力不足を背景に、必要な人材の確保、採用した人材の定着が課題となっています。また、人材確保に要する求人費用、職場環境改善に要する費用負担も課題となっています。</p> <p>・取組内容</p> <p>就職情報媒体への掲載料、求人動画制作の外部発注費用、成功報酬型人材紹介サービス利用料の一部を補助します。また、年齢や性別、障害等に関わらず、多様な人材の活躍により人材を確保するための職場環境整備に要した費用の一部を補助します。</p>				

魅力ある事業者の育成・誘致

小規模事業者持続化促進事業		エネルギー価格や材料費の高騰等、社会・経済情勢が激しく変化中、自社の経営を見直し持続可能な経営に向けた経営計画を作成し、販路拡大や生産性の向上等に努める小規模事業者の取り組みを促進するため、経費の一部を補助するものです。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
商工振興課	4,636		1,584		13,194	4,636	0	4,636
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
案内件数(件)	14	9	14	交付件数(件)		14	9	14
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
<p>・取組内容 中小企業庁「小規模事業者持続化補助金(一般型)」に採択され、補助金確定通知を受けた市内事業者に対し、国の補助額の1/4の額について上乗せ補助を行いました。</p> <p>・改善した点 事業者が中小企業庁「小規模事業者持続化補助金(一般型)」を活用する際には流山商工会議所を通じて申請手続きが行われることから、同会議所との連携を密に行い、市補助金制度を対象者へ漏れなく案内できるような協力体制の確立に努めました。国のメニューで新たに設けられた小規模事業者持続化補助金(創業型)も対象とする規則改定を行いました。</p> <p>・評価 小規模事業者による販路拡大等への補助により、持続可能な経営の実現及びやる気と行動力のある事業者への支援を図りました。</p>				<p>・現状 国は小規模事業者に対して、社会・経済情勢の変化に対応するため自社の経営を見直すための計画づくりと販路拡大、生産性向上に向けた取組みを推奨しています。買上げ機運が高まりつつあり、規模の小さい事業者が買上げの原資を確保していくためには、生産性向上への新たな取組みの実践が必要となり「小規模事業者持続化補助金」の有用性は高まっています。</p> <p>・課題 経営計画の見直しにあたっては商工会議所の経営指導員による助言を受けることが基本となっているものの、国の補助制度そのものについて認知していない事業者や、商工会議所が全面的にサポートすることを理解していない事業者がいることが課題となります。</p> <p>・取組内容 市は国の補助額の4分の1相当額を上乗せで補助することとし、国と市の補助制度を両方活用することで大幅に事業者の負担軽減が図られる旨をチラシ等の配布により周知を進めます。なお、国の補助制度を利用した事業者に対しては、申請漏れがないよう適宜個別に案内します。</p>				

就労の支援

就職支援セミナー企画運営事業		求職者が自信をもって円滑に就職活動に取り組み、希望する就職につながるよう個別相談やセミナーを実施するものです。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
商工振興課	10,043		8,813		13,194	10,045	0	10,045
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
就職個別相談相談者数(人)	140	144	120	相談者の就職者数(人)		59	67	70
				年間セミナー参加者数(人)		323	287	170
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
<p>・取組内容 専門のキャリアカウンセラーによる就職個別相談の実施、就職氷河期世代を対象としたPC講座の開催、就職のノウハウや最新の動向を学ぶためのセミナーの開催など多様なメニューを展開し、きめ細やかな就職支援を行いました。</p> <p>・改善した点 市内事業者等との面談やアンケートなどをとおして企業が求める能力や資質を確認し、受託事業者と共有しました。また、実施した支援内容について、個別相談の就職決定者やセミナー参加者からの意見聴取に努めました。</p> <p>・評価 就職個別相談では相談者数は前年度並み、就職者数は微増となり、就職率が向上しました。就職支援セミナーでは全11回開催し「定員充足率75%」を超えたとともに、アンケート結果では、セミナーの内容について「とても良かった」、「良かった」との回答が99%という結果となり、個別相談、セミナーを通じて着実に求職者の支援を行うことができました。</p>				<p>・現状 深刻な労働力不足を背景に売り手市場が続いており、求職者自らが民間の就職・転職サイトを利用して就職活動を行うケースが増加していますが、一方で希望職種やスキルのミスマッチによる就職難も発生しており、公的な就職支援サービスを利用する求職者も多くなります。就職個別相談の件数もほぼ横ばいで推移しています。</p> <p>・課題 企業と求職者のミスマッチによる就職難、就職後の定着が課題となります。社会経済情勢の変化などにより影響を受ける最新の労働市場へ対応するとともに、職種や働き方など求職者のニーズを適切に把握し、自己理解から就職、就労定着までの伴走型の支援が必要となります。</p> <p>・取組内容 求職者が希望する働き方で就職できるようキャリアカウンセラーによる伴走型の就職個別相談を実施します。PC講座ではPCの基本操作のほか、履歴書や経歴書の作成方法、ZOOMでの面接対策などPCを活用しての就職活動を支援します。セミナーは参加者アンケートの結果や最新の動向を加味し、常にブラッシュアップに努めます。</p>				

主管部局 経済振興部 施策の目的 都市農業の多面的機能を活かし、生産性や収益性を高める農業の振興を図る



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R5実績	R6実績	R7実績	単位	目指す方向
認定農業者数	市の認定を受けた農業経営者	60	61	62	経営体	
農業産出額（推計）	R5実績(R3~R4)関東農林水産統計年報（R2市町村別農業産出額推計） R6実績(R3)市町村別農業産出額推計 R7実績(R4)市町村別農業算出額推計	95（ ）	85（ ）	85（ ）	千万円	

令和7年度の取組と改善点・評価	令和8年度の現状・課題・取組
<p>・取組内容 認定農業者が継続的な営農ができるよう、安定した農業経営が図れるよう事業支援に取り組みました。</p> <p>・改善した点 都市化による農用地、農業者の減少による担い手、後継者育成対策、農業資機材等の価格高騰が課題であることから、認定農業者の安定した農業経営のための継続した支援をしました。</p> <p>・評価 認定農業者の農業経営経費軽減対策として、農業資材、農業機材、肥料に係る経費の一部支援ができました。</p>	<p>・現状 都市化による農用地の減少、農業者の高齢化、農業資機材等価格の高騰により農業生産、農業経営に影響しているが、認定農業に対して効率的な農業資機材や肥料購入費の一部を継続した支援をすることで、安定した農業生産、農業経営を維持できています。</p> <p>・課題 都市化による農用地の減少、農業者の減少による担い手、後継者育成対策、農業資機材や肥料の価格高騰が課題であることから、認定農業者の安定した農業生産、農業経営のための継続した支援が必要です。</p> <p>・取組内容 認定農業者の継続的な営農ができるよう、農業経営経費軽減対策として農業資材、農業機材、肥料の購入費の一部を支援に取り組みます。</p>

農業経営改善の充実

認定農業者支援事業	本市農業の中心的な役割を担っている認定農業者が購入する環境配慮型農業資材費の一部を支援することにより、生産規模の拡大及び効率化を図り、更なる農業振興を推進します。環境配慮型農業資材の購入を促進することにより、減農薬、化学肥料使用の削減に繋がり環境にやさしい農業を推進します。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
農業振興課	3,600		5,247		2,383	4,320	0	4,320
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
実績補助金額(千円)	4,246.7	5,246.7	4,320.0	認定農業者数(経営体)		61	62	62
令和7年度の取組と改善点・評価	令和8年度の現状・課題・取組							
<p>・取組内容 認定農業者の農業経営改善計画の達成に向け、安定した農業生産の維持を図るための農業経営の下支えとなる事業費支援に取り組みました。</p> <p>・改善した点 認定農業者の農業経営改善計画の達成に向けた継続した支援をしました。</p> <p>・評価 認定農業者の農業経営改善計画の達成に向けた支援ができました。</p>	<p>・現状 認定農業者の農業経営改善計画の達成に向けた、安定した農業生産の維持、効率化の推進及び農業経営の安定化を図るための支援を行っています。</p> <p>・課題 認定農業者の農業経営改善計画の達成に向けた、安定した農業生産の維持、効率化の推進及び農業経営の安定化を図るための継続した支援が必要です。</p> <p>・取組内容 認定農業者の農業経営改善計画の達成に向けた、安定した農業生産の維持、効率化の推進及び農業経営の安定化を図るための支援に取り組みます。</p>							

農業経営改善の充実

農業振興資金融資及び利子補給事業	農業後継者、新たに農業を営む者等に、融資機関を通じて農業振興資金を貸し付け、利子の一部を補給し都市農業の安定的な継続ができる効率的な農業経営の拡大を図ります。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
農業振興課	7,554		7,471		1,320	7,582	7,001	581
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
利子補給金額(千円)	495.00	470.32	582.00	利用実績件数(件)		18	18	19
令和7年度の取組と改善点・評価	令和8年度の現状・課題・取組							
<p>・取組内容 資金融資による貸付利子の一部を補助することで、農業者の安定的な農業経営が継続できるよう支援に取り組みました。</p> <p>・改善した点 農業者の安定的な農業経営の継続のため、資金融資による貸し付け利子の一部補助の継続した支援をしました。</p> <p>・評価 貸付利子の一部を補助することで、農業者の安定的な農業経営への支援ができました。</p>	<p>・現状 資金融資による貸付利子の一部を補助することで、農業者の安定的な農業経営が継続できるよう支援を行っています。</p> <p>・課題 農業者の安定的な農業経営が継続できるよう引き続き支援していく必要があります。</p> <p>・取組内容 農業者の安定的な農業経営が継続できるよう支援に取り組みます。</p>							

農業経営改善の充実

エコ農業推進事業		減農薬、減化学肥料による環境への負荷を低減する方向の農業生産を推進し、環境にやさしい農業の向上に資するための支援事業を行います。消費者のエコロジー趣向に対応し、環境にやさしい農産物生産に資することができます。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
農業振興課	2,000		2,197		3,959	2,400	0	2,400
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
実績補助金額(千円)	2,305.9	2,196.8	2,400.0	エコ農業生産農家数(件)		45	45	45
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
<p>・取組内容</p> <p>減農薬、減化学肥料により環境への負荷を軽減し、人にやさしい農産物生産ができるよう有機農業を行う堆肥購入に取り組みました。</p>				<p>・現状</p> <p>減農薬、減化学肥料により環境への負荷を軽減し、人にやさしい農産物生産ができるよう有機農業を行う堆肥購入を支援しています。</p>				
<p>・改善した点</p> <p>減農薬、減化学肥料による有機農業を行う堆肥の購入が継続できるよう支援をしました。</p>				<p>・課題</p> <p>減農薬、減化学肥料により環境への負荷を軽減し、人にやさしい農産物生産ができるよう有機農業を行う堆肥購入を継続支援していく必要があります。</p>				
<p>・評価</p> <p>減農薬、減化学肥料による有機農業を行う堆肥の購入支援ができました。</p>				<p>・取組内容</p> <p>減農薬、減化学肥料により環境への負荷を軽減し、人にやさしい農産物生産ができるよう有機農業を行う堆肥購入の支援に取り組みます。</p>				

農業への理解の促進

市民農園事業		遊休農地等を土地所有者から借上げ、市民農園として市民が農作業を実践する場、家族や市民相互のふれあいの場として有償提供するとともに、更なる遊休農地の有効活用を図ります。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
農業振興課	227		227		1,723	288	200	88
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
市民農園借り上げ面積(m ²)	9,481.98	9,481.98	9,481.98	農園数(農園)		5	5	5
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
<p>・取組内容</p> <p>遊休農地有効活用として名都借、大群、駒木台、西深井、このす台の5地区に市民農園として、農地の借り上げに取り組みました。</p>				<p>・現状</p> <p>遊休農地有効活用として名都借、大群、駒木台、西深井、このす台の5地区を農地所有者から市民農園として、農地を借り上げています。</p>				
<p>・改善した点</p> <p>農業委員会と遊休農地情報の共有を行いました。</p>				<p>・課題</p> <p>農地所有者の土地活用により借り上げていた市民農園用地の契約が解除となった場合の代替地の候補探しが課題です。</p>				
<p>・評価</p> <p>遊休農地の有効活用ができました。</p>				<p>・取組内容</p> <p>遊休農地有効活用として名都借、大群、駒木台、西深井、このす台の5地区を農地所有者から市民農園として、農地の借り上げに取り組みます。</p>				

主管部局 経済振興部 施策の目的 地域資源を活用し、交流人口の拡大を図る



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R5実績	R6実績	R7実績	単位	目指す方向
入込客数	施設、イベントの入込客数（流山本町・利根運河ツーリズム推進課）	445,403	430,024	508,593	人	
令和7年度の取組と改善点・評価		令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 流山本町及び利根運河両地域のツーリズムを推進しました。令和6年度末に開館した白みりんミュージアムの適正な運営に努めるとともに、各種イベントや情報発信を積極的に行いました。また、大阪・関西万博の千葉県ブース内に流山市のブースを出展し、流山発祥の白みりんを国内外に広くPRしました。		・現状 利根運河で、近隣市と連携した周遊型のイベントの実施を予定しています。また、流山版DMO（株式会社流山ツーリズムデザイン）を支援しつつ連携し、コンテンツの充実を図っています。				
・改善した点 流山本町及び利根運河両地域の地域資源を生かし、交流人口の増加並びにリピーターの確保に向けたプロモーションやイベントの実施に取り組みました。		・課題 流山本町及び利根運河両地域の地域資源を生かし、さらなる交流人口の増加及び地域経済の活性化を推進する必要があります。				
・評価 白みりんミュージアムには目標の3倍となる年間60,000人超の方にご来館いただき、また、大阪・関西万博の千葉県ブースには5日間で約7万8,000人の方が訪れました。流山発祥の白みりんの認知度が上がったものと考えています。		・取組内容 流山本町及び利根運河両地域のツーリズムを推進するとともに、利根運河でのイベントに向けて準備を進めます。また、流山版DMO（株式会社流山ツーリズムデザイン）を支援しつつ連携し、コンテンツの充実に取り組みます。				

地域資源を活かしたツーリズムの振興

流山版DMO推進事業	観光地域づくりの舵取り役として官民連携により設立された法人である流山版DMO（株式会社流山ツーリズムデザイン）の活動を支援し、観光振興を推進します。						
担当課	R7当初予算	R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
流山本町・利根運河ツーリズム推進課	49,400	49,400		1,320	12,400	0	12,400
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標	R6実績	R7実績	R8目標
				流山本町地域への来訪者数(人)	180,275	259,660	260,000
令和7年度の取組と改善点・評価		令和8年度の現状・課題・取組					
・取組内容 流山版DMO（株式会社流山ツーリズムデザイン）の活動を支援するとともに、連携し流山本町地域及び利根運河地域のツーリズムの推進を図りました。		・現状 流山版DMO（株式会社流山ツーリズムデザイン）と共にツーリズムの推進に取り組んでいます。					
・改善した点 令和7年第2回定例会市民経済委員会協議会において流山版DMO（株式会社流山ツーリズムデザイン）の代表から議会に対して、同社の経営状況や事業計画の説明をしました。		・課題 引き続き、流山版DMO（株式会社流山ツーリズムデザイン）の事業計画等について、様々な関係者と共有を図る必要があります。					
・評価 流山版DMO（株式会社流山ツーリズムデザイン）の事業計画等について、情報共有が図られました。		・取組内容 流山本町及び利根運河両地域のツーリズムを推進するため、流山版DMO（株式会社流山ツーリズムデザイン）の活動を支援しつつ、連携を図ります。					

地域資源を活かしたツーリズムの振興

流山本町・利根運河ツーリズム推進事業	流山本町及び利根運河地域の歴史的建造物を活用し、飲食店やギャラリー、観光情報の発信等を行う拠点を創出します。また、地域情報誌掲載による観光PRを行い、来訪者の増加を図ります。						
担当課	R7当初予算	R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
流山本町・利根運河ツーリズム推進課	9,108	9,198		9,896	9,541	0	9,541
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標	R6実績	R7実績	R8目標
ツーリズム推進事業補助金相談回数(回)	8	12	12	ツーリズム推進事業補助金(改装)件数(件)	2	1	2
				ツーリズム推進事業補助金(家賃)件数(件)	7	8	7
令和7年度の取組と改善点・評価		令和8年度の現状・課題・取組					
・取組内容 ウェブ媒体でのPR活動や古民家を活用して出店する事業者に補助金を交付しました。		・現状 流山本町及び利根運河両地域のツーリズム推進のため、PR活動や古民家を活用して出店を希望する事業者への支援が必要です。					
・改善した点 流山本町及び利根運河両地域のツーリズム推進のため、PR活動や古民家を活用して出店を希望する事業者への支援を図りました。		・課題 流山本町及び利根運河両地域の地域資源を活かすとともに、古民家活用に係る先進事例を調査していく必要があると考えています。					
・評価 流山本町・利根運河ツーリズム推進事業補助金では、出店を希望する事業者に対して家賃及び改装費へ補助金を交付することで、開業を支援しました。		・取組内容 地域誌等によるPR活動を行います。また、古民家を活用して出店する事業者に補助金を交付します。					

来訪者の受入体制の充実

外国人観光客誘致促進事業	流山本町及び利根運河両地域の地域資源を活用し、両地域へ外国人観光客を誘致するためのプロモーションを行います。また、国等が実施するJETプログラムに基づく国際交流員（CIR）を任用し、外国人目線でSNSを活用した情報発信を行うとともに、店舗と協力し、店舗の英語対応表示やメニューの英語化等、受け入れ態勢整備を行います。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
流山本町・利根運河ツーリズム推進課	7,549		7,143		7,332	8,151	0	8,151
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
外国人向けモニターツアーの実施数(回)	2	3	3	外国人観光客の来訪数(人)		2,904	6,548	6,600
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
<p>・取組内容</p> <p>流山本町及び利根運河両地域の地域資源を活用し、両地域への外国人観光客を誘致するためのプロモーション及び取り組みを行いました。また、国際交流員によるSNSを活用した外国人目線での情報発信を行いました。</p>				<p>・現状</p> <p>引き続き、外国人観光客の誘致に向けてプロモーションを実施していくとともに、国等が実施するJETプログラムに基づく国際交流員を任用します。</p>				
<p>・改善した点</p> <p>これまで外国人誘致プロモーションとしてインフルエンサーを活用したPR等を実施してきましたが、令和7年度は台湾現地の旅行博への出展及び旅行会社への訪問営業の実施としました。</p>				<p>・課題</p> <p>ターゲットである台湾、欧米の外国人観光客の動向に注視し、最新のニーズを把握した上で、プロモーション方法を検討する必要があります。</p>				
<p>・評価</p> <p>台湾現地の旅行会社へ訪問営業を行い、流山本町を組み込んだ旅行商品を造成していただくことができました。また、国際交流員が流山本町及び利根運河両地域について、外国人目線での情報発信を行い、外国人観光客の誘致に寄りました。</p>				<p>・取組内容</p> <p>流山本町及び利根運河両地域の地域資源を活用し、両地域への外国人観光客を誘致するためのプロモーション及び取り組みを行います。また、国際交流員によるSNSを活用した外国人目線での情報発信を行います。</p>				

主管部局 健康福祉部 施策の目的 高齢者が住み慣れた地域のなかで、いつまでも自分らしく生き生きと暮らせるまちをつくる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R5実績	R6実績	R7実績	単位	目指す方向
高齢者の人口	住民基本台帳人口（市民課） 翌年度4月1日時点	47,304	47,390	47,509	人	
生きがいを感じる高齢者の割合	「生きがいをもって元気に暮らしていると思いますか」における「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」の割合（まちづくり達成度アンケート）	81.1	80.0	84.1	%	
要介護・要支援認定率	65歳以上の要介護・要支援認定者数/第1号被保険者数（65歳以上）×100（介護支援課） 翌年度4月1日時点	19.4	20.2	21.2	%	

令和7年度の取組と改善点・評価 令和8年度の現状・課題・取組

<p>・取組内容 高齢者の社会的交流や生きがいの充実を図るため、新たな取り組みとして作成した「高齢者ふれあいの家ガイドブック」を活用し、活動内容を広く市民に周知するとともに、施設の継続運営や新規開設に向けた支援を行いました。また、令和7年度に拡充した「ひとり暮らし高齢者緊急通報装置（民間事業者対応方式）」および「難聴高齢者補聴器購入費助成制度」について、市ホームページや行政出前講座等を通じて周知を図り、必要な方への支援を実施しました。</p> <p>・改善した点 高齢者ふれあいの家等の「通いの場」において、実施主体との連携を強化し、新たに保健師等の専門職による定期的な訪問や健康講座を組み込むことで、介護予防事業との連動性を高めました。また、助成制度等の周知にあたっては、従来のホームページに加え、チラシの活用や出前講座での直接説明を積極的に行い、対象者へ情報が届きやすい体制を整えました。</p> <p>・評価 高齢者ふれあいの家ガイドブックを冊子とホームページの双方で公開し、市民が情報を得やすい環境を整えました。保健師等専門職の派遣による健康講座は、参加者の介護予防への関心を高める機会となりました。また、拡充した緊急通報装置や補聴器助成についても、積極的な周知により制度利用の促進を図り、高齢者の安全な生活維持や社会参加の支援につなげることができました。</p>	<p>・現状 高齢者ふれあいの家ガイドブックを冊子および市ホームページで公開し、取組内容を広く市民に周知しています。高齢者ふれあいの家等の通いの場では、介護予防事業と連携した支援を実施することで主催者との連携を深め、介護予防を推進しています。また、令和7年度に拡充した緊急通報装置（民間事業者対応方式）や難聴高齢者補聴器購入費助成については、ホームページや出前講座等を通じて周知を行っています。</p> <p>・課題 高齢者の在宅生活を支える緊急通報装置や加齢性難聴に対応する補聴器の購入について、将来的に必要と感じつつも、導入のきっかけがつかめない高齢者の不安を解消し、必要な情報を届けることが求められています。介護予防事業と連携することで、日常生活の不便を『加齢のせい』と諦めるのではなく、適切なツールを早期導入できるように、相談・周知体制を強化し、社会参加を継続できる環境を整え、重症化予防と生活の質の向上を図ることが必要です。</p> <p>・取組内容 令和7年度から拡充した「ひとり暮らし高齢者緊急通報装置（民間事業者対応方式）」や「難聴高齢者補聴器購入費助成」は、必要な方へ更なる周知を図るため、介護予防事業と連携した講座を行政出前講座に加え、あらゆる機会を捉え普及啓発を推進します。あわせて、高齢者向け保健・福祉サービスのガイドブックを作成・配布し、必要な情報を届けることで適切なサービス利用へつなげる支援を行います。</p>
---	---

多様な生きがいづくり

<p>高齢者団体が市が大型バスを貸出し、高齢者相互の親睦やレクリエーション活動等の支援を行うことで、健康で生きがいのある生活を促進します。</p>	<p>敬老バス支援事業</p>						
<p>担当課</p>	<p>R7当初予算</p>	<p>R7決算見込</p>	<p>R7職員給与費(目安)</p>	<p>R8当初予算</p>	<p>R8特定財源</p>	<p>R8一般財源</p>	
<p>高齢者支援課</p>	<p>10,790</p>	<p>8,578</p>	<p>1,980</p>	<p>10,126</p>	<p>0</p>	<p>10,126</p>	
<p>主な活動指標</p>	<p>R6実績</p>	<p>R7実績</p>	<p>R8目標(予定)</p>	<p>主な成果指標</p>	<p>R6実績</p>	<p>R7実績</p>	<p>R8目標</p>
<p>利用回数(回)</p>	<p>131</p>	<p>125</p>	<p>160</p>	<p>リポート率(%)</p>	<p>97</p>	<p>95</p>	<p>99</p>
<p>利用人数(人)</p>	<p>3,661</p>	<p>3,552</p>	<p>4,100</p>				

令和7年度の取組と改善点・評価 令和8年度の現状・課題・取組

<p>・取組内容 敬老バスの事故やトラブルのないように利用条件や利用方法についての周知徹底を図り、安心安全な敬老バス事業の継続を図りました。</p> <p>・改善した点 利用団体の要望の多様化に対して、定められた利用条件の範囲内で適切かつ柔軟な対応をしました。</p> <p>・評価 バス利用の抽選会において改めて説明するなどした結果、利用団体はルールを守って利用しました。</p>	<p>・現状 高齢者相互の親睦やレクリエーション活動の支援として、健康で生きがいのある生活の促進に寄与しています。</p> <p>・課題 多様化する利用団体の要望に対して、決められた利用条件の範囲内で適切かつ柔軟な対応をする必要があります。</p> <p>・取組内容 事故やトラブルがないように利用団体に適切な利用を求め、安心安全な敬老バス事業の継続を図ります。</p>
--	--

多様な生きがいづくり

<p>市内の空家等を利用し、閉じこもりがちな高齢者が自由に集まり、地域のこどもたちを含めた高齢者との交流や健康づくり、趣味活動ができる場所を提供していただける個人・団体等を支援します。</p>	<p>高齢者ふれあいの家支援事業</p>						
<p>担当課</p>	<p>R7当初予算</p>	<p>R7決算見込</p>	<p>R7職員給与費(目安)</p>	<p>R8当初予算</p>	<p>R8特定財源</p>	<p>R8一般財源</p>	
<p>高齢者支援課</p>	<p>7,047</p>	<p>6,741</p>	<p>2,639</p>	<p>7,232</p>	<p>5,966</p>	<p>1,266</p>	
<p>主な活動指標</p>	<p>R6実績</p>	<p>R7実績</p>	<p>R8目標(予定)</p>	<p>主な成果指標</p>	<p>R6実績</p>	<p>R7実績</p>	<p>R8目標</p>
<p>年間開催総数(回)</p>	<p>5,716</p>	<p>5,881</p>	<p>5,900</p>	<p>年間利用者総数(人)</p>	<p>72,434</p>	<p>74,582</p>	<p>73,000</p>
<p>市内設置場所(か所)</p>	<p>33</p>	<p>36</p>	<p>38</p>				

令和7年度の取組と改善点・評価 令和8年度の現状・課題・取組

<p>・取組内容 高齢者ふれあいの家ガイドブックを活用し、事業の周知及び利用者の増加を図ったほか、開設者及び開設希望者への支援に努めました。</p> <p>・改善した点 開設者の高齢化により、活動の担い手が不足している高齢者ふれあいの家が多いため、周知活動を通じてスタッフの確保を支援しました。</p> <p>・評価 高齢者ふれあいの家開設についての周知や支援の結果、3件の開設に繋がりました。</p>	<p>・現状 高齢者ふれあいの家の開設者への支援を通じて、市内の高齢者に通いの場を提供しています。誰もが徒歩圏内で利用できる体制を整備するため、増設に努めています。</p> <p>・課題 開設者やスタッフの高齢化により、活動の担い手が不足している施設が増加傾向にあります。既存の高齢者ふれあいの家の運営継続や、新規開設に向けた継続的な支援が課題となっています。</p> <p>・取組内容 高齢者ふれあいの家ガイドブックを活用し、事業の周知と利用者の増加を図るほか、開設者や開設希望者に対する支援に努めます。</p>
--	--

多様な生きがいづくり

高齢者の交通機関利用支援事業	高齢者の外出機会の拡充と高齢者福祉の向上を図るために、流山ぐりんバスの乗車運賃の割引を行います。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
高齢者支援課	17,495		17,935		660	16,135	0	16,135
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
高齢者割引利用者数(人)	197,200	219,200	225,000	高齢者の利用率(%) (高齢者/総利用者数)		21.75	23.67	24.00
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
<p>・取組内容</p> <p>利用者増加に向けた新たな取り組みとして、市民まつりへの出展や車内ぬいぐるみ展示のほか、20周年記念イベントとして運賃無料デーを実施しました。</p>				<p>・現状</p> <p>運行継続に向け収支率を注視するとともに、需要確保策の検討に努めています。</p>				
<p>・改善した点</p> <p>利用者増加に向けたソフト面での需要確保策を検討・実施しました。</p>				<p>・課題</p> <p>運行経費の上昇に対応する安定的な収入を確保するため、引き続き需要確保策の検討が必要です。</p>				
<p>・評価</p> <p>減便による運賃収入の減少がありながらも利用者数は増加し、全6ルートにおいて運行継続基準である収支率55%以上を維持することができました。</p>				<p>・取組内容</p> <p>毎月の収支率を注視し、運行継続基準を満たすような需要確保策を検討します。</p>				

地域ぐるみ支え合い体制づくり

在宅高齢者介護予防・生活支援事業	公共交通機関の利用が困難な非課税世帯の単身高齢者を対象に、自宅の玄関から病院等の利用施設まで移動及び乗降の介助を支援します。その他、理美容店へ出向くことが困難な高齢者に対して、訪問による理美容サービスに係る費用の助成や、加齢により耳が遠くなり日常生活に不便を感じている高齢者に対して補聴器の購入費の一部を助成します。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
高齢者支援課	15,553		13,786		2,639	15,022	0	15,022
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
訪問理美容サービス利用回数(回)	75	107	100	訪問理美容サービス新規利用者(人)		32	25	40
外出支援サービス利用回数(回)	4,087	3,924	4,300	外出支援サービス新規利用者(人)		42	51	55
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
<p>・取組内容</p> <p>外出支援サービスの利用料を納入通知書による市への支払いから、事業者への直接支払方式に変更しました。あわせて、運転ボランティアの募集を引き続き関係課や関係機関と連携して実施したほか、難聴高齢者補聴器購入費用助成について広報やチラシ、市ホームページ等により周知を行いました。</p>				<p>・現状</p> <p>公共交通機関の利用が困難な方への外出支援、訪問理美容サービス、補聴器購入費用の一部助成を通じ、自立した生活の支援や在宅生活の質の向上を図っています。</p>				
<p>・改善した点</p> <p>外出支援サービス利用者から、金融機関での支払いは困難であるという意見があったため、納入通知書によらない支払方法への変更を行いました。</p>				<p>・課題</p> <p>令和7年度に開始した補聴器購入費用助成事業について、利用状況の把握や効果の検証を行うていく必要があります。</p>				
<p>・評価</p> <p>新規の運転ボランティアを獲得した一方で、活動中の運転ボランティアが高齢等を理由に活動を終了する現状もあり、十分な人数の確保には至りませんでした。</p>				<p>・取組内容</p> <p>補聴器購入費用の助成対象者に対し、アンケート調査を実施することで事業効果の検証を図ります。</p>				

地域ぐるみ支え合い体制づくり

ひとり暮らし高齢者緊急通報装置給付事業	ひとり暮らし高齢者等の緊急時の連絡手段を確保するため、消防署が対応する緊急通報装置の給付や民間事業者が対応する緊急通報装置の貸与を行います。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
高齢者支援課	2,506		1,963		2,639	1,862	255	1,607
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
延べ設置数(台)	121	101	150	救急車出動数(回)		10	8	-
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
<p>・取組内容</p> <p>2つの緊急通報システムについて、市ホームページや広報などでサービス開始の周知を図りました。</p>				<p>・現状</p> <p>人感センサーなど多機能を有する民間事業者対応方式と消防署対応方式の2種類の緊急通報システムを展開し、ひとり暮らしの高齢者の緊急時における連絡手段の確保を図っています。</p>				
<p>・改善した点</p> <p>新たに開始した民間事業者による緊急通報システムについて、既存の消防署対応型との違いを市民や関係機関へ周知し、適切な利用を促しました。</p>				<p>・課題</p> <p>2種類の緊急通報システムを展開しているため、利用者が自身の状況に適したシステムを選択できるよう、周知を継続する必要があります。</p>				
<p>・評価</p> <p>市ホームページや広報での周知に加え、行政出前講座を通じた直接的な周知も実施したことで、事業への理解と浸透を図りました。</p>				<p>・取組内容</p> <p>市ホームページや広報等を通じて、2種類のシステムの違いを含めた周知を行い、適切なサービス選択を支援します。</p>				

地域ぐるみ支え合い体制づくり

在宅医療介護連携推進事業		医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしができるよう在宅医療と介護を一体的に提供するために、医療機関と介護事業所等の関係者の連携を推進します。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
介護支援課	11,448		6,489		19,791	12,701	12,701	0
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
介護と医療をつむぐ会開催回数(回)	4	4	4	情報共有システムを利用した在宅療養者数(延べ)(人)		62	87	90
出前講座開催回数(回)	5	6	5					
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
<p>・取組内容</p> <p>「在宅医療介護連携会議」及び「介護と医療をつむぐ会」にて、現状把握や多職種の連携体制づくりを図りました。市民が在宅療養や人生会議(ACP)への理解を深めるため、市民公開講座や出前講座を開催しました。市民公開講座の内容も含めた「おうち療養情報紙」を発行し、幅広い世代への普及・啓発を図りました。</p> <p>・改善した点</p> <p>「在宅医療介護連携会議」及び「介護と医療をつむぐ会」にて、現状把握や多職種の連携体制づくりを図りました。市民が在宅療養や人生会議(ACP)への理解を深めるため、市民公開講座や出前講座を開催しました。市民公開講座の内容も含めた「おうち療養情報紙」を発行し、幅広い世代への普及・啓発を図りました。</p> <p>・評価</p> <p>「在宅医療介護連携会議」では、主に災害時の対応について議論を深め、地域BCPを策定するとともに、要配慮高齢者に関する医療・介護職の連携体制構築を進めました。市民公開講座や出前講座を開催することで、在宅療養や人生会議(ACP)の理解促進を図りました。</p>				<p>・現状</p> <p>「在宅医療介護連携会議」で多職種の連携体制の構築について協議するほか、「介護と医療をつむぐ会」で専門職の質の向上や「顔の見える関係づくり」を進めています。在宅療養や人生会議(ACP)の普及啓発のため、市民に向けたイベントの開催や情報発信を行っています。</p> <p>・課題</p> <p>医療・介護職でのスムーズな連携及び災害時の安否情報確認のために、情報共有システムのさらなる活用推進を行う必要があります。人生会議(ACP)を知らない市民や、抵抗感を持っている市民が多いことから、より多くの市民に向けた周知及び理解促進に関する活動を行う必要があります。</p> <p>・取組内容</p> <p>多職種の連携体制構築のため、「在宅医療介護連携会議」と「介護と医療をつむぐ会」を開催するほか、利用者の意思決定や看取りに関する研修会等を開催し、専門職の質の向上を図ります。在宅療養や人生会議(ACP)については、市民公開講座及び出前講座等で普及啓発を行うとともに、より多くの市民に情報を届けられるよう、周知方法を工夫していきます。</p>				

地域ぐるみ支え合い体制づくり

地域包括支援センター委託事業		介護保険の被保険者が要介護状態となることを予防するため、心身の状況や環境等に応じ、包括的な援助や福祉の増進を図るための包括的支援事業を実施し、地域住民の健康の維持及び生活の安定のための援助を行う、高齢者なんでも相談室(地域包括支援センター)の設置・運営を委託します。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
高齢者支援課	208,602		205,156		17,715	215,002	173,612	41,390
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
相談件数(件)	20,880	21,318	21,446	センター事業評価(運営状況調査)の達成度(全センター平均)(%)		-	99	100
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
<p>・取組内容</p> <p>高齢者人口の増加や複雑・困難化する事例への対応するため、生きづらさ包括支援事業と連携を図るとともに、担当する高齢者人口が多い中部、東部、南部の高齢者なんでも相談室の職員を各1名増員しました。また、職員のスキルアップを目的に、複合的な困難ケースの対応方法等に関する研修を実施しました。</p> <p>・改善した点</p> <p>高齢者人口の増加に伴う業務量の増大や、相談室に求められる役割の拡大に的確に対応するため、適正な職員数の確保と研修等によるスキルアップを図りました。</p> <p>・評価</p> <p>生きづらさ包括支援事業と連携により、複雑・困難な事例に対して多職種・他機関で連携して対応する体制が構築できました。また、担当する高齢者人口が多い中部、東部、南部の高齢者なんでも相談室の職員を各1名増員したことで相談支援体制の強化が図れました。</p>				<p>・現状</p> <p>市内5か所の高齢者なんでも相談室において、保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャー等の専門職が相談支援を行っています。近年、高齢者人口や独居高齢者の増加に伴い、複雑・困難化する事例が増加傾向にあります。</p> <p>・課題</p> <p>複雑・困難化する事例に対し、さらなる多職種・他機関との連携強化、および対応能力の向上が求められています。</p> <p>・取組内容</p> <p>高齢者人口の増加や複雑・困難化する事例に対応するため、引き続き生きづらさ包括支援事業と連携を図り、適切な支援を行います。また、研修会等の実施により職員のスキルアップを図ります。</p>				

地域ぐるみ支え合い体制づくり

成年後見申立事業		成年後見制度が必要な高齢者であって、親族がいない等の理由により申立てを行うことが困難な場合に、市長が申立てを行い制度の利用に繋がります。また、成年後見制度を利用している方のうち、成年後見人等への報酬を支払うことが困難な方に対して報酬費用の一部または全部を助成することで制度の利用促進を図ります。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
高齢者支援課	9,919		8,573		9,896	10,477	10,477	0
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
地域包括支援センターにおける成年後見制度等相談件数(件)	220	353	400	市長申立て件数(件)		12	24	26
成年後見推進センターにおける成年後見制度等相談件数(件)	731	1,365	1,400	成年後見人等報酬助成件数(件)		26	38	42
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
<p>・取組内容</p> <p>市長申立てや報酬助成制度の普及を図るため、各種会議等を通じて関係機関への周知に努めました。</p> <p>・改善した点</p> <p>関係機関との連携体制を強化し、市長申立てを適正に実施したほか、報酬助成の周知を市ホームページや会議等で図ったことで、支援実績の増加に繋がりました。</p> <p>・評価</p> <p>関係機関との連携により、支援が必要な方を着実に市長申立てへつなげることができました。また、市ホームページや会議を通じた周知により、制度の理解が進み、成年後見人等報酬助成の件数増加に結びつきました。</p>				<p>・現状</p> <p>本人の支援にあたる関係者や医療機関等からの相談を受け、成年後見制度の利用が必要でありながら申立てが困難な方に対し、市長申立てを実施しています。あわせて、成年後見人等報酬助成により、制度利用に伴う金銭的負担の軽減を図っています。</p> <p>・課題</p> <p>民法改正に伴う成年後見制度の見直しを注視し、制度改正への適切な対応を図る必要があります。</p> <p>・取組内容</p> <p>成年後見制度利用促進基本計画の改定及び制度改正に適切に対応し、支援者や関係機関等への周知を図ります。また、利用者が制度の利点を実感できる仕組み作りを推進します。</p>				

介護体制づくり

介護人材確保支援事業	介護人材確保を目的として国、県の介護人材確保対策事業と連携しながら市内の介護保険施設、事業所の就業者の確保を目的とした事業を実施します。また、市単独事業として、市内介護保険サービス事業所に勤務する介護支援専門員や介護職員等の処遇改善事業と介護福祉士の資格を取得して市内の介護施設等に勤務しようとする介護福祉士等の養成施設等の在学者へ修学資金の貸し付け事業を行います。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
介護支援課	122,730		114,397		13,194	133,635	133,635	0
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
理解促進講座開催回数(回)	1	1	1	介護職員養成研修受講費助成件数(件)		18	16	32
				流山市介護職員処遇改善事業補助対象者人数(人)		1,116	1,130	1,180
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 市民に質の高い介護サービスを提供することを目的に、市独自の介護職員等への処遇改善、介護職員養成研修費用の助成、就職相談会等を実施し、市内の介護保険サービス事業所への人材確保と定着支援を図りました。				・現状 団塊ジュニア世代が高齢者となる2040年に向けて介護需要はますます高まる一方、介護職員等のさらなる不足が見込まれています。				
・改善した点 処遇改善や養成研修の受講費助成等、本市で実施している介護職員への支援策をまとめたチラシを作成し、周知を図りました。職員の定着支援のため、カスタマーハラスメントに関する取組として、複数人訪問費用やハラスメント対策機器導入費用の補助制度を創設しました。				・課題 介護人材の確保及び定着を支援し、市民に質の高いサービスを提供できる体制を構築していく必要があります。				
・評価 介護職員等に対する処遇改善事業補助金は、前年度よりも申請件数が増加しています。また、申請手続を簡略化し、事業所職員の負担軽減を図りました。求職者と介護事業所のマッチングの場として就職相談会を実施し、市内の介護事業所の人材確保につなげました。				・取組内容 就職相談会を実施して市内介護保険サービス事業所の人材確保を支援するほか、介護職員等への処遇改善や研修受講時の費用助成を引き続き行い、職員の定着及びキャリアアップ支援を図ります。				

介護体制づくり

特別養護老人ホーム整備支援事業	特別養護老人ホームの入所待機者の解消に向け、高齢者支援計画に基づいて計画的に施設整備を進めます。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
介護支援課	0		0		3,299	0	0	0
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
市内特別養護老人ホームの施設数(施設)	13	13	13	特別養護老人ホーム入所希望待機者数(人)		278	247	283
市内特別養護老人ホームの入所定員数(人)	1,146	1,146	1,146					
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 令和9年4月の新規開設(100床)を目指して、事業者の社会福祉法人敬愛会への必要な支援を行いました。				・現状 令和9年4月の新規開設(100床)を目指して、事業者による整備工事を進めてまいります。入所待機者は、令和8年1月現在247人となっています。				
・改善した点 県や社会福祉法人と連携を図り、施設整備を着実に進めました。				・課題 必要な整備数の見込みを立てるために、入所待機者の実態や市民のニーズを適切に把握する必要があります。				
・評価 令和9年4月新規開設(100床)に向けて、社会福祉法人敬愛会による整備工事に着手しました。また、第10期高齢者支援計画策定にあたり、事業者アンケートや高齢者実態調査等を行いました。				・取組内容 令和9年4月の新規開設(100床)に向けて、事業者の社会福祉法人敬愛会への必要な支援を行います。また、事業者アンケートや高齢者実態調査等の分析を進め、施設整備の必要性について検討します。				

介護体制づくり

高齢者介護予防普及啓発事業	介護予防に向けた取り組みが主体的に実施されるような地域社会の構築を目指して、介護予防教室を実施します。また、知識の普及啓発を目指し、パンフレットの作成、配布を行います。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
高齢者支援課	5,422		4,933		8,577	5,628	5,628	0
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
介護予防教室開催回数(回)	21	21	21	介護予防教室参加延べ人数(人)		483	352	420
				ながいき100歳体操グループ数(グループ)		73	81	93
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 多くの高齢者が主体的に介護予防に取り組めるよう、筋力アップ教室の周知や「ながいき100歳体操」の活動グループ拡大に向けた普及啓発を実施しました。あわせて「しゃきしゃき100歳体操」と「かみかみ100歳体操」の動画を活用した周知にも努めました。				・現状 「ながいき100歳体操」の普及啓発として、介護予防に資する「筋力アップ教室」を計画的に実施しています。				
・改善した点 さらに多くの高齢者が介護予防に取り組めるよう、筋力アップ教室等の周知を継続していく必要があります。動画の活用や専門職等による「しゃきしゃき100歳体操」と「かみかみ100歳体操」の直接指導を実施したことで、体操を体験する機会が広がり、その効果を実感していただくことができました。				・課題 多くの高齢者が介護予防に取り組めるよう、筋力アップ教室の周知や「ながいき100歳体操」の活動グループ増加に向けた普及啓発を推進する必要があります。あわせて、グループ立ち上げ時の負担を軽減するための支援を継続していく必要があります。				
・評価 「ながいき100歳体操」の活動グループは、令和7年度に新たに8グループが立ち上がるなど、地域での活動が活性化しました。				・取組内容 多くの高齢者が主体的に介護予防に取り組めるよう、筋力アップ教室の周知や「ながいき100歳体操」の活動グループ拡大に向けた普及啓発を推進します。あわせて「しゃきしゃき100歳体操」と「かみかみ100歳体操」の普及啓発に取り組みます。				

認知症施策推進事業		認知症に関する知識の普及及び啓発を行います。また、認知症の疑いのある方や認知症の方等へ早期に対応できるよう相談支援体制の構築を図ります。					
担当課	R7当初予算	R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
介護支援課	2,024	1,246		19,791	2,574	2,574	0
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標	R6実績	R7実績	R8目標
認知症サポーター養成講座開催数(回)	23	23	25	認知症サポーター養成数(人)	1,080	946	1,300
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組			
<p>・取組内容 地域づくりでは、9月の「認知症月間」に、講演会やVR認知症体験会等を開催し正しい知識や新しい認知症観の普及啓発を行いました。また、認知症の方や家族を支援するチームオレンジの設置を目指して関係団体と協議を行いました。認知症当事者の声を聞く場として、認知症の方と家族が参加できるイベント等を実施しました。</p>				<p>・現状 認知症基本計画に基づく「新しい認知症観」及び認知症に関する正しい知識については、市民に広く普及しているとは言えません。また、認知症当事者は社会参加の機会が少なく、当事者の声を聞く場も少ない現状があります。</p>			
<p>・改善した点 認知症の人と共に生きる地域づくりの一環として、市内で従事する人に向けて認知症サポーター養成講座や認知症体験会を実施し、認知症の人の考え方や、見えている世界に対する理解を深めていただきました。当事者の声を聞く機会として、認知症の人とその家族が地域との交流を深めることを目的とした「オレンジ交流会」を市内4圏域で実施しました。</p>				<p>・課題 「新しい認知症観」とともに、認知症に関する正しい知識を市民に浸透させる必要があります。認知症の人は単なる「支える対象」ではなく、ともに地域を作っていく一員であることを、市民に理解してもらう必要があります。</p>			
<p>・評価 認知症に関する講演会を開催したほか、市民及び市内で従事する人を対象に、商業施設や企業等でVR機器を活用した認知症体験会を開催し、認知症に関する普及啓発に努めました。関係団体との協議を重ね、令和8年度にチームオレンジを1団体設置することにつながりました。</p>				<p>・取組内容 認知症講演会や体験会等を実施し、「新しい認知症観」や認知症に関する正しい知識の普及啓発を行います。チームオレンジの立上げ及び活動について支援していきます。認知症地域支援推進員と連携を図ることで当事者の声を聞く機会を増やすとともに、当事者の声を反映した「流山市認知症施策推進計画」の策定に取り組みます。</p>			

主管部局 健康福祉部 施策の目的 障害者等が、地域や家庭のなかで、自分らしく自立した生活を送ることができるまちをつくる



Table with 6 columns: まちの状態指標, 指標の説明または出典元, R5実績, R6実績, R7実績, 単位, 目指す方向. Rows include indicators for people receiving support, users of support centers, and users of counseling services.

Table with 2 columns: 令和7年度の取組と改善点・評価, 令和8年度の現状・課題・取組. Rows discuss current status, improvement points, and evaluation of support services.

障害福祉サービスの充実

Table for '障害者自立支援給付事業' (Self-Support Support Payment Project). Includes a description of the service and a detailed financial table with columns for budget, personnel costs, and other resources.

Table with 2 columns: 令和7年度の取組と改善点・評価, 令和8年度の現状・課題・取組. Rows discuss the utilization status, improvement points, and evaluation of self-support services.

障害福祉サービスの充実

Table for 'つばさ学園療育相談事業' (Tsubasa Gakuen Therapeutic Consultation Project). Includes a description of the service and a detailed financial table with columns for budget, personnel costs, and other resources.

Table with 2 columns: 令和7年度の取組と改善点・評価, 令和8年度の現状・課題・取組. Rows discuss the utilization status, improvement points, and evaluation of therapeutic consultation services.

障害福祉サービスの充実

障害児通所支援事業	児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援等のサービスを行う民間施設及びつばさ学園に対して、障害児福祉サービスに係る給付を行います。また、すべてのサービス利用者に障害児相談支援を行います。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
障害者支援課	2,508,563		2,715,457		11,875	2,770,049	2,076,939	693,110
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
障害児通所支援支給決定者(人)	1,691	1,971	1,950	障害児通所支援事業所利用者(人)		19,705	23,441	25,650
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
<p>・取組内容</p> 計画作成ができる事業所の新規開設や相談支援専門員の新規雇用を支援し、セルフプラン率の改善を目指しました。				<p>・現状</p> 人口の増加に加え制度の認知度向上により、利用児童数が大幅に増加しています。				
<p>・改善した点</p> 計画相談事業所の新設などもあり、セルフプラン率はやや減少しました。				<p>・課題</p> 特に放課後等デイサービスにおいて、児童数の増加により希望する日数の支援が受けられない児童が生じています。				
<p>・評価</p> 利用児童の増加が著しく、セルフプラン率の大幅な改善には至りませんでした。また、希望する日数の支援が受けられないなどの新たな課題も出てきています。				<p>・取組内容</p> 現在、通所の必要性の確認は初回のみとなっていますが、再度の確認の必要性について検討します。				

障害福祉サービスの充実

障害者グループホーム等運営費補助事業	小規模なグループホームの運営費の一部を助成し、経営の安定化を図り、入居者の自立と社会参加の促進を図ります。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
障害者支援課	16,043		21,787		1,320	16,043	8,021	8,022
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
補助件数(件)	37	40	35	対象施設への入居者数(人)		151	159	160
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
<p>・取組内容</p> 正確な情報の元、引き続き適切な補助執行に努めました。				<p>・現状</p> グループホーム利用者は増加傾向が続いています。				
<p>・改善した点</p> 引き続き利用者の入退去状況や利用する事業者の正確な把握に努めました。				<p>・課題</p> 引き続き利用者の入退去状況や利用する事業者の正確な把握が必要です。				
<p>・評価</p> 請求情報を基に利用者の入退去状況や事業者の請求状況を把握しました。				<p>・取組内容</p> 正確な情報の元、引き続き適切な補助執行に努めます。				

障害福祉サービスの充実

障害児者福祉施設整備費補助事業	人口増加に伴い、障害児者の人数も増加しており、障害特性に応じた障害福祉サービス(児童福祉サービス)の提供体制を整備していく必要があることから、事業者が流山市で開設する動機付けとして補助金を用意するものです。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
障害者支援課	60,000		87,949		3,299	0	0	0
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
補助額(千円)	-	50,948	-	施設数(件)		-	2	-
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
<p>・取組内容</p> 障害福祉サービス事業所の開設に要する経費に対して補助金を交付しました。				<p>・現状</p> 補助金による施設整備の予定はありません。				
<p>・改善した点</p> 早期の親子支援を行う事業所と医療的ケア児及び重症心身障害児に対応する事業所に対して開設準備費等を補助し、障害福祉サービスの提供体制の強化に着手しました。				<p>・課題</p> 引き続き、障害児数及び障害福祉サービスのニーズの把握に努める必要があります。				
<p>・評価</p> 早期の親子支援を行う事業所が1か所、医療的ケア児及び重症心身障害児に対しての事業所が1か所の計2か所が開所予定です。				<p>・取組内容</p> 補助金による施設整備の予定はありません。				

障害福祉サービスの充実

つばさ学園施設整備事業		つばさ学園を利用する園児の事故防止や施設の老朽化に伴う整備、国の制度改正や方針により必要とされる施設整備を行うものです。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
児童発達支援センター	716		2,123		3,543	4,002	4,002	0
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
工事進捗率(%)	-	100	100					
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 安心安全な療育を提供するため、つばさ学園施設内において、見守りカメラを教室に4台及びプレイルームに1台設置しました。				・現状 つばさ学園では、ケアニーズの高いこどもの利用ニーズが高まっていることから、令和7年度より医療的ケア児や未歩行児等、こどもの状態や発達段階に合わせた支援体制を強化しています。				
・改善した点 多様な障害のあるこどもが、安心安全に利用することができるような環境を改善していく課題を解決するため、見守りカメラを設置しながらも、こどもの人権に配慮して、着替えやおむつ交換用等のパーテーションを用意しました。				・課題 医療的ケア児の支援を行うにあたって重要になるのが感染予防と快適なケアを実施できる環境の設定であるため、清潔かつ安全への配慮ができた適切な環境を整備する必要があります。				
・評価 見守りカメラの設置により、園内でのケガやトラブルの発生時には、動画で詳細な状況を把握し、支援のふり返りをすることで、こどもが安心安全に利用できる環境が整備されました。				・取組内容 老朽化している医務室を改修し、経鼻経管栄養や吸引等の医療的ケアに適した環境整備を行います。また、医療的ケア児の指導室とプレイルームの活動が安全に行えるよう、区画を分けるためのベビーゲートを設置します。更に、トイレ横のシャワー室に設置してある大きな浴槽を改修し、おむつ替えや体を清潔に保つためのスペースを確保します。				

障害福祉サービスの充実

児童デイつばさ施設整備事業		事故防止や施設の老朽化に伴う整備、国の制度改正や方針により必要とされる施設整備を行います。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
児童発達支援センター	285		285		3,543	1,955	1,955	0
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
工事進捗率(%)	-	100	100					
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 安心安全な療育を提供するため、児童デイ施設内において、見守りカメラを教室に2台及びプレイルームに1台設置しました。				・現状 児童デイつばさでは、早期発見早期療育の観点から、令和7年度より3歳未満児の単独登園及び親子クラスを編成し、発達の気になる段階から就学前までの全年齢のこどもの受け入れを実施しています。				
・改善した点 多様な障害のあるこどもが、安心安全に利用することができるような環境を改善していく課題を解決するため、見守りカメラを設置しながらも、こどもの人権に配慮して、着替えやおむつ交換用等のパーテーションを用意しました。				・課題 3歳未満児の支援にあたり、児童デイつばさには調乳を行うための流しシンクがなく、手洗い場で代用している現状であり、支障が生じています。				
・評価 見守りカメラの設置により、園内でのケガやトラブルの発生時には、動画で詳細な状況を把握し、支援のふり返りをすることで、こどもが安心安全に利用できる環境が整備されました。				・取組内容 事業所内の事務所として使用していた部屋を調乳室に改修し、流し台を設置します。				

自立と社会参加の促進

障害者地域生活支援事業		障害者等が地域で自立した生活を送るための相談支援、手話等による意思疎通支援、日常生活用具の給付、訪問入浴サービス、地域活動支援センター等による支援を行います。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
障害者支援課	138,513		103,412		7,917	144,248	49,101	95,147
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
委託相談員の人数(人)	11	11	11	相談支援を利用している障害者の人数(人)		3,242	3,818	3,800
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 前年度抽出した改善点を解消するための具体的な制度改正に向け、詳細な制度設計を進めました。				・現状 障害者、複雑化した課題を抱える世帯の増加傾向が続いています。				
・改善した点 同居家族の負担軽減のため、制度改正を検討しましたが、実現に至りませんでした。				・課題 同居家族の負担が増大しており、その軽減が引き続き課題となっています。				
・評価 在宅の医療的ケア児等の家族の負担を軽減するため、在宅レスパイト事業について制度設計を進め、負担軽減するための取組みについて整備を進めました。				・取組内容 改善点を解消するための具体的な制度改正に向け、引き続き制度設計を進めます。				

自立と社会参加の促進

障害者就労支援センター運営事業	就労支援事業として、障害者の働く場の確保と一般企業への就労につなげるため、市役所内に障害に配慮した職場環境を整えたチャレンジドオフィスながれやまを開設しました。そこで、障害がある方を会計年度任用職員として一定期間雇用することで実際の職務経験を通じて就労のスキル向上を図り、一般企業等への就職を目指します。						
	担当課	R7当初予算		R7決算見込	R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源
障害者支援課	25,395		21,481	32,985	34,921	0	34,921
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標	R6実績	R7実績	R8目標
チャレンジドオフィススタッフ在籍者数(人)	-	6	6	チャレンジドオフィススタッフの一般企業への就職者数(人)	-	1	2
庁内業務受注数(件)	-	390	433				
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組			
<p>・取組内容 受注業務内容の種別を広げ、障害特性や個々の能力に応じた業務に従事できるよう図りました。同時に、障害者就労支援に携わっている専門の職員がチャレンジドオフィススタッフへ定期面談等を行い、安定して働けるよう支援しました。</p>				<p>・現状 障害のあるスタッフ6名及び就労支援員3名により、庁内各課から依頼される業務を実施します。日々の業務経験を通じて、就労しきるの向上を図るとともに、一般企業への就職を目指します。</p>			
<p>・改善した点 障害や疾病等の理由からすくのが就職が難しい障害がある方(チャレンジドオフィススタッフ)が、庁内での業務経験を通して、ステップアップへの自信をつける機会となるように、就労サポートをする必要がありました。</p>				<p>・課題 業務量については年間を通じて時期による増減が見られ、安定した業務提供体制の確保が課題です。また、障害特性や個々の能力に応じた業務配置をより推進するため、従事可能な業務種別の拡大を図る必要があります。</p>			
<p>・評価 個々の障害特性に応じた業務配置を行うとともに、継続的な面談支援を通じ、安定して働ける環境を整えました。これにより、1名が一般就労企業への就職にステップアップしました。</p>				<p>・取組内容 業務量の平準化及び業務種別の拡大を図るため、各スタッフの能力、習熟度及び障害特性を整理した評価一覧表を作成するとともに、従事可能な業務例を示した資料を整備することで、庁内からの業務依頼の促進を図ります。</p>			

自立と社会参加の促進

障害者成年後見申立事業	成年後見制度が必要な知的障害者または精神障害者で、親族がない等の理由により申立てを行うことが困難な場合に市長が申立てを行い、制度の利用に繋がります。また、成年後見制度を利用している方のうち、成年後見人等への報酬を支払うことが困難な方に対して報酬費用を助成することで制度の利用促進を図ります。						
	担当課	R7当初予算		R7決算見込	R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源
障害者支援課	4,616		2,659	660	3,966	1,627	2,339
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標	R6実績	R7実績	R8目標
市長申立件数(件)	3	1	5	報酬助成の金額(円)	2,789,000	2,627,000	4,080,000
報酬助成申請件数(件)	12	10	17				
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組			
<p>・取組内容 市ホームページの記載について見直しを行いました。</p>				<p>・現状 支援者との連携により、成年後見制度が必要な障害者に対し、市長申立てにより手続きを進めています。また、経済的な負担の軽減のため成年後見人への報酬助成を引き続き行います。</p>			
<p>・改善した点 市ホームページの見直しのほか、市広報への掲載を行い、制度の周知方法を増やしました。</p>				<p>・課題 市長申立て以外の後見人への報酬助成を含め、制度の周知が課題となっています。</p>			
<p>・評価 市長申立て以外の後見人への報酬助成については増加したものの、全体的な助成件数は目標を下回りました。</p>				<p>・取組内容 制度の周知方法について検討します。</p>			

主管部局 健康福祉部 施策の目的 自助・共助・公助の役割分担のもと地域の“チカラ”を高める



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R5実績	R6実績	R7実績	単位	目指す方向
福祉のサービス等に市民が参加できる（協力できる）まちづくりの福祉ができていないと思う市民の割合	「できている」「どちらかといえばできている」と回答した割合（まちづくり達成度アンケート）	54.8	61.1	63.8	%	
生活保護受給者数	社会福祉課	1,950	1,905	1,865	人	

令和7年度の取組と改善点・評価	令和8年度の現状・課題・取組
<p>・取組内容 生活困窮者自立支援事業及び生きづらさ包括支援事業では、関係者間の顔の見える関係づくりと各事例への連携した対応を深化させることに加えて、今ある地域資源を有効活用して、地域共生社会の実現に向けた地域づくりを進めました。地域支え合い活動や個別避難計画の作成については、自治会、地域住民、関係機関、民生委員・児童委員等と連携して、地域での自主的な取組をより一層推進しました。</p> <p>・改善した点 生活困窮者自立支援事業及び生きづらさ包括支援事業では、各事例の取組みや研修等を通じて、関係者間の顔の見える関係づくりや、多機関の円滑な協働による支援体制の構築が進展しました。また、災害時に特に支援を必要とする方の個別避難計画の作成や、災害時の安否確認体制の構築、避難訓練など、地域と連携した要支援者の災害対策は進んでいきます。</p> <p>・評価 生活困窮者自立支援事業及び生きづらさ包括支援事業では、関係者間の連携による対応は徐々に進展してきていますが、支援者間の関係づくりや支援者の力量を高める研修等は、今後も不断に取り組んでいく必要があります。避難行動要支援者の個別避難計画作成は進んでいましたが、計画により実効性を持たせるため、地域支え合い活動をはじめとする地域での取組を強化する必要があります。</p>	<p>・現状 生活困窮者自立支援事業及び生きづらさ包括支援事業では、各事例への連携した対応に加え、今ある地域資源の活用や新たな地域資源の開発に取り組んでいますが、生きづらさを抱える市民から支援の手が届いていない市民はまだ多く存在しています。地域支え合い活動や個別避難計画の作成についても、地域共生社会の実現に向けて、福祉専門職、自治会、地域住民、関係機関、民生委員・児童委員等と連携して、地域での自主的な取組を推進しています。</p> <p>・課題 生活困窮者自立支援事業及び生きづらさ包括支援事業では、生きづらさを抱える市民に支援を届けるため、引き続き事業の理解の深化と関係づくりに取り組み、連携や取組を強化しなければなりません。また、地域共生社会の実現に向けた地域づくりも進める必要があります。避難行動要支援者の災害対策については、地域BCPの機能強化、個別避難計画の作成を進めるとともに、地域での自主的な取組により、避難支援の実効性を高めることが課題です。</p> <p>・取組内容 生活困窮者自立支援事業及び生きづらさ包括支援事業では、関係者間の連携による支援に加え、定例会議や研修等を通じて、事業の理解の深化・定着や、支援者間の関係づくりに引き続き取り組んでいきます。避難行動要支援者の災害対策については、地域の福祉専門職、自治会、民生委員・児童委員等の関係者と連携して、個別避難計画の作成や避難訓練、安否確認の体制構築、地域BCPの機能強化などに取り組み、地域の防災力を高めていきます。</p>

地域福祉の推進

福祉会館整備事業	市民の健康と福祉の増進を図るため、地域福祉活動の拠点としての福祉会館の改修を行います。						
担当課	R7当初予算	R7決算見込	R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源	
社会福祉課	21,843	22,441	11,875	4,816	0	4,816	
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標	R6実績	R7実績	R8目標
改修工事件数(件)	4	8	1	福祉会館延べ利用人数(人)	286,538	283,055	286,000
令和7年度の取組と改善点・評価	令和8年度の現状・課題・取組						
<p>・取組内容 江戸川福祉会館の屋上防水及び外壁塗装改修工事、駒木台・野々下・東深井福祉会館コンドミナー更新工事、西深井福祉会館雨樋改修工事、下花輪福祉会館ミストサウナ更新工事等の8件の工事を実施しました。</p> <p>・改善した点 計画的に工事を進め、利用者が快適に施設を利用できるよう配慮しました。</p> <p>・評価 年度当初に予定していた工事3件に加え5件の工事を実施し、利用者の利便性向上を図りました。</p>	<p>・現状 特殊建築物の定期報告調査の結果に基づき、必要な修繕及び工事を実施するよう取り組みます。</p> <p>・課題 計画的に工事を進め、利用者が快適に施設を利用できるよう配慮します。</p> <p>・取組内容 駒木台福祉会館大広間建具改修工事を実施します。</p>						

地域福祉の推進

民生委員児童委員活動推進事業	地域住民の身近な相談相手となり、支援を必要とする住民と行政等の専門機関をつなぐパイプ役を努める民生委員・児童委員の活動を推進します。						
担当課	R7当初予算	R7決算見込	R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源	
社会福祉課	11,513	10,605	4,618	17,401	3,155	14,246	
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標	R6実績	R7実績	R8目標
民生委員・児童委員委嘱者数(12月1日時点)(人)	179	167	180				
令和7年度の取組と改善点・評価	令和8年度の現状・課題・取組						
<p>・取組内容 流山市民生委員児童委員協議会と連携しながら、民生委員・児童委員の活動を推進しました。</p> <p>・改善した点 12月1日の3年に1度の一斉改選に向けて、市ホームページや広報ながれやま、福祉関係研修会等での説明を行い、なり手の確保に努めました。</p> <p>・評価 広報ながれやまを見て、民生委員・児童委員になってみたい旨の問い合わせが14件あり、4名が新たに委嘱されました。</p>	<p>・現状 流山市民生委員児童委員協議会と連携しながら、民生委員・児童委員の活動を推進します。</p> <p>・課題 本市だけでなく、全国的に民生委員・児童委員のなり手が不足しています。</p> <p>・取組内容 民生委員・児童委員にタブレットを貸与し、事務負担の軽減を図り、担い手確保につなげます。</p>						

地域福祉の推進

地域支え合い活動推進事業	孤立死防止と災害時の支援のために、地域における日常からの支え合い・見守りを推進します。災害時に特に支援を必要とする要配慮者について個別避難計画の作成を推進します。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
福祉政策課	13,208		18,877		13,194	13,563	4,750	8,813
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
支え合い活動対象者名簿登載者数(人)	14,471	14,410	15,000	地域支え合い活動協力自治会等数(件)		126	132	133
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
<p>・取組内容</p> 自治会、地域住民、関係機関、民生委員・児童委員等と連携して、地域での自主的な取組をより一層推進しました。				<p>・現状</p> 避難行動要支援者の災害対策について、個別避難計画の作成や医療的ケア児の避難訓練、地域BCPの策定など、一定の進捗がみられます。				
<p>・改善した点</p> 災害時に特に支援を必要とする方の個別避難計画の作成が進んだほか、医療的ケア児の避難訓練や福祉専門職との協定など、避難行動要支援者の災害対策が進捗しました。				<p>・課題</p> 個別避難計画の作成を進めるとともに、その実効性を高めるため、要支援者の避難訓練や、安否確認体制の構築を進めていく必要があります。				
<p>・評価</p> 福祉専門職と連携しての個別避難計画の作成や医療的ケア児の避難訓練、地域BCPの策定など、要支援者の災害対策が進捗しました。				<p>・取組内容</p> 医療的ケア児・者の避難訓練、高齢者や障害者の安否確認体制の構築など、要支援者の災害対策を一層進めます。				

地域福祉の推進

重層的支援体制整備事業	既存の制度の狭間あるいは複雑化・複合化した課題を抱える市民に支援を届けるため、生きづらさ包括支援事業(重層的支援体制整備事業)を実施します。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
福祉政策課	36,953		36,584		19,791	41,342	24,150	17,192
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
「新たな機能」で取り扱った相談件数(件)	101	294	300	「新たな機能」で状況改善がみられた件数(件)		49	44	45
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
<p>・取組内容</p> 支援会議や重層的支援会議を通じ、引き続き、支援関係者間の顔の見える関係づくりを進め、緊密な連携により各事例への適切な受止めや支援を円滑に行いました。また、地域資源を有効活用し、地域共生社会の実現へ向けた地域づくりを進めました。				<p>・現状</p> 支援関係者間の連携による支援や地域資源の整理・開発・活用は徐々に進展しています。しかしながら、まだ適切な支援の手が届いていない生きづらさを抱える市民は多く見られます。				
<p>・改善した点</p> 各事例に応じて、関係する支援機関等で円滑に連携を取り、適切な支援体制を構築できるようになりました。				<p>・課題</p> 支援関係者間の連携をさらに深めて、より円滑な支援体制の構築を進める必要があります。また、ひきこもり等の生きづらさを抱える市民の支援ニーズを掘り起こし、地域資源の活用等により伴走型支援に取り組む必要があります。				
<p>・評価</p> 支援関係者間の顔の見える関係づくりや円滑な連携、支援体制の構築は進んでいますが、引き続き市民を含めて事業の理解の浸透を図り、支援ニーズの掘り起こしを進める必要があります。また、居場所カフェなど新たな地域資源の開発も進んできました。				<p>・取組内容</p> 引き続き、支援関係者間の関係づくりや連携の円滑化、地域資源の活用に取り組むとともに、ひきこもり支援等の課題にも取り組んでいきます。また、支援ニーズの掘り起こしや地域資源の一層の充足等のため、各事業のより一体的な実施を図ります。				

生活困窮者支援

生活困窮者自立支援事業	生活困窮者を対象に、自立に向けた包括的・継続的な支援を行います。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
社会福祉課	46,506		46,172		5,278	47,225	28,791	18,434
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
自立支援相談件数(件)	169	213	191	プラン作成件数(件)		9	18	14
住居確保給付金支給件数(件)	4	8	6					
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
<p>・取組内容</p> 関係機関と連携を図りながら、自立に向けた継続的な支援を行いました。				<p>・現状</p> 支援が必要な方の状況を把握し、それぞれの課題を分析して、自立に必要な支援を行っています。				
<p>・改善した点</p> 生活困窮者の状況が様々であるため、個々の状況を把握したうえで、その状況に応じた支援を行いました。				<p>・課題</p> 高齢者や精神的な疾病や障害をもつ方の相談が増え、支援の長期化や複雑さなどが課題となっています。				
<p>・評価</p> 自立に向けた包括的・継続的な支援を行い、生活困窮者の更なる把握及び解決に努めました。				<p>・取組内容</p> 関係機関と連携を図りながら、生活困窮者の深刻化を予防すると共に、それぞれが抱える課題を乗り越え、自立に向けた継続的な支援を行います。				

生活困窮者支援								
生活保護法等に基づく扶助事業		生活保護受給者に各種扶助（生活・教育・住宅・医療・介護・出産・生業・葬祭）を適正に実施します。また、就労支援を始めとする自立支援プログラムの充実やハローワークとの連携により、保護受給者の経済的自立の支援を図ります。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
社会福祉課	3,511,988		3,417,134		155,764	3,511,988	2,688,824	823,164
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
生活保護受給者数(人)	1,905	1,865	1,900	保護率(%)		0.89	0.86	0.88
自立支援プログラム相談回数(被保護者就労支援事業分)(回)	170	94	97	自立支援プログラム利用後、就労に至った人数(人)		4	0	2
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 早期に適切な就労支援を行うことにより、自立の可能性が見込める方は、ハローワークと提携し就労支援プラン策定等の支援を行いました。また就労するにあたりサポートが必要な方には就労支援プログラムの活用を通して、保護受給者の経済的自立の支援を図りました。				・現状 就労支援については、月2回のハローワーク提携事業と週2回の就労支援プログラムを実施しています。				
・改善した点 受給者とのコミュニケーションを通じて信頼関係を構築し、自立や就労への意欲を高めました。				・課題 就労阻害要因の見当たらない稼働年齢層にあたる者について、就労支援にいかにつなげるかが課題となっています。				
・評価 雇用や自立に至らなかった方への相談後のケアについても、カウンセリングを中心に生活リズムの確率や心身の健康の安定を図りつつ就労相談を継続して実施しました。				・取組内容 援助方針に沿ったケースワークを通して受給者の経済的自立の支援を行い、就労支援につなげることができないか検討していきます。				

生活困窮者支援								
被保護者健康管理支援事業		生活保護法に基づき、生活保護受給者へ経済的自立のみならず、医療と生活の両面から支援を行います。被保護者の生活習慣病等の予防や重症化を予防するため、レセプトデータを活用し、分析、健康課題を整理し、翌年度は、作成した資料を基に、個別支援計画を策定し、対象者への保健指導、生活支援を個別に実施します。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
社会福祉課	0		0		660	1,760	1,320	440
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
健診受診勧奨(人)	1,451	1,378	1,420	検診受診者数(人)		116	130	134
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 令和6年度の検診未受診者に対する受診勧奨を行いました。糖尿病性腎症重症化予防対象者から一部を選出し、保健師、管理栄養士、歯科衛生士による個別支援を実施しました。				・現状 健康状態が確認できた被保護者に対して、保健師とケースワーカーが協力して、継続的に生活習慣病の改善を行っています。				
・改善した点 対象者全体に対する受診勧奨のほか、個別ケースに対する支援を実施しました。				・課題 長期的な支援が必要となっています。				
・評価 個別ケースへのアプローチを積極的に行いました。口腔環境の改善による血糖コントロール支援として、歯科衛生士の訪問が有効でした。				・取組内容 対象者に対して受診勧奨のチラシを送付するほか、分析データからハイリスクと思われる40～60歳の被保護者に対し検診予診票を送付することを予定しています。令和7年度に引き続き、糖尿病性腎症重症化予防指導者、受診中断者に対する訪問指導を行います。				

生活困窮者支援								
低所得世帯省エネエアコン購入支援事業		エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けている、稼働するエアコンが1台もない低所得世帯及び生活保護世帯に対し、省エネエアコンの購入費用等に助成金を交付し、熱中症等の事故を未然に防ぐこと及び高騰している電気料金の負担軽減等生活支援を目的とします。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
社会福祉課	375		765		1,980	800	0	800
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
				支給件数(件)		8	17	8
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 低所得世帯等に対し、省エネエアコンの購入費用等に助成金を交付し、熱中症等の予防に取り組みました。				・現状 昨年度に引き続き、低所得世帯等に対し、省エネエアコンの購入費用等に助成金を交付し、熱中症等の予防に取り組みます。				
・改善した点 今年度は特に改善した点はありませんでしたが、今後も必要に応じた見直しを行います。				・課題 支給決定したものの、自己負担が多くてエアコンを購入していない世帯があります。				
・評価 当初予算上10件を想定していましたが、17件に支給し熱中症等の予防に取り組みました。				・取組内容 熱中症の事故を未然に防ぐ観点から、自己負担が多くて購入を断念せざるを得ないということがないように助成額を45,000円から100,000円に増額をします。				

主管部局 総合政策部 施策の目的 すべての市民が国籍や性別などにかかわらず、互いの人権を尊重し合える社会をつくる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R5実績	R6実績	R7実績	単位	目指す方向
国籍や性別等にかかわらず平等に扱われていると思う市民の割合	「平等感」における「平等である」の割合（まちづくり達成度アンケート）	85.5	84.6	88.4	%	
外国人の人口	住民基本台帳人口	3,778	4,225	4,696	人	

令和7年度の取組と改善点・評価	令和8年度の現状・課題・取組
<p>・取組内容 人権フェスティバルを開催し、人権について多くの市民に啓発を行うことができました。男女共同参画や多様性の理解、多文化共生の推進を図るため、講座や講演会等の取組を実施するとともに、女性の生き方相談や国際理解サポートセンターの相談窓口では、多様な相談に対して寄り添った対応を行いました。戦後80年を迎えた平和施策として「原爆の図」の展示等により平和への思いをつなぐ取組を行いました。</p> <p>・改善した点 男女共同参画のより一層の推進のため第5次男女共同参画プランの目標等を庁内に浸透させ、全庁的に目標達成へ取り組めるよう推進をしました。平和ややさしい日本語、SDGsのポスター展は、多くの方に見ていただけるよう同時に展示を行うとともに、複数会場で開催しました。</p> <p>・評価 人権フェスティバルでは多くの方に来場いただき、来場者のアンケート回答では関心が深まったとの回答が多くを占め、効果的な普及啓発となりました。男女共同参画や多様性への理解を深める講座、多文化共生社会の理解を深める世界の料理教室等の参加者からも多くの好意的な意見をいただきました。</p>	<p>・現状 子育て世代をはじめ、年少人口、在住外国人が増加しています。こうした中、多様性を尊重し合う機運をさらに醸成するため、啓発活動を継続していく必要があります。在住外国人や女性の不安や悩みに寄り添う相談窓口をNPO法人と連携して取り組む必要があります。若い世代に平和の大切さや思いをつなぐため、平和大使事業や平和ポスター展等を継続して取り組む必要があります。</p> <p>・課題 男女共同参画の推進のため、市の審議会等の女性委員の登用率向上を全庁的に図るとともに、多様性への理解や多文化共生の周知啓発を引き続き行っていく必要があります。戦後80年という節目を過ぎた中でも平和への思いを継続させるため、平和について学び、考えられる機会の創出を引き続き行っていく必要があります。</p> <p>・取組内容 男女共同参画の講演会の回数を増やし普及啓発を強化するとともに、市の審議会等の委員の改選に際しては、各担当課に女性委員の登用率向上に向けたアプローチを行います。引き続き男女共同参画や多様性への理解、多文化共生について講座やポスター展を開催し周知啓発を図ります。平和大使の広島派遣では定員を拡大し、より多くのこどもたちが平和について学び、考える機会を創出します。</p>

人権尊重・男女共同参画の社会づくり

人権啓発活動活性化事業	法務省の人権啓発活動活性化事業の一環として、松戸人権擁護委員協議会流山部会と連携しながら、人権に関する講演会等のイベントを開催します。また、小学生を対象とした「人権教室」及び「人権の花運動」を通じて人権思想の普及啓発を図ります。						
担当課	R7当初予算	R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
秘書広報課	853	400		13,194	0	0	0
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標	R6実績	R7実績	R8目標
各種啓発イベントや講演会等の実施回数(回)	-	3	-	人権フェスティバルの参加人数(人)	-	498	-
				人権フェスティバル来場者アンケートで人権への関心が深まったと回答した割合(%)	-	92.7	-
令和7年度の取組と改善点・評価	令和8年度の現状・課題・取組						
<p>・取組内容 人権擁護委員と協力し、6月と7月に市内小学校2校に人権教室及び人権の花運動を実施し、12月の人権週間に入権フェスティバルを開催しました。</p> <p>・改善した点 12月に開催した人権フェスティバルでは、多くの来場者が期待できる企画を人権擁護委員と協力し計画しました。</p> <p>・評価 6月と7月に小学生を対象とした「人権教室」及び「人権の花運動」を実施し、12月に開催した「人権フェスティバル」では、約500名の方に来場いただき、多くの方へ人権啓発をすることができました。</p>	<p>・現状 令和8年度は、本事業の実施予定はありません。(県の補助金事業で松戸市と流山市で隔年実施)</p> <p>・課題 令和8年度は、本事業の実施予定はありません。(県の補助金事業で松戸市と流山市で隔年実施)</p> <p>・取組内容 令和8年度は、本事業の実施予定はありません。(県の補助金事業で松戸市と流山市で隔年実施)</p>						

人権尊重・男女共同参画の社会づくり

男女共同参画社会づくり事業	第5次男女共同参画プランに基づき、市民及び職員等の男女共同参画意識の向上を図るための各種講座を実施するとともに、様々な悩みを抱える女性を対象に自らの力で問題を解決できるよう相談業務を実施します。						
担当課	R7当初予算	R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
企画政策課	3,930	3,705		6,597	3,951	0	3,951
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標	R6実績	R7実績	R8目標
男女共同参画啓発講座の実施回数(回)	20	14	9	「男は仕事、女は家事育児」という固定的な見方をしている市民の割合(%)	8.5	8.5	8.3
				審議会等(附属機関及び要綱、要領等による協議会等)への女性の登用率(%)	37.21	35.87	50.00
令和7年度の取組と改善点・評価	令和8年度の現状・課題・取組						
<p>・取組内容 第5次男女共同参画プランに基づき、市民、市内事業所及び市職員に向けて、男女共同参画の推進及び多様性を理解するための普及啓発を行いました。また、審議会等委員の女性委員割合の向上に向けて、改選予定の審議会の担当課に女性委員の登用を働きかけました。</p> <p>・改善した点 第5次男女共同参画プランの目標及び成果指標を全庁で共有し、目標達成に向けて各担当課が着実に事業内容に取り組めました。また、男女共同参画の推進及び多様性への理解を深めるための取組を実施しました。</p> <p>・評価 第5次男女共同参画プランの推進状況を測る成果指標とは別に、各事業内容の達成状況を測るための活動指標を設定しました。また、男女共同参画推進及び多様性への理解を深めるための啓発講座等では参加者から高い満足度が得られました。</p>	<p>・現状 市の審議会等への女性委員の登用率は30%代後半の数値が続いています。また、「男は仕事、女は家事育児」という性別に基づく固定的な役割分担意識は低い数値ではあるものの横ばいとなっています。</p> <p>・課題 市の審議会等への女性委員の登用率の向上に向けて、全庁的に目標を共有し、取り組んでいく必要があります。また、性別役割分担意識解消のために、男女共同参画に関する周知啓発を引き続き行っていく必要があります。</p> <p>・取組内容 改選予定の審議会等の担当課に対し、女性委員の比率向上の具体的な方策を検討する機会を設け、改選後は結果を検討します。また、例年、年1回開催している幅広い層を対象とした講演会を2回実施し普及啓発に努めます。</p>						

多文化共生社会づくり

多文化共生推進事業	多文化共生社会の実現を目指し、在住外国人が安心して暮らせるように相談窓口を設置するとともに、多文化共生意識の醸成を図るための講座を実施します。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
企画政策課	1,687		1,653		3,299	0	0	0
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
国際理解サポートセンターへの相談件数(件)	78	79	85	国籍や性別等にかかわらず平等に扱われていると思う市民の割合(%)		84.6	88.4	90.0
国際交流に関する啓発イベントや講座の実施回数(回)	4	4	4					
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 在住外国人に寄り添った相談を行うことができるよう、流山市国際理解サポートセンター運営業務の受託者である流山市国際交流協会と連携しました。外国の生活や文化を理解し、身近に感じることができる講座を実施したほか、「やさしい日本語」の普及を促進する取組を継続しました。				・現状 令和8年4月1日現在、在住外国人は4,696人で、人口の約2.1%を占めており、在住外国人が増加傾向にあります。流山市国際理解サポートセンターへの相談件数も、増加傾向にあります。				
・改善した点 「やさしい日本語」の普及をさらに促進するため、やさしい日本語ポスター展を複数箇所(おおたかの森センター及び森の図書館)で実施したほか、「やさしい日本語講座」では、災害時に外国人が直面する課題と支援者に求められる役割などをテーマとした講話などを実施しました。				・課題 市民が外国人住民に親しみをもち、多文化共生を意識できる取組を実施する必要があります。市が情報を発信する際に使用してほしい言語として、「やさしい日本語」を選ぶ在住外国人も多いことから、引き続き「やさしい日本語」の普及を促進する必要があります。				
・評価 国際理解サポートセンターでは、生活関連や公的手続などの様々な相談に対し、寄り添った対応を行いました。共理解促進講座として、世界の料理教室(韓国編)を実施し、参加者からは「楽しく文化を知る機会になった。」などの好意的な声をいただきました。				・取組内容 在住外国人に寄り添った相談ができるよう、流山市国際理解サポートセンター運営業務の受託者である流山市国際交流協会と連携します。外国の生活や文化を理解し、身近に感じることができる講座を実施するほか、「やさしい日本語」の普及を促進する取組を実施します。				

平和施策の推進

平和施策事業	平和都市宣言に基づき、次世代に平和への想いを繋ぐための活動として、平和大使事業、平和ポスター展、ユニセフ平和教室、千羽鶴の募集などの事業を実施します。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
企画政策課	2,326		2,108		3,299	3,498	3,109	389
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
平和ポスター展及びユニセフ平和教室の実施回数(回)	4	4	5	平和施策に関するホームページの閲覧数(回)		939	2,830	3,000
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 次世代に平和への思いをつなぐため、平和都市宣言に基づき平和大使の広島派遣事業、ユニセフ平和教室等を実施しました。併せて、戦後80年事業として、流山市役所での平和ポスター展は埼玉県東松山市の丸木美術館から原爆の図の複製画を借用し、昨年度より規模を拡大して実施しました。				・現状 若い世代に平和の大切さや思いをつなぐため、平和大使事業や平和ポスター展、ユニセフ平和教室、千羽鶴の募集などに継続的に取り組む必要があります。				
・改善した点 夏に開催した平和ポスター展では規模を拡大し、丸木美術館から「原爆の図」の複製画(第一部～第三部)を借用し、展示を行ったほか、冬の平和ポスター展の会場を増やし、おおたかの森センターと森の図書館で平和ポスター展を実施しました。ウクライナ情勢においては、武力衝突が長期化していることを受け、避難民への支援を継続しています。				・課題 戦後80年という節目を過ぎ、改めて平和の大切さについて考え、広める機会の確保が必要です。また、ウクライナ情勢において、武力衝突が長期化する中で、市としてできる平和への取り組みについて引き続き検討を要します。				
・評価 平和大使の広島派遣に参加した児童からは、「今まで保ってきた平和を守るために、自分が学んだことを家族や友達に伝え、平和の大切さを語り継いでいきたい」という意見や、「世界では戦争をしている地域があり、当時の日本と同じ状況が現在でも起こっていることに危機感を感じた」などの意見がありました。				・取組内容 本年度は、より多くの子どもたちが平和について学び、考える機会を得られるよう、平和大使の広島派遣事業の定員を48人に広げます。また、平和学習への講師派遣などを通じ、さらに多くの子どもたちが平和について考える機会を得られるよう取り組んでいきます。				

主管部局 子ども未来部 施策の目的 すべての子どもが健やかに育ち、地域全体で子育てできるまちをつくる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R5実績	R6実績	R7実績	単位	目指す方向
18歳未満の人口	住民基本台帳人口（市民課）各年4月1日	39,388	39,947	40,203	人	
合計特殊出生率	15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が一生の間に生む平均子ども数を推計したもので（千葉県健康福祉部）値はR4、R5、R6のもの	1.50（ ）	1.46（ ）	1.42（ ）		
流山市は子育てがしやすいまちだと思う市民の割合	「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	66.4	66.8	62.6	%	

令和7年度の取組と改善点・評価	令和8年度の現状・課題・取組
<p>・取組内容 令和7年度から令和11年度までの5年間を計画期間とした「流山市子ども計画」に基づき、すべての子ども、若者の育ちや子育てを地域で支え、子どもの権利を保障するための取り組みを進め、子どもにやさしいまちづくりの実現を目指し、各子ども・子育て施策を総合的かつ計画的に推進しました。</p> <p>・改善した点 切れ目ない支援の実現に向け関係機関との必要な調整を行うとともに、市民や関係機関に周知を図りました。</p> <p>・評価 児童福祉と母子保健の機能を併せ持ち、子ども、妊産婦、子育て世帯の健康保持・増進や福祉に関する包括的な支援を切れ目なく提供するとともに、子育ての不安や虐待、DV、ひとり親家庭、困難な問題を抱える女性などに関わる相談や、専門的技術に基づいて必要な支援を行うことも家庭センターの設置に向け、準備を進めることができました。</p>	<p>・現状 全ての子どもたちが希望に満ちた未来を描けるよう、健やかな成長を支えるとともに、子どものための施策をより一層推進していくため、新たに設置した子ども家庭センターをはじめとする各部署が連携し、全ての妊産婦、子育て世帯、子どもに対し切れ目ない支援を行っていきま</p> <p>・課題 子どもの権利条約や日本国憲法、子ども基本法で子どもの権利保障が定められていますが、子どもが生活する身近な場所に子どもを直接支える仕組みがないと実現が難しいことから、流山市の状況に即し、かつ子どもが権利の主体として自分らしく生きるための実効性のある仕組みが必要です。</p> <p>・取組内容 子どもが自分らしく豊かに育つことができ、子どもが権利の主体となれる仕組みを構築できるよう、「（仮称）流山市子どもの権利条例」の制定に向けた取り組みを進めます。また、子育て支援拠点を新たに2か所増やし、地域における子育て支援の更なる充実を図ります。</p>

子どもを産み育てやすい環境づくり

地域子育て支援拠点事業	市内の地域子育て支援拠点事業を運営する社会福祉法人等に対し、運営費を補助します。令和7年度は、市内1箇所（南部地域）で地域子育て支援拠点を新設しました。								
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費（目安）		R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
子ども未来課	158,465		128,441		2,639		196,869	134,904	61,965
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標（予定）	主な成果指標			R6実績	R7実績	R8目標
地域子育て支援センターの施設数（箇所）	13	14	16	職員に気兼ねなく相談ができ、子育てに必要なサポート体制があると回答した割合（%）			79.9	85.5	85.0
地域子育て支援センターの利用者数（人）	41,722	54,194	55,000						
令和7年度の取組と改善点・評価	令和8年度の現状・課題・取組								
<p>・取組内容 地域子育て支援拠点における事業の実施状況を確認する際の指導項目について、検討を進めました。</p> <p>・改善した点 地域子育て支援拠点の運営内容等について、適切に指導できる体制を整備するため、指導監査の実施方法・内容・実施時期等について、具体的に検討を進めました。</p> <p>・評価 地域子育て支援拠点における事業の実施状況を確認する際の指導項目について、他自治体の監査項目を参考に、調査を進めました。</p>	<p>・現状 令和8年度についても、引き続き市内の地域子育て支援拠点事業を運営する社会福祉法人等に対し、運営費を補助します。また必要とされる地域において、地域子育て支援拠点を1箇所新設します。</p> <p>・課題 地域子育て支援拠点の運営内容等について、適切に指導できる体制の整備が必要となります。</p> <p>・取組内容 地域子育て支援拠点の実施状況の確認方法等について、実施要綱等の作成を進めます。</p>								

子どもを産み育てやすい環境づくり

ファミリーサポートセンター支援事業	ひとり親家庭等の就労の支援及び育児の負担の軽減を図るために、ファミリー・サポート・センターの援助活動を利用した場合に、その費用の一部を助成します。令和3年度からは、助成対象を未就学児2人以上の多胎児を養育する方にも拡大しています。								
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費（目安）		R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
子ども未来課	19,951		24,670		1,980		20,224	13,482	6,742
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標（予定）	主な成果指標			R6実績	R7実績	R8目標
ファミリー・サポート・センターの利用実績（件）	7,939	8,398	9,300	ファミリー・サポート・センターのマッチング件数（件）			269	259	360
ファミリー・サポート・センターの登録者数（人）	2,473	2,511	2,700						
令和7年度の取組と改善点・評価	令和8年度の現状・課題・取組								
<p>・取組内容 引き続き、申請漏れがないよう、請求期限の周知を徹底しました。</p> <p>・改善した点 利用助成の請求については、利用後1年以内の請求とされていることから、利用者の請求漏れが発生する可能性があるため、窓口での口頭説明だけでなく、再提出が必要な方への文書での周知を徹底しました。</p> <p>・評価 窓口及びホームページにて周知したことで、利用者の申請漏れを防ぐことができました。</p>	<p>・現状 令和8年度も、ひとり親家庭及び3人以上の多子養育者、未就学児2人以上の多胎児を養育する方を対象に、育児の負担の軽減を図るため、ファミリー・サポートセンターを利用した場合、その利用料の半額を助成します。</p> <p>・課題 利用助成の請求については、利用後1年以内の請求とされていることから、利用者の請求漏れが発生する可能性があります。</p> <p>・取組内容 引き続き、申請漏れがないよう、請求期限の周知を徹底します。</p>								

子どもを産み育てやすい環境づくり

育児支援等サービス事業	親族等から産前産後のサポートが受けられない妊産婦を対象に、市が委託する事業者が行う上限12時間分の育児支援や家事支援を自己負担なしで提供することにより、妊産婦の心身の負担の軽減を図るとともに、安心して出産及び育児ができる環境を確保します。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
健康増進課	6,873		6,639		13,194	0	0	0
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
申請者数(人)	350	384	-	この地域で今後も子育てをしていきたい者の割合(%)		96.76	96.33	-
延べ利用時間(時間)	2,159	2,008	-					
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 本事業のイメージが持てるよう、ホームページの掲載内容を工夫するとともに、利用までの手続きが困難な場合には、事業者への連絡調整を一緒に行う等、利用者の不安や負担を軽減させ、利用につながる支援を行いました。				・現状 令和8年度からは、妊娠・出産・子育てサポート事業に移管します。				
・改善した点 申請をした妊産婦のうち、サービスを利用する事に対する不安や産後の忙しさ等から利用に至らない場合があるため、本事業についての具体的なイメージが持てるような案内や周知の工夫を行いました。				・課題 令和8年度からは、妊娠・出産・子育てサポート事業に移管します。				
・評価 本事業の内容をイメージできるよう、ホームページの掲載内容を工夫することで、利用につなげることができました。また、委託事業者と研修会をオンラインで行い、本事業の共通理解をより情報交換を行うことで、連携強化を図ることができました。				・取組内容 令和8年度からは、妊娠・出産・子育てサポート事業に移管します。				

子どもを産み育てやすい環境づくり

子ども計画推進事業	「すべての子ども・若者の育ちや子育てを地域全体で支え、子どもの権利を保障するための取組を進め子どもにやさしいまちづくり」の実現を目指し、流山市子ども計画を推進します。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
子ども未来課	6,190		3,989		26,388	9,624	4,400	5,224
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
子どもワークショップの開催数(回)	1	1	1	子ども会議の参加者数(人)		-	16	20
子ども会議の開催数(回)	-	5	5	若者まちづくり事業への参加者数(人)		-	20	20
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 令和7年度は、高校生・大学生から施策提言をいただき、「若者まちづくり事業」を新たに始めました。				・現状 「(仮称)流山市子どもの権利条例」の制定に向けた取り組みを行います。				
・改善した点 子ども・若者から提案のあった意見等について、子ども施策への反映方法を検討しました。				・課題 子どもや保護者、事業者からもさらに意見を聴取する必要があります。				
・評価 「若者まちづくり事業」をはじめ、小・中学生を中心とした「子ども会議」を実施しました。子どもの意見聞き、庁内他部署と連携し、事業に反映させることができました。				・取組内容 「若者まちづくり事業」や「子ども会議」をはじめ、条例制定に向けて学校、児童館、学童クラブなどで子どもや保護者等から意見を聴取していきます。				

子どもを産み育てやすい環境づくり

私立幼稚園子育てのための施設等利用給付事業	令和元年10月からの幼児教育・保育の無償化による給付費を支給する他、要配慮児童の受入れ促進を図るため補助金を交付します。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
保育課	807,517		831,658		13,194	758,580	504,874	253,706
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
私立幼稚園等要配慮児童受入支援補助金申請施設数(か所)	-	11	15					
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 要配慮児童の受入れ促進を図るため、既存の補助制度の見直しを図りました。				・現状 国の制度改正により、10月から無償化の給付上限額が拡充する予定です。				
・改善した点 要配慮児童一人当たり年額5万円の補助金を見直し、月額5万円又は7万5千円に大幅に拡充しました。				・課題 国の動向を注視し制度改正があった場合は、速やかに対応する必要があります。				
・評価 私立幼稚園等からの申請書を審査し、適正に補助金を交付しました。				・取組内容 制度改正について、広報やホームページへ掲載する他、幼稚園を通じて周知を図ります。				

子どもを産み育てやすい環境づくり

妊娠・出産・子育てサポート事業	こども家庭センターとして、妊娠・出産・子育てまで切れ目のない支援を実施します。母子健康手帳交付時の妊婦面談で把握した情報をもとに作成した支援プランにより、安心して出産・育児が行えるよう、妊娠早期から不安や困り事についての相談に応じ、支援を行います。各種事業を実施することで、子育ての負担感や孤立感からくる不安の解消を図ります。								
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源	
こども家庭センター	226,589		207,511		19,791	46,760	27,033	19,727	
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標			R6実績	R7実績	R8目標
母子健康手帳交付面談実施率(%)	100	100	100	この地域で今後も子育てをしていきたい者の割合(%)			96.76	96.33	97.00
				育てにくさを感じた時に対処できる親の割合(%)			80.73	78.25	80.00
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組					
・取組内容 産後ケア事業では利用料の一部減額を実施する等の支援の強化を図りました。また、産後ケア実施施設や新規開院の産院・助産院等に本事業の説明を行い、事業者の確保に努めました。妊産婦に対しては、各種の社会資源を案内・提供するために、情報の収集及び把握に努め、関係機関と連携し、個々の状況に応じた支援を行いました。				・現状 妊産婦や子育て家庭が支援を要する要因は、様々であることから、母子健康手帳交付面談や電話相談などで個々の状況を把握し、必要な支援を行っています。今年度からこども家庭センターで事業を行い、妊産婦と子育て家庭に対し訪問や相談事業等を通して支援を行います。					
・改善した点 子育ての負担感や孤立感からくる不安の解消を図るため、妊産婦の個々の状況に応じた社会的資源の提供や支援を行いました。また、産後ケアでは利用者の受け皿となる事業者の確保に努めました。				・課題 妊産婦や子育て家庭の負担感や孤立感からくる不安の解消を図るため、引き続き個々の状況に応じた支援を行う必要があります。また、産後ケア事業の対象者を拡充することから、引き続き、利用者の受け皿となる事業者の確保に努める必要があります。					
・評価 産後ケア事業では、利用料の一部減額を実施することで経済的負担を軽減することができました。また、産後ケア実施施設等への働きかけにより、事業者を増加することができました。妊産婦に対しては、関係機関と連携することで、必要な支援を行うことができました。				・取組内容 産後ケア事業では、対象者を産後ケアを必要とする方に拡充し、利用希望者が利用しやすくなるよう支援の強化を図ります。今年度から、こども家庭センターで事業を実施するため、妊産婦だけでなく子育て家庭も対象として、児童福祉部門と連携し、引き続き個々の状況に応じた支援を行います。					

子どもを産み育てやすい環境づくり

乳児等通園支援事業	全てのこどもの育ちを応援し、こどもの良質な成育環境を整備するとともに、全ての子育て家庭に対して、保護者の多様な働き方やライフスタイルにかかわらず形での支援を強化するための事業。								
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源	
保育課	0		0		9,896	14,337	13,760	577	
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標			R6実績	R7実績	R8目標
新規認可事業所(か所)	-	-	11						
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組					
・取組内容 令和7年度は事業の実施がありませんでした。				・現状 本事業については、認可保育所8施設、小規模保育事業所2施設、幼稚園1施設を認可しています。					
・改善した点 令和7年度は事業の実施がありませんでした。				・課題 流山市子ども計画の中間見直しに併せて、量の見込みと確保方策を検討する必要があります。					
・評価 令和7年度は事業の実施がありませんでした。				・取組内容 公立保育所での事業の実施や、新たな事業所の認可・確認等により実施施設の拡充に努めます。					

保育サービスの充実

送迎保育ステーション事業	流山おおたかの森駅前と南流山駅前の2か所の送迎保育ステーションから市内全域の保育所へ児童を送迎し、待機児童の解消及び児童の送迎に係る保護者の負担軽減を図ります。								
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源	
保育課	98,525		98,515		3,299	94,058	47,551	46,507	
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標			R6実績	R7実績	R8目標
送迎保育ステーションの設置数(か所)	2	2	2	延べ利用数(人)			16,290	14,935	14,935
送迎バスの台数(台)	7	7	6	待機児童数(翌年度4月1日時点)(人)			0	0	0
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組					
・取組内容 昨年と同様に市内2か所の送迎保育ステーションを起点とし、バス7台で市内全域の保育所へ児童を送迎しました。				・現状 保育施設の整備が進んだことにより利用者数は減少傾向にあり、待機児童もゼロを維持しているものの、本事業がなければ保育所に通所できなかった児童は存在しているため、引き続き事業の継続は必要です。					
・改善した点 利用者の推移に伴う、適正なバス台数の検討を行いました。				・課題 安全・安心な移送の確保と保護者の送迎における負担を軽減を図ることを最重要の課題としつつ、利用者の推移に伴い、適切な事業規模の見直しについて検討が必要となっています。					
・評価 本事業の実施により、保育需要に対応するとともに、保護者の送迎に関する負担軽減に寄与することができました。				・取組内容 市内2か所の送迎保育ステーションを起点とし、市内全域の保育所へ児童を送迎するとともに、効率的な事業運営について研究します。					

保育サービスの充実

病児保育事業		保育所等に通所中の児童が、病氣中・病氣回復期において集団保育が困難な期間に、当該児童の一時的な預かりを行います。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
保育課	69,247		69,149		3,299	73,600	31,320	42,280
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
病児及び病後児保育実施園数(園)	3	3	3	利用者数(年度ごと延人数)(人)		613	631	650
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 ホームページ、SNS、紙媒体など、それぞれの特性に応じた効果的な周知方法を研究しました。				・現状 新型コロナウイルス感染症が終息したこと、制度の周知を図ったことにより、急な病氣への備えとして事業に対する関心が高まっています。				
・改善した点 利用者は増加傾向にあるが、令和5年度のアンケートの際は、約20%の方が制度そのものを認知していない状況であったことからより一層の制度周知を行いました。				・課題 こどもの体調や世帯の状況により需要が変動し、量の見込みを立てることが難しい事業であることから、感染症流行期を中心としつつも、一年を通じての需要について研究する必要があります。				
・評価 制度の周知により、前年度と比較して利用者が約3%増加しました。				・取組内容 感染症の流行しやすい時期を中心としつつ、一年を通じての需要について研究します。				

保育サービスの充実

保育所改修事業		公立保育所5か所の改修等整備を行い、入所児童や職員が安心・安全かつ快適に保育できるようします。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
保育課	10,692		5,165		1,320	10,692	0	10,692
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
改修等整備箇所数(か所)	2	1	2	公立保育所利用者数(4月1日)(人)		548	510	540
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 児童が安全安心な環境下で保育を受けられるよう環境整備をしました。				・現状 築年数が50年近く経過しています。				
・改善した点 児童用の椅子を更新しました。				・課題 児童が安全な環境下で安心して保育を受けられる環境を整備する必要があります。				
・評価 保育に支障がないよう老朽化した椅子の入れ替え作業を行いました。				・取組内容 老朽化し、ささくれ等が目立つ保育室の児童用のロッカー等を改修します。				

保育サービスの充実

私立保育所等運営補助事業		保育士の確保や保育の質の向上を図るため、保育所等を設置運営する社会福祉法人等に対し補助金を交付します。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
保育課	2,920,439		2,746,981		19,791	3,460,276	863,085	2,597,191
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
補助施設数(件)	98	98	101	待機児童数(翌年度4月1日時点)(人)		0	0	0
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 保育士の確保や保育の質の向上を図るため、適正に補助金を交付しました。				・現状 保育士の確保や保育の質の向上を図るため、国庫補助等を有効に活用し補助金を交付します。				
・改善した点 看護師等の配置の促進を図るため、病児保育事業(体調不良児型)を新たに開始しました。				・課題 国や県の動向を注視しながら適宜補助事業の見直しを行い、適正な補助金の支給に努める必要があります。				
・評価 私立保育所等からの申請書を審査し、適正に補助金を交付しました。				・取組内容 各補助事業について、必要性や有効性の精査を行う他、適正な補助事務を行います。				

保育サービスの充実

私立保育所整備補助事業		保育所の受入児童数の増加等を図るため、市内に認可保育施設を整備する事業者に対して費用の一部を補助します。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
保育課	437,842		161,645		13,194	735,932	503,990	231,942
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
整備箇所数(か所)	-	1	3	待機児童数(翌年度4月1日時点(人))		0	0	0
整備により増加した定員数(人)	-	60	210					
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 市内各地域での保育需要に応じた保育施設の整備を検討する他、老朽化した私立保育所の改修に対する補助を行いました。				・現状 北部地域及び東部地域の保育需要が増加しています。				
・改善した点 北部地域の新設園については、令和8年度の開設に向け着工し、また私立保育所2園について改修補助を行いました。				・課題 各地域や年齢別の保育需要の把握に努める必要があります。				
・評価 認可保育施設の整備に係る費用の一部を補助しました。				・取組内容 新たな認可保育施設の整備等、必要な施策を展開します。				

学童クラブの充実

学童保育運営事業		就労等の理由により、放課後家庭内で保育の困難な小学校児童を対象に、放課後の遊びや生活の場を提供し、健全育成を図ります。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
教育総務課	269,219		246,634		17,227	322,240	195,129	127,111
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
研修開催件数(件)	2	2	2	放課後児童支援員へ処遇改善のために支払った額(千円)		67,720	73,402	94,944
				学童クラブの延べ利用人数(人)		44,569	49,618	54,580
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 支援員や補助員に対する研修や処遇改善を通して、学童クラブ運営の質の向上に取り組みました。				・現状 学童クラブの利用者は増加傾向にあり、利用者のニーズも多様化しています。				
・改善した点 研修内容について事前に法人から要望を聞くことにより、効果的な研修を行うことができました。また、支援員等の安定的な確保に資するため、継続して処遇改善を行いました。				・課題 利用者数の増加に伴い、支援員等の安定的な確保が必要であり、継続的な処遇改善に努める必要があります。また、多様なニーズに応えるため、更なる研修の実施が必要です。				
・評価 配慮を要する児童への関わり方についてと、こどもの権利についての研修を実施し、支援員等のスキルアップを図りました。				・取組内容 引き続き、支援員等に対する研修や処遇改善を通して、学童クラブの質の向上に取り組みます。				

学童クラブの充実

学童クラブ施設整備事業		児童数の増加に対応するため、引き続きおおぐろの森小学校区学童クラブの増設工事を行います。また、学童クラブを安心・安全に運営するための施設整備を進めます。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
教育総務課	187,942		83,565		6,597	423,574	365,476	58,098
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
学童クラブの整備後の定員数(人)	3,748	3,748	4,148	待機児童数(3月末)(人)		0	0	0
学童クラブの整備後の施設数(施設)	39	39	39					
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 令和9年度の供用開始に向け、おおぐろの森小学校区学童クラブ増設工事を実施しました。				・現状 おおぐろの森小学校区における児童の増加に対応するため、学童クラブ増設工事が必要です。				
・改善した点 学童クラブの運営に支障がないように、関係機関と調整をとり、おおぐろの森小学校区学童クラブの増設工事を予定どおり実施することができました。				・課題 学校施設の増築整備と同時に行うことから、各機関と調整をとりながら計画的に進めていく必要があります。				
・評価 遅滞なく増設工事を進めることができました。				・取組内容 令和9年度の供用開始に向け、おおぐろの森小学校区学童クラブ増設工事を引き続き実施します。				

養育環境への配慮								
ひとり親家庭等生活向上事業	こどもの貧困の連鎖を防止するため、生活困窮者世帯の中学校1年生から中学3年生のこどもが希望する学習塾へ通えるよう支援します。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
こども家庭センター	76,139		64,346		4,618	79,094	59,320	19,774
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
利用者数(人)	115	147	133	学習の習慣がついたと回答した児童数(%)		61.76	66.67	80.00
協力塾数(件)	70	82	82	希望通りの高校に進学できたと回答した児童数(%)		71.43	83.33	90.00
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 報告書等の簡素化に努めるとともに、積極的に市内学習塾に対し、当該事業への協力を呼び掛けました。				・現状 協力塾との連携を維持し、こども達にとっての利用の機会を広く提供し、事業の活性化を図っていきます。				
・改善した点 利用できるこどもを増やすために、協力塾を増やしました。				・課題 昨今の物価高騰に伴う人件費の上昇により、現行の契約条件での維持困難を訴える事業者がでてきているため、協力塾の維持を図る必要があります。				
・評価 協力塾について、前年度と比較して9事業者を増加し、利用できるこどもにとっての選択肢を拡充しました。				・取組内容 協力塾によりこども達の学習機会が損なわれる恐れがあるため、委託費用の適正化や支援体制の再構築を図っていきます。				

養育環境への配慮								
要保護児童対策事業	要保護児童等の早期発見や適切な保護を図るため、児童相談所、警察、医療機関などの関係機関等との情報共有と連携を強化し、こどもや家庭に迅速・適切なサポートを図ります。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
こども家庭センター	21,268		16,934		131,940	41,459	9,890	31,569
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
安全確認件数(%)	99	99	99	研修アンケートによる参加者の理解度(%)		100	100	100
研修開催回数(回)	3	4	4					
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 こどもや家庭への様々なニーズに即した支援が行えるよう専門職を配置するとともに、研修会等への積極的な参加により、職員の相談支援技術等の向上を図りました。地域でのこどもの見守りや支援が適切に行われるよう、引き続き関係機関との連携強化を進めるとともに、子ども食堂と連携し、地域の見守り体制を強化しました。				・現状 児童虐待通告を含めた相談件数は高止まりの傾向にあり、複雑・困難化した課題を抱える対象者が増加しています。こども家庭センターにて妊娠前から切れ目のない支援を提供することで、児童虐待の予防的な取り組みを強化します。				
・改善した点 増加する児童虐待通告に迅速かつ適切に対応するために、職員の相談支援技術等の向上及び地域でのこどもの見守りや支援が適切に行われるために関係機関との情報共有・連携の強化を図りました。				・課題 児童虐待通告を含めた相談に対して、引き続き迅速かつ適切に対応していくために、職員の相談支援技術等の向上や関係機関との連携を図るとともに、児童虐待の予防に向けた取り組みを強化する必要があります。				
・評価 専門職等の職員を増員し、県等の研修会に積極的に参加するとともに、職員向けにアドバイザーを呼んで助言等を行うなど相談支援技術等の向上を図りました。また、要保護・要支援等の家庭に配慮等を行うこども家庭見守り支援強化事業を子ども食堂ネットワークに業務委託することで、地域の見守り体制を強化しました。				・取組内容 こどもや家庭への様々なニーズに即した支援が行えるよう、引き続き研修会等へ積極的に参加し、職員の相談支援技術等の向上を図ります。また、統括支援員による実務面のマネジメントの強化や、様々な専門職の連携等により、こどもや妊産婦、子育て世帯等に切れ目のない支援を提供します。				

養育環境への配慮								
こどものための養育費確保等支援事業	離婚後の生活や子育てに関する不安を解消するため、養育費等の取り決めに記載した公正証書の作成費用や裁判外紛争手続きに係る費用の助成を行います。令和8年度からは養育費確保等のための弁護士相談を実施します。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
こども家庭センター	240		93		1,980	300	150	150
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
公正証書作成費用の助成件数(件)	-	5	10					
裁判外紛争手続費用の助成件数(件)	-	-	2					
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 窓口や電話等での相談の際に、当該事業について案内するとともに、チラシ等を作成し、周知に努めました。				・現状 市民にとって「ADR(裁判外紛争解決手続)」という用語自体の認知度が低く、制度の利便性や具体的な利用メリットが十分に周知されていないことが考えられます。また、適切な養育費の確保等のためには専門家の助言が必要です。				
・改善した点 事業開始年度であるため、事業の周知を図りました。				・課題 悩みや紛争を抱える潜在的な利用層へ直接アプローチする方法を検討する必要があります。				
・評価 事業初年度としてチラシ作成や窓口や電話での周知活動を展開しましたが、裁判外紛争手続きに係る費用助成については、利用に至りませんでした。				・取組内容 令和8年度から養育費確保等のための弁護士相談を開始します。弁護士会と連携し、法律相談の現場において、裁判外紛争解決手続きの活用が適している相談者に直接、当該事業を紹介してもらう仕組みを構築します。				

青少年の健全育成の促進

青少年相談事業	青少年やその保護者が一人で悩むことがないよう、青少年専門相談員による電話相談及び相談室で行う対面相談を充実します。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
文化芸術・生涯学習課	7,393		7,321		5,278	7,879	0	7,879
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
相談件数(件)	80	88	-					
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
<p>・取組内容 前年度に引き続き、スキットメールを活用し保護者に直接情報提供を行うことで、相談室の周知に努めました。また、県や関連機関が開催する研修会へ積極的に参加しました。</p>				<p>・現状 平日、月曜日から金曜日の午前9時30分から午後4時30分まで相談室を開設し、これに加え年間6回午前9時から午後18時30分まで特別相談窓口を開設しています。</p>				
<p>・改善した点 より多くの市民に利用していただけるよう、引き続き相談しやすい雰囲気づくりと周知に努めました。また、相談内容に応じて、適切な相談窓口への案内ができるよう、関係機関との連携を図りました。</p>				<p>・課題 より多くの市民に利用していただけるよう、引き続き相談しやすい雰囲気づくりと周知の必要があります。また、多様化する相談内容を理解し受け止める対応力が求められます。</p>				
<p>・評価 相談窓口を広く周知することで、昨年度より多くの相談機会を提供することができました。</p>				<p>・取組内容 引き続き、県や関連機関が開催する研修会へ積極的に参加し、きめ細やかな対応に努めます。また、広報ながれやま、市ホームページに加え、相談室だよりなどを積極的に活用し、通常の相談や特別相談窓口の周知に努めます。</p>				

主管部局 学校教育部 施策の目的 学びに向かう力と自立する子どもを育む



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R5実績	R6実績	R7実績	単位	目指す方向
全国学力・学習状況調査平均正答率（目指す方向：全国平均、県平均を上回る）	全国学力・学習状況調査（文部科学省） 小学校、中学校	68.0 60.3	69.0 59.0	66.5 56.0	%	
児童・生徒数	学校基本調査（文部科学省） 児童、生徒 5月1日時点	13,512 5,121	13,909 5,285	14,245 5,423	人	
いじめの認知件数	いじめの教師認知件数調査（市） 小学校、中学校	4,427 407	4,381 353	4,199 328	件	

令和7年度の取組と改善点・評価	令和8年度の現状・課題・取組
<p>・取組内容 いじめ事案が重大化・深刻化・長期化しないよう、学校を支援し、また学校だけでは解決が困難な事案への対応に当たっては、生徒指導アドバイザーやスクールソーシャルワーカー等の専門性の高い人材を活用するとともに、関係機関と連携して取り組みました。若手教員を対象とする教師力アップ講座等研修や指導主事の学校訪問を通して、市内小中学校の授業改善に取り組みました。</p> <p>・改善した点 いじめは初期対応が何よりも重要であるため、学校現場においていじめの未然防止と早期発見、また、いじめを認知した際の対応が適切に行われるよう、教職員のいじめ対応に係る理解を深めるため、研修等を実施しました。全国学力・学習状況調査について、無回答率が高い解答があったことから、普段の授業の中で自分の考えや意見をもって学習するよう授業改善に取り組みました。</p> <p>・評価 いじめは早期発見・早期対応が肝要であることから、あらゆる予兆からいじめの根源を掘り取り、認知を行うとともに、被害児童生徒と保護者に寄り添った対応を心掛け、解消に努めました。</p>	<p>・現状 児童生徒数が横ばい傾向の中、認知したいじめが重大化、深刻化、長期化しないように、初期対応を適切に行うことが引き続き求められています。</p> <p>・課題 いじめは初期対応が最も重要であるため、学校現場において、適切な初期対応に一層努めるとともに、いじめを認知した際の対応が適切に行われるよう、教職員の生徒指導力の向上を図っていく必要があります。</p> <p>・取組内容 いじめ事案が重大化、長期化しないよう、学校を支援していきます。また、学校だけでは解決が困難な事案への対応に当たっては、生徒指導アドバイザーやスクールソーシャルワーカー等の専門性の高い人材の知見を活かし、関係機関と連携しながら解決に向け取り組んでいきます。</p>

確かな学力の育成

<p>小学校教育指導運営事業</p> <p>児童の読書活動推進のため、学校図書館の充実を努めます。また、学校図書館を運営していくために必要な専門性や技術を備えた学校図書館司書を配置します。探究的な学習を進めるため、タブレット端末から閲覧可能なインターネット百科事典を導入します。</p>							
<p>担当課</p> <p>指導課</p> <p>主な活動指標</p> <p>学校図書館司書配置数（1人あたり担当校数）（校）</p>	<p>R7当初予算</p> <p>38,513</p> <p>R6実績</p> <p>1.3</p>	<p>R7決算見込</p> <p>37,045</p> <p>R7実績</p> <p>1.1</p>	<p>R8目標（予定）</p> <p>-</p>	<p>R7職員給与費（目安）</p> <p>6,597</p> <p>主な成果指標</p> <p>小学校図書館貸出冊数（R8.3月）（冊）</p>	<p>R8当初予算</p> <p>0</p> <p>R6実績</p> <p>475,051</p>	<p>R8特定財源</p> <p>0</p> <p>R7実績</p> <p>499,101</p>	<p>R8一般財源</p> <p>0</p> <p>R8目標</p> <p>-</p>
<p>・取組内容 学校図書館の充実や学校図書館司書の研修等の充実を図ることで、学校図書館の活用率や貸出冊数のさらなる増加を目指しました。</p> <p>・改善した点 さらなる読書推進や探究的な学習の実現を目指し、図書の実装等を行いました。</p> <p>・評価 貸出冊数を増やすことができました。学校図書館図書標準に満たない学校もあるので、継続して充実した環境になるよう計画的な整備を行いました。</p>	<p>令和7年度の取組と改善点・評価</p> <p>令和8年度の現状・課題・取組</p> <p>・現状 令和8年度からは「学校図書館教育推進事業」に統合しました。</p> <p>・課題 令和8年度からは「学校図書館教育推進事業」に統合しました。</p> <p>・取組内容 令和8年度からは「学校図書館教育推進事業」に統合しました。</p>						

確かな学力の育成

<p>総合的な学習の時間推進事業</p> <p>これからの社会を生き抜くためには、子供達が自分自身で考え、課題に取り組む姿勢が不可欠であるため、「総合的な学習の時間」等で、教科横断的な学習や探究的な学習・体験学習を通して、自己の生き方を考えることができるように取り組んでまいります。</p>							
<p>担当課</p> <p>指導課</p> <p>主な活動指標</p> <p>探究学習プログラム利用者数（人）</p>	<p>R7当初予算</p> <p>1,498</p> <p>R6実績</p> <p>-</p>	<p>R7決算見込</p> <p>1,480</p> <p>R7実績</p> <p>1,000</p>	<p>R8目標（予定）</p> <p>3,000</p>	<p>R7職員給与費（目安）</p> <p>1,980</p> <p>主な成果指標</p> <p>全国学力学習状況調査の質問紙の肯定的な回答（%）</p>	<p>R8当初予算</p> <p>5,880</p> <p>R6実績</p> <p>-</p>	<p>R8特定財源</p> <p>2,200</p> <p>R7実績</p> <p>78.5</p>	<p>R8一般財源</p> <p>3,680</p> <p>R8目標</p> <p>79.5</p>
<p>・取組内容 教科横断的な学習の充実を図るため、学校の教材購入を支援し、米作りの体験を行っている小学校に対し、外部講師を招聘しました。</p> <p>・改善した点 探究的な学習や体験学習などを通して、児童生徒が自分自身で考え、課題に取り組む姿勢を身につけるための機会をより充実させました。</p> <p>・評価 「総合的な学習の時間」の充実を図ることができ、教科横断的な学習や探究的な学習・体験学習を通して、自己の生き方を考える機会を設けることができました。</p>	<p>令和7年度の取組と改善点・評価</p> <p>令和8年度の現状・課題・取組</p> <p>・現状 探究的な学習や体験学習などを通して、児童生徒が自分自身で考え、課題に取り組む姿勢を身につけるための取組を実施していく必要があります。</p> <p>・課題 子供達が自分自身で考え、課題に取り組む姿勢が不可欠であるため、「総合的な学習の時間」等で、教科横断的な学習や探究的な学習・体験学習を通して、自己の生き方を考える機会を与えていくことが必要となります。</p> <p>・取組内容 より探究学習の推進するために、多くの学校が取り組めるようなプログラムを実施していきたいと考え、児童生徒自らが疑問を持ったことについて、自ら調べ探究し発表する学習をサポートする全く新しいプログラムを、市内4校に対して実証的に導入していきます。</p>						

確かな学力の育成

中学校教育指導運営事業	生徒の読書活動推進のため、学校図書館の充実に努めます。また、学校図書館を運営していくために必要な専門性や技術を備えた学校図書館司書を配置します。探究的な学習を進めるため、タブレット端末から閲覧可能なインターネット百科事典を導入します。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
指導課	21,204		20,880		6,597	0	0	0
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
学校図書館司書配置数(1人あたり担当校数)(校)	1.5	1.5	-	中学校図書貸出冊数(R8.3月)(冊)		39,363	40,195	-
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 学校図書館環境の充実や学校図書館司書の研修等の充実を図ることで、学校図書館の活用率向上、未読者の減少を目指しました。				・現状 令和8年度からは「学校図書館教育推進事業」に統合しました。				
・改善した点 未読者への対応や学校図書館の環境充実を図りました。				・課題 令和8年度からは「学校図書館教育推進事業」に統合しました。				
・評価 学級数増加に伴い、学校図書館図書標準の達成率が低くなりました。計画的な整備に努めました。				・取組内容 令和8年度からは「学校図書館教育推進事業」に統合しました。				

確かな学力の育成

幼児教育支援センター運営事業	関連機関との連携を図り、幼児教育から学校教育への滑らかな移行を支援するとともに、幼児教育相談の充実を図り、家庭教育や園における就学前教育を推進します。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
指導課	14,128		13,395		13,194	14,916	6,416	8,500
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
巡回相談件数(件)	66	57	70	「幼保小連携の日」に参加した幼児教育・保育施設の施設数(園)		-	74	75
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 幼保小連携の必要性について、「流山市版架け橋期カリキュラム作成の手引き」を活用しながら各種研修会で啓発するとともに、市内の全小学校で「幼保小連携の日」を開催し、顔の見える関係性の構築を図りました。				・現状 架け橋期のカリキュラムの作成を進めていけるよう、各種研修会を開催するとともに、幼児教育アドバイザーやスクールカウンセラーを園や小学校に派遣する事業を通して、各園・校の教育・保育の質の向上に向けた人材育成を行っていきます。				
・改善した点 今後、架け橋期のカリキュラムの作成を通じて、各園・校の教育・保育をより良いものにするために、幼保小の連携を深めました。				・課題 多様な園・校種に対して助言できるよう、幼児教育アドバイザーの育成を行っていく必要があります。また、「幼保小合同研修」や「幼児教育希望研修」において、園・校種を超えた多くの職員がともに学ぶ機会を設定する必要があります。				
・評価 市内全小学校で「幼保小連携の日」を開催し、幼保小連携の基盤を築くことができました。また、年間2回の幼保小合同研修会や幼児教育アドバイザー派遣等を通じて、「流山市版架け橋期カリキュラム作成の手引き」を活用しながら、幼保小連携の必要性について啓発することができました。				・取組内容 幼児教育アドバイザーを対象とした、「幼児教育アドバイザー育成研修」を開催します。また、各種研修会の開催方法や周知の方法を工夫していきます。				

確かな学力の育成

地域による学校支援事業	中学校区に地域学校協働本部を設置し、各学校に配置したコーディネーターが、中学校区の学校(小学校2校または1校、中学校1校)とボランティアを希望する地域住民との調整を図りながら、学校支援ボランティアを派遣し、児童生徒の教育活動の充実を図ります。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
指導課	9,503		8,146		1,980	21,689	10,264	11,425
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
市内各中学校区本部設置数(校)	10	10	10	地域による学校支援年間参加延べ人数(1月まで)(人)		60,000	60,000	70,000
夏休みのこども居場所設置校数(校)	-	-	4	夏休みのこども居場所利用者延べ人数(人)		-	-	1,000
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 児童生徒のさらなる学校生活の充実を目指し、協議会やボランティア活動を実施するうえで、そのニーズを生かした具体的な活動となるように実態把握及び持続可能な活動の実現に努めました。				・現状 児童生徒が主体となって学校生活を送るため、こどものニーズに合った活動やボランティアを設定することに課題があります。また、共働き世帯の増加に伴い、長期休業期間のこどもの居場所づくりが求められています。				
・改善した点 学校支援コーディネーターの役割が多様化したため、活動時間上限時間を増やし、サポートボランティアの派遣の充実を図りました。				・課題 学校と地域が連携した取組ができるようにするため、学校支援コーディネーターの役割を明確にし、こどものニーズに合わせた活動を設定する必要があります。				
・評価 学校支援コーディネーターの配置により、学校サポートボランティアの派遣をスムーズに行うことができました。しかし、児童生徒及び学校のニーズに応じた活動を実施するために、サポートボランティアの派遣をしました。				・取組内容 児童生徒のさらなる学校生活の充実を目指し、こどものニーズを生かした具体的な活動となるように実態把握及び持続可能な活動の実現に努めていきます。また、市内の小中学生が地域において、安全、安心な場所で、健やかに心身が育まれるよう夏休みのこどもの居場所づくりについて業務委託し、子育て支援の促進を行います。				

教育環境の整備								
学校図書館教育推進事業		学校図書館への新聞配備、図書システム、図書備品及び教育用備品を整備し学校図書館の充実を図ります。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
指導課	20,375		19,074		6,597	101,631	50,639	50,992
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
児童生徒1人当たりの貸出冊数(電子書籍導入校除く)(冊)	19.0	20.5	22.0	不読率(%)		11.0	10.5	10.0
電子書籍サービス利用率(%)	-	-	80	電子書籍利用者の1人当たり年間平均読書冊数(冊)		-	-	27
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 学校図書館図書標準の達成に向けた蔵書整備を計画的に実施するとともに、新聞配備や図書システムの運用をととして、児童生徒の読書環境の充実を図りました。				・現状 大規模校においては、図書に親しむ機会を確保するために、読み放題電子書籍の導入をします。				
・改善した点 図書の配架場所の不足はあるものの、配架場所等を工夫し、児童生徒の読書環境の充実に努めました。				・課題 学習センター機能としての学校図書館運営、学校図書館司書や司書教諭と連携した効果的な学習支援に努める必要があります。また、計画的に蔵書を充実できるよう努めます。				
・評価 学級数増加に伴い、学校図書館図書標準の達成に未達の学校が見られました。				・取組内容 学習センター機能としての学校図書館運営、学校図書館司書や司書教諭と連携した学びの支援の充実に向けて、計画的に研修を実施します。				

教育環境の整備								
ICT学習空間整備事業		児童生徒の情報活用能力の育成を図るために、GIGAスクール構想に伴うタブレット端末、校内ネットワーク環境及びその他ICT機器を整備します。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
指導課	378,076		461,412		6,597	733,987	860	733,127
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
市内児童・生徒用のコンピュータ数(台)	19,185	22,620	23,259	小学校におけるICT機器の週3回以上の利用率(%)		53	69	70
				中学校におけるICT機器の週3回以上の利用率(%)		63	82	83
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 プログラミングや校務支援アプリ等のニーズに合ったICT研修を実施しました。環境整備として、電子黒板を江戸川小学校、南部中学校、常盤松中学校、東部中学校に整備し、活用研修を実施しました。				・現状 若年層の教職員や他市からの異動者が増えています。令和8年度から新しいアプリ、システム等の導入をします。				
・改善した点 ICT機器を活用するだけでなく、効果的な活用方法やICT教育の目的に目を向け、理解を深めました。				・課題 授業支援アプリ、プログラミング、校務支援システムといった本市のICT教育の実情や活用方法について理解を深める必要があります。				
・評価 各校の効果的なICT活用実践例を研修会で共有し、各校で広げるだけでなく、講師をお招きし、専門的な活用法の理解を深めました。電子黒板を整備した学校では、学習指導等の活用が進みました。				・取組内容 新しいアプリやシステムについては、ICT支援員が講師となり、各校での研修を充実させます。効果的なICT活用実践例を研修会で共有し、各校で広げていきます。				

教育環境の整備								
小学校設備改修事業		小学校施設において、経年による設備の損耗箇所を改修し、教育環境の向上を図ります。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
学校施設課	3,866		22,362		9,971	4,960	0	4,960
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
設備点検による不具合数(件)	5	7	11	改修工事による是正率(%)		100	100	100
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 国庫補助を活用し、令和7年度予算を一部令和6年度に前倒しして実施することにより、早期に不具合を解消しました。				・現状 西初石小学校及び南流山第二小学校の埋設管、鱈ヶ崎小学校連結送水管に不具合が生じています。				
・改善した点 西深井小学校消火ポンプ、長崎小学校揚水ポンプ及び避難器具の不具合箇所について改修を行いました。				・課題 西初石小学校及び南流山第二小学校の埋設管、鱈ヶ崎小学校連結送水管の不具合箇所について早急に対応する必要があります。				
・評価 学校運営を止めることなく、安全を優先し工程管理を行い、工事を遅滞なく完了させました。				・取組内容 国庫補助を活用し、令和8年度予算を一部令和7年度に前倒しして実施することにより、早急に不具合を解消します。				

教育環境の整備

中学校設備改修事業		中学校施設において、経年による設備の損耗箇所を改修し、教育環境の向上を図ります。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
学校施設課	4,015		37,319		3,959	2,469	0	2,469
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
設備点検による不具合件数(件)	5	7	5	改修工事による是正率(%)		100	100	100
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 国庫補助を活用し、令和7年度予算を一部令和6年度に前倒しして実施することにより、早期に不具合を解消しました。				・現状 東部中学校の埋設管や電気設備、常盤松中学校の受水槽に不具合が生じています。				
・改善した点 東深井中学校の受水槽や給水系統の不具合箇所について改修を行いました。				・課題 東部中学校の埋設管や電気設備、常盤松中学校の受水槽の不具合箇所について早急に対応する必要があります。				
・評価 夏休み、冬休みに工事を集中させ、学校運営を止めることなく工事を完了させました。				・取組内容 国庫補助を活用し、令和8年度予算を一部令和7年度に前倒しして実施することにより、早急に不具合を解消します。				

教育環境の整備

小学校校舎等改修事業		小学校施設において、経年による建物の損耗により、機能低下が発生している箇所を改修し、教育環境の向上を図ります。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
学校施設課	0		135,510		18,472	24,928	24,928	0
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
ロッカー改修を要する教室数(室)	267	229	190	ロッカー改修教室数(室)		37	38	39
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 複数年事業ではありますが、早期完了を目指して学校との調整を進めました。				・現状 教室ロッカーの改修は、児童不在の夏休み期間中に実施することから、実施教室数に限度があります。				
・改善した点 改修を要するロッカーを優先順位の高いものから改修を行いました。				・課題 改修を要するロッカー全てを早期に完了させる必要があります。				
・評価 ロッカーの工事中において、夏休み中に工事を終わらせ、9月より共用開始することができました。				・取組内容 複数年事業ではありますが、早期完了を目指して学校との調整を進めます。				

教育環境の整備

中学校校舎等改修事業		中学校施設において、経年による建物の損耗により、機能低下が発生している箇所を改修し、教育環境の向上を図ります。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
学校施設課	6,108		116,682		10,556	10,000	10,000	0
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
ロッカー改修を要する教室数(室)	-	106	85	ロッカー改修教室数(室)		-	17	21
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 複数年事業ではありますが、早期完了を目指して学校との調整を進めました。				・現状 教室ロッカーの改修は、生徒不在の夏休み期間中に実施することから、実施教室数に限度があります。				
・改善した点 改修を要するロッカーを優先順位の高いものから改修を行いました。				・課題 改修を要するロッカー全てを早期に完了させる必要があります。				
・評価 ロッカーの工事中において、夏休み中に工事を終わらせ、9月より共用開始することができました。				・取組内容 複数年事業ではありますが、早期完了を目指して学校との調整を進めます。				

教育環境の整備								
給食室等改修事業	学校給食施設において、経年による建物及び設備の損耗、機能低下が発生している箇所を改修し、調理環境の向上を図ります。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
学校施設課	3,707		3,674		660	27,841	27,841	0
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
設備点検による不具合件数(件)	1	1	2	改修工事による是正率(%)		100	100	100
屋上・外壁改修を要する学校数	4	-	-	屋上・外壁改修工事の進捗率(%)		100	-	-
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 発注者、施行者及び学校と協議の上、改修工事を進めました。				・現状 南流山第二小学校及び北部中学校のボイラー設備に不具合が生じています。				
・改善した点 向小金小学校グリストラップの不具合箇所について改修しました。				・課題 南流山第二小学校及び北部中学校のボイラー設備の不具合箇所について早急に対応する必要があります。				
・評価 夏休みに工事を集中させ、学校運営を止めることなく工事を完了させました。				・取組内容 発注者、施工者及び学校と協議の上、改修工事を進めます。				

教育環境の整備								
おおぐろの森小学校校舎増築事業	児童数の増加傾向にある「おおぐろの森小学校」について、令和9年度から増築棟の供用開始を目指します。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
学校施設課	190,388		112,529		13,194	426,954	426,954	0
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
				設計業務の進捗率(%)		60	100	100
				工事の進捗率(%)		-	10	100
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 増築棟に伴う既存校舎部分の改修が完了しました。				・現状 令和8年度工事完了予定です。				
・改善した点 関係者間で密に調整を行い、安全を確保しながら円滑な事業進捗に努めました。				・課題 児童の安全を確保しながら、滞りなく工事を進捗させる必要があります。				
・評価 学校と調整しながら滞りなく予定範囲の工事を完了させることができました。				・取組内容 関係者間で密に調整を行い、安全を確保しながら円滑な事業進捗に努めます。				

教育環境の整備								
常盤松中学校校舎増築事業	生徒数の増加傾向にある「常盤松中学校」について、令和8年度から増築棟の供用開始を目指します。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
学校施設課	25,740		125,692		6,597	37,462	0	37,462
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
				設計業務の進捗率(%)		100	100	-
				工事の進捗率(%)		10	100	-
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 増築校舎に伴う工事が完了しました。				・現状 令和7年度で工事は完了し、令和8年度以降は賃貸借料のみ発生となります。				
・改善した点 学校と調整しながら滞りなく工事を完了させることができました。				・課題 令和7年度で工事は完了し、令和8年度以降は賃貸借料のみ発生となります。				
・評価 生徒・教職員の安全を優先して工事を行いました。				・取組内容 令和7年度で工事は完了し、令和8年度以降は賃貸借料のみ発生となります。				

教育環境の整備								
小学校校舎等リニューアル事業	老朽化の進んだ小学校をリニューアルすることで、建て替えることなく供用を継続するものです。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
学校施設課	42,878		77,267		32,985	75,328	52,160	23,168
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
				江戸川小学校リニューアル事業の進捗率(%)		32	66	100
				東小学校リニューアル事業の進捗率(%)		-	-	25
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 管理・普通教室棟及び特別教室棟の改修が完了しました。(江戸川小学校)諸条件を整理し、リニューアル工事の設計を進めました。(東小学校)				・現状 順調に進捗しています。(江戸川小学校)リニューアル工事に伴うエレベーター増築工事を適切に行っています。(東小学校)				
・改善した点 児童・教職員の安全を優先して工事を行いました。(江戸川小学校)				・課題 児童の安全を確保しながら、滞りなく工事を進める必要があります。(江戸川小学校、東小学校)				
・評価 夏休みを中心に工事をを行い、学校と調整しながら滞りなく予定範囲の工事を完了させることができました。(江戸川小学校)滞りなく設計を進めました。(東小学校)				・取組内容 関係者間で密に調整を行い、安全を確保しながら円滑な事業進捗に努めます。(江戸川小学校、東小学校)				

教育環境の整備								
不登校児童生徒支援事業	バーチャル空間や公的施設等を居場所とした不登校児童生徒への支援を実施します。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
指導課	5,786		5,111		9,896	32,692	22,989	9,703
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
長期欠席児童生徒率(市内小中学校)	4.19	5.34	-	フレンドステーション利用者数(定期的な利用者数)		39	38	-
不登校児童生徒率(市内小中学校)	2.21	2.77	-	教育相談件数(保護者、児童生徒の総計)		2,317	2,312	-
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 教育支援センターや校内教育支援センターの機能を充実させていきます。児童生徒が学校以外の居場所を見つけるきっかけとなるよう、バーチャル空間による不登校児童生徒への支援をさらに充実させていきます。				・現状 不登校児童生徒への支援のため、バーチャル空間での相談を実施しています。公的施設等を活用し、不登校児童生徒の居場所の拡充と体験学習の充実を図っています。				
・改善した点 不登校児童生徒の居場所として、様々な選択肢を提示できるよう、民間支援団体との連携を図りました。				・課題 不登校児童生徒の居場所の拡充や学びの機会の充実が求められています。多様な居場所の選択ができるよう、ニーズに応じた情報提供や民間支援団体等との連携による支援が必要です。				
・評価 市内2か所の教育支援センターの運営を充実させ、小学校の校内教育支援センターへ学習サポート教員を配置し、不登校児童生徒への支援を充実させることができました。バーチャル空間でのスクールカウンセラーによる相談を開始することができました。				・取組内容 教育支援センターや校内教育支援センターの機能を充実させていきます。児童生徒が学校以外の居場所を見つけ、利用ができるよう、民間支援団体等との連携強化に努めます。バーチャル空間による不登校児童生徒への相談や学習支援をさらに充実させていきます。				

児童・生徒の安全確保と健康増進								
小中学生専用なやみホットライン相談事業	いじめや学校生活で悩む児童生徒からの相談に、専門相談員が電話やメールで対応し、いじめの早期発見・早期解決を図ります。また、中学生には「いじめ報告・相談アプリSTANDBY」を活用し、相談環境の充実に努めます。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
指導課	8,244		7,289		3,959	8,701	0	8,701
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
「小中学生専用なやみホットライン」の相談数(件)	37	18	-	小学校「いじめアンケート」調査の結果(解消件数÷認知件数)(%)		91.19	91.67	100
「いじめ報告・相談アプリ」の相談数(件)	65	56	-	中学校「いじめアンケート」調査の結果(解消件数÷認知件数)(%)		88.10	91.15	100
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 令和7年度も引き続き、ポスターやリーフレット等を作成し子どもたちへの周知に努め、幅広く相談を受け止めるとともに、教育委員会内の各専門職の知見を活かしながら子どもたちが抱える悩みや困りごとの解決に向け支援しました。				・現状 生涯学習センター内に常駐する相談員が相談を受ける小中学生専用なやみホットライン及び中学生から匿名で相談が可能なアプリを提供しています。いじめの相談だけでなく、子どもたちが抱える多様な悩みや想いを引き出し、必要な支援に繋がるよう対応しています。				
・改善した点 児童生徒が抱える不安や悩み、困りごとは多様化しており、こうした児童生徒の早期発見・早期対応に向け、悩みを持った児童生徒が迷わず相談できる環境を整えるとともに、適切な支援に繋がるよう関係部局・関係機関との連携を図りました。				・課題 児童生徒が抱える不安や悩み、困りごとは多様化しており、こうした児童生徒の早期発見・早期対応に向け、悩みを持った児童生徒が迷わず相談できる環境を整え、あらゆる形の予兆を拾うことができる対応が求められています。				
・評価 悩みや困りごとを抱える児童生徒の相談に、幅広く対応することができました。				・取組内容 引き続き、相談窓口の周知に努め、子どもたちが抱える悩みや困りごとの解決に取り組んでいきます。				

児童・生徒の安全確保と健康増進

いじめ等防止対策推進事業		いじめ、不登校、児童虐待など児童生徒が置かれた環境への働き掛けや関係機関等とのネットワークの構築、連携・調整を行うスクールソーシャルワーカーを配置します。また、いじめや不登校などの予防と対策のためにWEBQU（学級集団アセスメント）検査を実施します。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与と費(目安)		R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
指導課	35,498		28,276		9,236		37,682	0	37,682
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標			R6実績	R7実績	R8目標
小学校いじめ認知件数(件)	4,381	4,199		- 小学校「いじめアンケート」調査の結果(解消件数÷認知件数)(%)			91.19	91.67	100
中学校いじめ認知件数(件)	353	328		- 中学校「いじめアンケート」調査の結果(解消件数÷認知件数)(%)			88.10	91.15	100
令和7年度の取組と改善点・評価					令和8年度の現状・課題・取組				
<p>・取組内容 いじめを未然防止、認知した事案が重大化・深刻化しないよう学校を支援しています。また、学校だけでは解決が困難な事案への対応に当たっては、生徒指導アドバイザー、スクールソーシャルワーカーといった専門性の高い人材を活用し、関係機関と連携しながら解決に向け取り組みました。</p> <p>・改善した点 いじめを未然防止、早期発見・早期解決していくためには、学校現場における適切な対応を徹底するとともに、児童生徒のいじめの問題への理解を深めていく必要があります。また、いじめ等の事案の背景として、多様な要因が存在することも想定されるため、様々な専門職や関係機関と連携した対応を行いました。</p> <p>・評価 いじめをはじめ、認知した事案が重大化・深刻化しないよう学校を支援し、学校だけでは解決が困難な事案への対応に当たっては、生徒指導アドバイザー、スクールソーシャルワーカーといった専門性の高い人材がその知見を生かし、関係機関と連携しながら、解決に努めました。</p>					<p>・現状 いじめの認知件数は減少しつつも、重大事態にいたる件数は依然として横ばいで推移しています。児童生徒が安心して学校生活を送れるよう、いじめ等の事案に対して、学校現場において、適切な対応を徹底し、早期発見・早期対応に努めるとともに、未然防止に取り組んでいます。</p> <p>・課題 いじめを未然防止、早期発見・早期解決していくために、学校現場における適切な対応を徹底するとともに、児童生徒のいじめの問題への理解を深めていく必要があります。また、いじめ等の事案の背景となる多様な要因を踏まえて、様々な専門職や関係機関と連携してきめこまやかな対応が求められています。</p> <p>・取組内容 いじめをはじめ、認知した事案が重大化・深刻化しないよう学校を支援していきます。また、学校だけでは解決が困難な事案への対応には、生徒指導アドバイザー、スクールソーシャルワーカーといった専門性の高い人材を活用し、関係機関と連携しながら、児童生徒に寄り添った対応に取り組んでいきます。</p>				

児童・生徒の安全確保と健康増進

学校給食公会計化事業		私会計である学校給食費の徴収及び食材費の支払いについて、市一般会計で取り扱う公会計化をはかり、教職員の負担軽減と、支出の透明性確保を図ります。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与と費(目安)		R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
学校教育課	1,307,541		1,197,681		19,791		1,470,131	1,450,382	19,749
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標			R6実績	R7実績	R8目標
収納率(%)	99.45	99.59	100						
令和7年度の取組と改善点・評価					令和8年度の現状・課題・取組				
<p>・取組内容 食材を安価で安定的に供給が可能な事業者との取引ができるよう、様々な事業者と協議の上、食材の共同発注等に積極的に取り組みました。</p> <p>・改善した点 物価高騰の中でも、規定の予算内で安心安全な学校給食の提供ができるよう、事業者との調整を行いました。</p> <p>・評価 関係事業者との協議・調整を行いながら、安定かつ安心安全な学校給食の提供体制を維持できました。</p>					<p>・現状 食材を安価で安定的に供給が可能な事業者との取引ができるよう、様々な事業者と協議の上、食材の共同発注等に積極的に取り組んでいます。</p> <p>・課題 安定的な給食提供を維持しながら、物価高騰による食材価格の変動に対応していきます。</p> <p>・取組内容 食材を安価で安定的に供給が可能な事業者との取引ができるよう、様々な事業者と協議の上、食材の共同発注等に積極的に取り組みます。</p>				

児童・生徒の安全確保と健康増進

給食施設整備事業		HACCPに適合した施設に整備を行います。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与と費(目安)		R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
学校施設課	0		0		0		12,430	0	12,430
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標			R6実績	R7実績	R8目標
				設計業務の進捗率(%)			-	-	20
令和7年度の取組と改善点・評価					令和8年度の現状・課題・取組				
<p>・取組内容 令和7年度は事業の実施がありませんでした。</p> <p>・改善した点 令和7年度は事業の実施がありませんでした。</p> <p>・評価 令和7年度は事業の実施がありませんでした。</p>					<p>・現状 諸条件を整理し、給食施設整備の設計を進めます。</p> <p>・課題 スケジュール管理を適切に行い、円滑な事業進捗に努めます。</p> <p>・取組内容 関係者間で密に調整を行い、円滑な事業進捗に努めます。</p>				

主管部局 施策の目的 総合計画の着実な推進を図るため、社会経済情勢の変化や市民ニーズなどをとらえた持続的な市政経営を行う

財政運営

税収納事業	電算システムの活用により事務の効率化を図り、迅速な滞納整理を行うものです。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
税制課	72,732		70,208		5,278	74,100	676	73,424
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
				年度末までのウェブによる口座振替申込件数(件)		-	155	3,120
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 令和7年度中にウェブ口座振替を導入し、納税者に周知を図りました。				・現状 電算システムの活用により事務の効率化を図り、市税の収納、滞納整理を行います。				
・改善した点 納税者のさらなる利便性向上のため、口座振替希望者が金融機関の窓口に行かなくても、パソコンやスマートフォンでインターネットを利用した口座振替依頼の申請をできるようにしました。				・課題 令和7年度中に導入したウェブ口座振替システムについて、更なる周知により利用促進を図る必要があると考えます。				
・評価 令和7年10月から開始したウェブ口座振替申し込みについて、広報やホームページ等により周知を図りました。また、令和8年4月からの新年度課税に向けた納税通知書同封のチラシにも口座振替希望者が金融機関の窓口に行かなくても手続きができる旨の案内を追加しました。				・取組内容 令和7年度中にウェブ口座振替受付サービスを導入し、利用促進のため各税目の納税通知書等に周知用チラシを同封するなどを取り組めます。				

財政運営

市税等納付コールセンター事業	現年度課税分について、電話や文書等による催告業務を民間委託することで、現年度課税の滞納整理を強化し累積滞納を防ぐとともに、徴収率の向上及び安定した財源確保を図ります。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
税制課	7,925		7,184		1,320	7,834	0	7,834
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
電話催告件数(件)	7,878	11,130	-	催告後2か月以内に納付された件数(件)		3,323	5,860	-
文書催告件数(件)	4,081	5,569	-	現年度課税の徴収率(%) (参考値) R7実績は4月末時点		99.51	99.56	-
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 令和7年4月より市税等納付コールセンターで問い合わせの初動対応を開始し、職員の負担軽減を図りました。				・現状 納税義務者の増加が続いていることから、滞納者も増加傾向にあります。				
・改善した点 納付書再発行などの軽微な問い合わせもコールセンターで対応できるようになったことで、徴税吏員としての滞納整理業務に集中することができるようになりました。				・課題 払い忘れなどの軽微な理由による催告対象者が反復的に現れるため対象者数が横ばい状態となっています。				
・評価 令和7年度の滞納者に対して電話等による催告業務を実施することで、高い徴収率を維持することができました。				・取組内容 引き続き市税等納付コールセンターによる催告業務を行うとともに、令和7年度に導入したWeb口座振替申込みをさらに周知し、積極的に口座振替を勧奨して反復的な滞納発生を防止します。				

資産活用								
ファシリティマネジメント事務管理事業		各種FM施策を実施することで、市全体の資産の質を向上させ、最適化を図るとともに、施設の改修等営繕に関する設計・監督を行い、長寿命化を図ります。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
財産活用課	2,664		2,983		26,388	2,830	1,356	1,474
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
ファシリティマネジメント施策の実施件数(件)	26	27	25	ファシリティマネジメント施策による歳入(千円)		7,501	6,891	5,873
改修等営繕に係る設計・監督実施件数(件)	22	22	20					
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 個別施設計画における簡易劣化調査の結果を施設所管課へフィードバックし、公共施設の維持管理に反映させていきます。				・現状 各種FM事業を継続的に実施し、市の資産を十分に活用していく他、公共施設の改修を行なうことで維持管理と長寿命化を図っています。				
・改善した点 個別施設計画における簡易劣化調査結果を施設所管課と共有し、施設の改修に反映することができました。				・課題 個別施設計画における総合評価は、元々施設長寿命化に向けた詳細診断実施時期の指標ですが、築年数や劣化状況等様々な要素が含まれることから、当初の目的に対し分かりづらくなっています。				
・評価 各種ファシリティマネジメント施策を予定通り実施したほか、予定された営繕工事を実施しました。				・取組内容 公共施設の改修と長寿命化を分かり易く、効果的に進めるために、総合評価方法の見直しに取り組んでいきます。				

資産活用								
本庁舎施設管理計画事業		本庁舎が老朽化していることから、長寿命化を図るものです。また、劣化が著しい設備等を改修し、災害時の活動拠点となる本庁舎を良好な状態に保ちます。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
財産活用課	32,940		31,790		6,597	0	0	0
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
改修にかかる費用(千円)	7,755	31,790	-	改修等必要箇所数(件)		1	2	-
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 工事業者とスケジュールを確認し、できる限り利用者に負担がないよう工事を進めました。				・現状 令和8年度は、事業実施の予定はありません。				
・改善した点 エレベーター利用者に負担をかけないよう工事を行いました。				・課題 令和8年度は、事業実施の予定はありません。				
・評価 工事の際には、安全対策を講じながら実施しました。				・取組内容 令和8年度は、事業実施の予定はありません。				

資産活用								
通訳タブレット導入事業		南流山出張所及び江戸川台駅前出張所に外国語及び手話(日本手話)通訳タブレットを配備し、インターネットを通して通訳士と会話形式または手話形式で通訳を行うことで、円滑かつ快適な窓口サービスを提供します。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
市民課	581		317		1,320	0	0	0
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
来庁した外国人等の人数(人)	272	457	-	通訳タブレット使用した外国人等の人数(人)		132	222	-
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 江戸川台駅前出張所と南流山出張所に1台ずつ設置した通訳タブレットを活用し、外国語や手話による通訳が必要な利用者に対して、円滑に意思疎通ができる窓口対応を行いました。また、利用者の状況に応じて柔軟に通訳サービスにつなぐことで、誰もが安心して手続きできる環境づくりに取り組みました。				・現状 令和7年度で事業は終了しました。				
・改善した点 令和7年度は利用件数が前年度より90件増の222件となり、活用が拡大しました。多言語・手話対応により手続きの円滑化と窓口サービス向上に寄与しており、ニーズ把握も進み、今後の改善が期待されます。				・課題 令和7年度で事業は終了しました。				
・評価 通訳ニーズが増加している状況を踏まえ、利用実績や対応した言語の傾向を把握し、現在の対象言語が実情に合っているかを検証しました。特に使用回数の多い言語の分析を進め、必要に応じて対象言語の見直しができるよう準備を進めるなど、サービスの質向上につながる改善に取り組みました。				・取組内容 令和7年度で事業は終了しました。				

組織・人材

職員研修事業		職員一人ひとりの資質の向上や専門知識の習得を図るため、担当部門や勤続年数に応じた研修を実施します。また、組織外からの知識や情報を組織内に吸収し、組織としての創造性を高める効果的な方策として政策自主研修を行う職員に研修助成し、意欲のある職員を育成します。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)		R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
人材育成課	25,294		20,399		3,299		24,758	584	24,174
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標			R6実績	R7実績	R8目標
集合研修実施件数(件)	28	31	31	職員自主研修助成者数(人)			22	15	27
				派遣研修派遣職員数(人)			64	54	64
令和7年度の取組と改善点・評価					令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 前年度までの研修をブラッシュアップして引き続き実施するとともに、若年層の更なる育成を目的に、タイムマネジメント研修を新規に実施しました。また、行政緊急課題研修として、職場環境改善研修及び女性特有の課題への対処法を学ぶ研修を実施しました。					・現状 引き続き、職員の能力水準を総合的に上げ、市民サービスの更なる向上を図るため、人材育成基本方針に従い、職員研修事業を進めます。				
・改善した点 それぞれの立場・職責を認識し、必要となる知識やスキルを理解・習得できるように、階層別研修を充実させました。					・課題 行政需要が高まる中、新規採用職員が増加しているため、不安の解消、モチベーションの向上を図りつつ、早期に育成する必要があります。				
・評価 若年層に対して、入庁時から段階的・計画的に研修を実施するとともに、組織のマネジメント、各業務の遂行に影響が大きい中堅層の職員を対象に研修を実施することで、職員のキャリア形成の支援及び組織全体の能力の底上げを図ることができました。					・取組内容 OJT指導者に対する研修を充実させ、指導力の強化を図るとともに、指導者自身の自己成長につなげます。				

組織・人材

政策法務推進事業		政策法務推進計画に従い、政策法務研修計画に基づく研修の実施等の人材の育成、政策法務主任の設置等の組織の充実、法令・判例の解説等の入手を容易にする環境の整備、行政リーガル・ドック事業等の予防法務の実施により政策法務を推進します。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)		R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
総務課	7,150		6,511		8,577		4,261	0	4,261
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標			R6実績	R7実績	R8目標
研修受講者数(人)	136	124	132	自治体法務検定シルバークラス以上取得者累計数(人)			220	246	261
令和7年度の取組と改善点・評価					令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 政策法務室が担当課と協同することにより、行政リーガル・ドック事業における指摘事項の改善を行いました。また、引き続き行政リーガル・ドック事業を実施し、事務に法的な誤りがないか確認しました。					・現状 例規審査を経ていない書式について、事務の根拠法令を確認しておらず、記載に誤りがあるケースが存在します。				
・改善した点 過年度の指摘事項について、改善状況の確認を行いました。					・課題 例規審査を経ていない書式についても、誤りが生じないように、全職員が根拠法令を確認する必要があります。				
・評価 指摘事項の趣旨を反映した事務の改善を行ったことにより、市民の方にとって、より分かりやすく、法的に正確かつ明確な事務運用になりました。					・取組内容 職員全員が所掌事務の根拠法令を確認し、説明できるようにするために研修を実施します。また、例規審査を経ていない書式についても、誤りがないか、確認を行います。				

行政経営

広聴活動事業		書簡や電子メールにより市民の意見等を幅広く収集するほか、定期的にタウンミーティングを開催して市民の声を直接伺います。頂戴した意見等については所管課と連携して対応を行い市政へと反映させます。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)		R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
秘書広報課	19,059		18,419		13,194		20,045	0	20,045
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標			R6実績	R7実績	R8目標
タウンミーティング開催回数(回)	8	7	9	市に意見を言える機会に満足している市民の割合(%)			85.8	87.5	88.0
				住民の声が市政に反映されていると感じる市民の割合(%)			82.0	85.0	85.0
令和7年度の取組と改善点・評価					令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 令和7年度は、引き続き東西南北の4地区で開催している地区別タウンミーティングを開催するほか、応募者が多い無作為抽出型タウンミーティングの定員を増やし開催しました。					・現状 引き続き、市議会との間の日程など、市の幹部職員の日程調整を行い、市民が直接幹部職員に意見を言える機会を創出していきます。				
・改善した点 令和7年度は、無作為抽出型タウンミーティングの定員数を増やしました。					・課題 様々な意見を伺えるよう、オンラインなどを活用したタウンミーティングを開催するなど、市民ニーズに合わせ検討していく必要があります。				
・評価 令和7年度は、応募者の多い無作為抽出型タウンミーティングの定員数を増やし、応募いただいた方は全員参加していただきました。					・取組内容 令和8年度は、引き続き地区別タウンミーティング、無作為抽出型タウンミーティングを実施し、オンライン型タウンミーティングを実施していきます。				

行政経営								
広報発行事業								
広報ながれやま（月3回。年間37回のうち4回は特集号、年1回の号外特集号）をよりタイムリーな紙面構成で発行し配布（新聞折り込みや宅配など）します。また、市LINE公式アカウントや市ホームページ、携帯電話のメール、スマートフォンのアプリなどを活用した情報サイト、各メディアへのパブリシティ（マスメディアへの情報提供）などを通じて市政情報を広く発信します。								
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
秘書広報課	51,671		47,747		26,388	48,715	0	48,715
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
LINE登録者数のうち、広報ながれやまのセグメント登録者数(人)	11,684	13,689	15,000	広報ながれやまを読んでいる人の割合(%)		74.6	74.1	75.0
職員研修(回)	2	2	2	広報ながれやまの内容や情報量に満足している人の割合(%)		81.1	84.2	85.0
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 市ホームページや広報紙等で市LINE公式アカウントの登録を呼びかける記事を定期的に掲載しました。				・現状 市LINE公式アカウントの登録者のうち、広報ながれやまのセグメントの登録者数は増加しています。				
・改善した点 より満足度の高い広報ながれやまを制作するために職員を対象とした研修を実施し、広報力の底上げを図りました。				・課題 市LINE公式アカウント登録者のうち、広報ながれやまのセグメント登録者数を増加させる必要があります。また、広報ながれやまの掲載内容や情報量の満足度を更に向上させる必要があります。				
・評価 市LINE公式アカウント登録者のうち、広報ながれやまのセグメント登録者数が約2,000人増えました。広報ながれやまの掲載内容や情報量に満足している人の割合は約3%増加しました。				・取組内容 引き続き、市ホームページや広報紙等でLINE公式アカウントの登録を呼びかけます。また、より満足度の高い広報ながれやまを制作するために職員研修や市民アンケートを実施します。				

行政経営								
市民向け電子化事業								
市民の方が自宅のパソコン等から行政手続きや情報取得ができる環境を整備します。また、令和4年度からLINEを活用して利用者の希望する情報を提供するセグメント配信や自動会話プログラム「チャットボット」などのサービスを提供しています。								
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
情報政策・改革改善課	10,565		9,655		12,535	12,268	1	12,267
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
電子申請手続き数(件)	285	297	320	電子申請利用件数(件)		22,923	36,235	38,000
LINEによるセグメント配信件数(件)	1,130	1,654	2,440	LINE登録者数(人)		38,638	43,509	49,000
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 電子申請手続きの拡充と利用促進を図るとともに、LINEによるセグメント配信やチャットボットの運用を継続し、市民が必要な行政情報へアクセスできる環境を整備しました。また、セグメント配信では視認性の高いメッセージを増やし、受信者が情報を確認しやすくなるよう工夫しました。				・現状 電子申請システムの手続き数及び利用件数は増加傾向にあり、更なる行政手続きの利便性向上に向けて電子申請手続きを拡大する必要があります。また、LINE登録者数も増加傾向にありますが、より多くの市民へ必要な行政情報を的確に届けられるよう、登録者数の拡大を図る必要があります。				
・改善した点 電子申請が可能な手続き数を拡大し、利用件数が増加しました。また、LINE公式アカウントの周知のため、公共施設でのポスター掲示やチラシ配架を行い、登録者数の増加に繋がりました。				・課題 電子申請の一層の利用促進を図るため、オンライン申請可能な手続を拡大する必要があります。また、市民への広報活動を行い、電子申請及びLINE公式アカウントの利用者拡大を図る必要があります。				
・評価 対象手続きの拡大により、電子申請利用件数が大幅に上回る等、市民の利便性向上に寄与しました。また、LINEによるセグメント配信件数内容の充実及び広報活動により登録者数も増加しました。				・取組内容 関係部署との協議により電子申請対象手続きを拡大し、市民の利便性向上を図ります。また、LINE公式アカウントの登録者数の増加を図るとともに、セグメント配信の充実等、市民へ必要な情報を届けるための更なる活用を進めます。				

行政経営								
全庁LAN整備事業								
職員利用のパソコン・プリンタ・通信機器、ファイルサーバ・グループウェア・統合型GIS等の各システム、ネットワーク環境の整備及び情報セキュリティ対策を実施します。								
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
情報政策・改革改善課	476,703		445,708		22,430	368,506	9,799	358,707
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
全庁LAN/パソコン整備台数(台)	1,295	1,295	1,295	配備に対する全庁LAN/パソコン不足台数(台)		0	0	0
eラーニングセキュリティ研修受講率(%)	90.6	98.5	100	ウイルス感染件数(件)		0	0	0
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 情報システムの標準化では、クラウド環境への移行と標準準拠システムのテスト運用及び本番導入を進めました。また、市民の利便性向上のため「書かない窓口」を市民課窓口及び各出張所の窓口を導入するほか、老朽化しているパソコン130台を更新しました。				・現状 円滑でセキュアなネットワーク通信が行えるインターネット仮想環境を更新する必要があります。また、公共施設を予約するためのシステムを更新する必要があります。				
・改善した点 情報システムの標準化については、関係部署との検討部会を実施し、課題の共有や作業について確認をしながら進めることができましたが、コスト最適化に向けて、引き続き関係部署及びシステム事業者間との調整を行う必要があります。				・課題 インターネット仮想環境や、公共施設を予約するためのシステムの更新に向け、関係部署及びシステム事業者間との調整やスケジュール管理について綿密な調整を行う必要があります。				
・評価 情報システムの標準化は関係部署との検討部会を実施し、課題の共有や作業について確認をしながら進めることができました。また、老朽化したパソコン130台は円滑に更新作業を進めることができました。				・取組内容 インターネット仮想環境や、公共施設を予約するためのシステムの更新を円滑に進めます。また、老朽化したネットワークプリンター23台を更新するほか、パソコン50台を更新します。				

行政経営

インターネット議会中継システム事業	流山市議会のホームページ上で本会議の映像を公開し、市民などに対して情報の共有を図ります。併せて、手話同時通訳中継を行い、より分かりやすく市民に開かれた市議会を目指します。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
議会事務局	6,189		5,833		6,597	6,045	0	6,045
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
インターネット配信回数(回)	24	24	24	インターネット配信閲覧者延人数	ライブ中継(人)	29,734	16,288	17,000
				インターネット配信閲覧者延人数	録画中継(人)	7,137	5,225	5,500
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 安定したインターネット中継を実施し、手話同時通訳の同時中継を継続しました。また、インターネット配信を積極的に視聴いただけるよう、周知に努めました。				・現状 本会議の様子をインターネット中継し、広く市民の皆様には議会の様子を伝えていきます。本会議の手話同時通訳をインターネットで同時中継することで、より多くの方々に議会の様子をお伝えします。				
・改善した点 手話通訳者の皆さんへのインタビュー記事を市議会ホームページとフェイスブックに掲載するなど、本会議における同時手話通訳のPRに努めました。				・課題 今後も引き続き適切に運用・保守し、安定した配信環境を整える必要があります。また、より多くの方にインターネット配信を積極的に視聴いただけるよう、さらなる周知が必要です。				
・評価 インターネット配信のライブ中継及び録画中継の視聴者が前年度比で減少しているのは、一般質問登壇者の合計が減少したことなども要因ですが、前年度までのデータには一般的な視聴環境とは異なる自動的なアクセスが一定数含まれていた可能性があり、当年度はこうした影響が少なくなったことで、結果として視聴回数が減少している側面もあると見ています。				・取組内容 引き続き安定したインターネット中継を実施し、手話同時通訳の同時中継を継続します。また、市議会だよりの一般質問記事に二次元コードを掲載して録画中継へ導けるようにするなど、相乗効果の工夫について検討します。				

行政経営

議会ICT推進事業	流山市議会ICT推進基本計画に基づき、議会独自のホームページを運営するとともに、議員へ情報端末を配付しICT環境を整えます。市議会ホームページの充実とセキュリティの強化により、各種議会行事の周知や情報共有を図り、一層市民に開かれた議会の実現を目指します。また、情報端末の配付により、ペーパーレス化を促進します。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
議会事務局	3,089		3,084		5,278	3,089	0	3,089
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
流山市議会ICT推進基本計画に基づく実施計画における実施事業数(件)	35	35	36	削減できた紙の枚数(枚)		304,032	344,652	355,000
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 議会のICT化とペーパーレス化を推進するため、議員に配付したタブレット及びペーパーレス会議システムの活用を推進しました。また、議会を身近に感じてもらうため、SNSの市議会公式アカウントを活用し、タイムリーな情報発信に努めました。				・現状 独自ドメインを取得して随時更新可能なCMSでホームページを運用しており、議会独自に情報発信を行っています。また、暗号化の更新手続きを行い、セキュリティ確保に努めています。さらに、市議会データの活用を図るため、オープンデータの掲載を行っています。				
・改善した点 タブレットの活用推進のため、ペーパーレス会議システムの利用状況アンケートの実施・結果の共有などを行いました。				・課題 業務効率化・生産性向上のため、さらなるICT化を推進する必要があります。				
・評価 ペーパーレス会議システムの利用が増加し、紙媒体の資料の削減が進みました。				・取組内容 新たなICTツールの活用検討やペーパーレスに関するルールの整備により、さらなるペーパーレス化に向けた環境整備を行います。				

行政経営

文書保管倉庫整備事業	一元的に管理、保管している保存文書の増加に対応するため文書保管倉庫を整備し、適切な公文書の管理に努めます。また、将来の市民に過去の行政の状況を公文書を通じて引き継ぎます。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
総務課	0		0		1,980	36,893	0	36,893
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
書庫の収納可能数(箱)	-	-	8,442					
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 令和7年度は事業の実施がありませんでした。				・現状 一部の電動書架が老朽化しています。また、現在書庫として借りている南流山中学校(旧東洋学園大学)の教室は、千葉県立特別支援学校の設置が予定されており、返却する必要があります。				
・改善した点 令和7年度は事業の実施がありませんでした。				・課題 令和9年度に保存文書の保管スペースが不足します。				
・評価 令和7年度は事業の実施がありませんでした。				・取組内容 老朽化した電動式書架の一部と固定棚を撤去し、新たに電動書架を整備します。				

マーケティング								
流山市ブランド確立と住民誘致の推進事業	「住み続ける価値の高いまち」としての流山市の都市ブランド確立を推進します。市の知名度とイメージの向上を図るための情報発信とイベントを行い、住民誘致の促進と市民満足度を高める活動を行います。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
マーケティング課	14,701		13,009		13,194	13,636	5,500	8,136
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
ブランド確立用動画表示回数(オーガニック投稿+広告配信)(回)	2,042,446	1,854,562	120,000	市ブランディングサイト新規訪問者数(人)		57,262	39,255	11,000
				イベント来場者数(人)		84,500	65,700	55,000
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 子育てと自己実現を両立している方のインタビュー動画と、市内の場所にフォーカスしたショート動画を制作し展開することで、市外へのプロモーションへとつなげ、流山市ブランディングサイトへ誘引し、流山市のブランディングにつなげました。また、今後のブランド推進業務戦略の礎とするために、ブランド認知度調査を実施しました。				・現状 令和7年度に実施したブランド認知度調査の結果、認知度は下がったものの、市へ好意を持っている割合は上がっていることがわかりました。このため、引き続き流山市ブランディングサイトを起点としたPRで市への好意へつなげ、認知度の向上にもつなげるPRを実施します。				
・改善した点 市民の転入・定住に対する意識や街への愛着などの「心理的価値」へアプローチするために、子育てと自己実現を両立している方のインタビュー動画と、市内の場所にフォーカスしたショート動画を制作しました。これらの動画をSNSで発信し、市ブランド資源への共感・好感度の向上を図りました。				・課題 「流山市」の認知度を維持・向上させながら、市に対する具体的なイメージや好意、興味へとつなげていく必要があります。また、転入者数が緩やかな増加傾向にある中、今後も一定の人口規模を維持していくためには、中長期的な視点で本市のブランド価値を高め、市への転入・定住意向やまちへの愛着といった「心理的価値」に働きかけていく必要があります。				
・評価 市民のつながりの創出に係る取組は実施に至らなかったものの、流山市ブランディングサイトを起点としたPRを実施し、市外への情報発信及び同サイトへの誘引を図った結果、新規閲覧者数は35,172人となり、目標を達成しました。また、ブランド認知度調査を実施した結果、認知度は下がったものの、市へ好意を持っている割合は上がっていることがわかりました。				・取組内容 本市が令和9年1月1日に市制施行60周年を迎えるにあたり、本市の歩みや魅力を改めて内外に発信できる、また、市への転入以降、定住意向やまちへの愛着といった「心理的価値」につながる、市制施行60周年記念映像を制作します。				
マーケティング								
流山市ふるさと納税事業	流山市に対する寄附者の思いに対して、魅力ある特産品等を贈呈し、寄附額の増加を図ります。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
マーケティング課	78,128		107,402		1,320	134,975	561	134,414
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
返礼品事業者数(件)	53	60	62	寄附件数(件)		9,666	11,605	11,605
				寄附額(千円) 個人からの全ての寄附金。		156,222	222,967	222,967
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 返礼品の見せ方の工夫や返礼品の種類を増やすことにより、寄附の申し込みにつなげられるよう取り組みました。				・現状 寄附を多く集める返礼品を取り扱う事業者の返礼品の種類を増やしたことにより、寄附額、寄附件数ともに増加しています。				
・改善した点 寄附の申込が特定の返礼品に偏っていることから、返礼品の見せ方の工夫や返礼品の種類を増やしました。				・課題 競争力のある返礼品の申込数を維持・増加できるよう、見せ方を工夫し続ける必要があります。				
・評価 寄附額及び寄附件数が増加し、市内産業の活性化に寄与しました。				・取組内容 他自治体の返礼品の出し方や見せ方を研究し、流山市の返礼品の独自性を表現できるよう取り組んでまいります。				
マーケティング								
市制施行60周年記念式典等実施事業	令和9年1月1日に市制施行60周年を迎えることから、本市に対する市民の理解を深めていただくとともに、本市の魅力を外へ発信するため、記念式典を開催する。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
秘書広報課	0		0		1,980	4,206	0	4,206
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
市制施行60周年記念功労者表彰受賞者数(人)	-	-	100	式典出席者及び式典視聴者数(人)		-	-	1,000
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 令和7年度は事業の実施がありませんでした。				・現状 60周年記念式典の実施に向け、検討を進めています。				
・改善した点 令和7年度は事業の実施がありませんでした。				・課題 円滑な実施に向け、関係各所との密な調整を行う必要があります。				
・評価 令和7年度は事業の実施がありませんでした。				・取組内容 円滑な実施に向けた検討や調整を進めるほか、表彰対象者の情報収集を行っていきます。				

令和8年度版 流山市まちづくり報告書（流山市総合計画進捗状況報告）

企画・編集 流山市役所 企画政策課 / 情報政策・改革改善課

住所 流山市平和台1丁目1番地の1

電話 04 - 7150 - 6064 / 04 - 7150 - 6078